

林業技術



特集 情報の情報ガイド

書誌／学・研究会／中央林業関
係団体／主要ネットワークシステム他

■1996/NO. 646

1

RINGYŌ GIJUTSU

日本林業技術協会

確かな精度と使い良さ

選・ん・で・正・か・い
ウシカタの測図器/測量機

図を測る

エクスプラン360dII (データー)

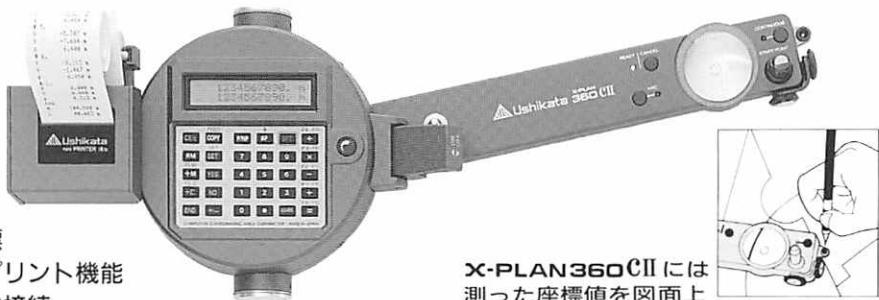
■面積 ■線長 ■周囲長
を同時測定



X-PLAN360dIIはコードレスで
80時間の連続使用ができます。
(X-PLAN360CIIはコードレスで)
50時間の連続使用ができます。

エクスプラン360CII (シーザー)

■座標
■面積
■線長/辺長
■半径
■図心
■三斜面積
■角度
■円弧中心座標
■バッファ付プリント機能
■コンピュータ接続



X-PLAN360CIIには
測った座標値を図面上
にマークできる画期的な機能付です。

軽快測量



使って便利な1分読セオドライ特 テオ・100

最も小さなセオドライ特で山岳や森林測量にべんりです。
その他の一般建築、土木測量などでも広く使われています。

（本体）■寸法 124(W)×130(D)×198(H)mm ■重量 1.8kg
（専用三脚）■重量 2.6kg ■格納寸法 65.5cm(三段伸縮)



牛方商会
146 東京都大田区千鳥2-12-7
TEL.03(3758)1111(代)

資料のご請求は下記FAXで
ご質問になった品名・ご希望商品・送付先等を必ず明記ください
FAX.03(3756)1045

新年のごあいさつ

社団法人 日本林業技術協会

理事長 三澤毅



会員の皆様、そして日ごろから当協会に対し数々のご支援、ご鞭撻を賜っています関係各位に、誌上を借りて新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は何ともいやな事件が相次ぎました。1月17日、兵庫県南部大地震、3月20日には想像だにしていなかったオウム真理教による「サリン事件」が発生し、一連のオウム関連事件が明るみに出ました。世紀末を信ずるわけではありませんが、社会的にはそれを思わせるようなことが多々ありました。

長らく続いている不況からは依然として脱出していかないようにみられます。経済界にもバブル後遺症ともいべき事件がありました。その筆頭は大和銀行ニューヨーク支店の不正事件で、よくありがちな一行員の不祥事にとどまらず、大和銀行の屋台骨を揺さぶるのみか日米間の信用失墜、さらには世界経済にも重大な影響を与えるような性格のものでした。バブル崩壊後の予想された帰結として住専会社の不良債権問題が顕在化し、そのほかにも潜在的な不良債権は相当額あるものとみられ、日本経済全体に暗い影を落としています。国家財政も長びく不況の影響を受けて税収が落ち込み、歳入不足が懸念されています。

自・社・さ連立の村山内閣も評価は相当低いようですが、ほかに選択肢がないということなのかヨチヨチ歩きながら長続きしています。APEC大阪会議もクリントン大統領の訪日中止という異例の事態の中で一応の成功を収めましたが、今後の日米関係を中心とする国際関係はそう楽観はできないというべきであります。



林野関係に目を転じてみると、4月に「緑の募金」法が制定され法律的な裏づけを持ったことは慶賀すべきことでしたが、折からの不況ムードにあって募金実績の前途はこれまたバラ色ではありません。環境・緑に対する国民的関心は高いとされていますが、これを募金に結びつけるためには、さらなる努力と長期持久戦に臨む構えが必要かと思います。また、今国会に提出予定の林野三法も成立のうえ早期に効果が現れるよう期待されます。

当協会の運営状況につきましては、国有林関係に従事する会員の減少が目立ち会員数の漸減傾向に歯止めはかかりませんが、全体としてみればおおむね順調に推移しています。スキー場等リゾート関連の諸調査は目立って減少しましたが、海外関係の仕事が順調に増えたことが大きく寄与しています。地球的規模での環境問題が懸念され緑化の重要性が指摘されていますが、気象条件の厳しい熱帯地域等での技術協力はそうなまやしいものではありません。おかげさまで職員に事故なく過ぎていることは感謝すべきことです。この一年、会員の皆様をはじめとする林業技術者集団の中心的存在として、確実な歩みを続けてまいりたいと思います。本年もなにとぞよろしくお願ひいたします。

(明るい年でありますことを願いつつ)

新年のごあいさつ 三澤 毅 1

特集 情報の情報ガイド 3

林業用語関係図書の例 3

林業関係書誌 4

林学関連 学・研究会 6

中央林業関係団体 9

森林総合研究所の研究情報公開システム 鈴木皓史 15

最新の農林水産技術情報を運ぶ“AFFTINET” & “AFFTIFAX” 久保七郎 18

本格的データベースの“RAIS” 吉村秀清 20

木材総合情報の普及を目指す「JAWICネット」 武田八郎 23

緑化情報ならおまかせ“YOURS”——緑化情報検索システム 瀧邦夫 26

だれにでもオープンな「緑のネット」 嶋田昭悦 28

普及活動を支援する「林業普及ネット」 古牧敏正 29

隨筆

日本人の長寿食 22 「朝茶」と物見遊山 永山久夫 32

先人の知恵に学ぶ——正月の木々 梅田恵以子 34

第42回(平成7年度)森林・林業写真コンクール優秀作品(白黒写真の部)紹介 36

林業関係行事一覧(1・2月) 41 森川靖の5時からセミナー1 44

傍目八木 42 統計にみる日本の林業 44

本の紹介 42 こだま 45

林政拾遺抄 43

情報の情報ガイド雑記 17

まだまだネットはありますが 22

人間データベース? 25

一般の利用も可能なユニーク図書館 31

12月号・林業ノート訂正 41

協会のうごき 46

編集部雑記 46



説

寒 蘭



<表紙写真> “嚴冬の森に憩うエゾシカ”北海道川上郡弟子屈町、撮影=小泉辰雄(北海道釧路市桜ヶ岡在住)。
第42回森林・林業写真コンクール佳作。コニカプレス、90ミリレンズ、絞り11, 1/250秒、プロビア。

特集 情報の情報ガイド

- * あけましておめでとうございます。本年も皆様に、より親しんでいただける誌面づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
- * 1年の計は新年号にあり。そこで本号では、会員の皆様がさまざまな情報を得ようとするとき、その糸口だけでも見いだすのに役立てていただきたく、情報の情報ガイドとして特集を組みました。
- * 情報は求める側もさまざま、また、求められる側も多岐にわたります。そこでいくつかの柱を立てて、情報の情報、特に林業界を中心として「どこにどのような情報源が?」を紹介いたします。
- * 今回は、用語関係図書、書誌の書誌、学・研究会、中央林業関係団体、そして7つのネットワークシステムの紹介というラインアップです。そのほかにも囲み記事を用意しましたが、取り上げるべきものは数限りなく、誌面は有限。機会を見ての再チャレンジをお約束することでお許しください。
- * 学・研究会と中央林業関係団体の記事は、アンケートを基にしています。年末の多忙時に、しかも短時日で回答を賜りました関係各位には、ここに厚く御礼申し上げます。

林業用語関係図書の例

『現代 森林・林業・木材辞典』(1993)
 『森林家必携 新版』(1993)
 『森林航測テキストブック 最新』(1993)
 『森林ハンドブック』(1995)
 『特用林産ハンドブック』(1976)
 『熱帯植物要覧 第3版』(1990)
 『農林水産統計用語事典 改訂版』(1993)
 『木材用語辞典』(1976)
 『緑化技術用語事典』(1990)
 『林学検索用語集(日-英・英-日)』(1990)
 『林業機械便覧』(近刊)
 『林業技術ハンドブック』(1990)
 『林業実務必携 第3版』(1987)
 『林業百科事典 新版』(1971)
 『林業薬剤便覧』(1984)
 『林野火災実務手引書』(1983)

日本林業調査会	2,500円	☎ 03-3269-3911
林野弘済会	2,800円	☎ 03-3816-2471
日本林業技術協会	3,500円	☎ 03-3261-6969
日本林業協会	1,400円	☎ 03-3586-8430
地球社	2,575円	☎ 03-3585-0087
養賢堂	4,700円	☎ 03-3814-0911
農林統計協会	3,000円	☎ 03-3492-2990
林野弘済会	2,300円	☎ 03-3816-2471
山海堂	3,200円	☎ 03-3816-1617
財團法人 林学会	6,000円	☎ 03-3261-2766
林業機械化協会	(価格未定)	☎ 03-3586-0431
全国林業改良普及協会	6,200円	☎ 03-3583-8461
朝倉書店	9,064円	☎ 03-3260-0141
丸善	14,420円	☎ 03-5684-5571
創文	2,700円	☎ 03-3893-3692
林野弘済会	750円	☎ 03-3816-2471

『育苗便覧』(1958) 全国山林種苗協同組合連合会
 『育林総典』(1960) 朝倉書店
 『機械化のビジョン』(1990) 全国林業改良普及協会
 『森林水文学用語事典』(1983) 水利科学研究所
 『森林土木ハンドブック』(1984) 千代田出版
 『森林土木便覧』(1961) 日本治山治水協会
 『自然保護ハンドブック』(1976) 東京大学出版会
 『薪炭家必携』(1954) 日本農林社
 『図説 集材機索張法』(1978) 林業機械化協会
 『造林ハンドブック』(1966) 養賢堂
 『治山技術写真図説』(1990) 日本治山治水協会

『独和・和独林業語彙』(1976) 日本林業調査会
 『土壤肥料用語事典』(1984) 農山漁村文化協会
 『木材辞典』(1966) 創元社
 『用語便覧(国有林関係)』(1953) 林野共済会
 『林業基礎用語辞典』(1981) 林野弘済会
 『林業語彙(和英・英和)』(1969) 日本林業技術協会
 『林業工学用語集(和英・英和)』(1979) 菜根出版
 『林業実習ハンドブック』(1981) 朝倉書店
 『林業事典』(1955) 朝倉書店
 『林木育種用語辞典』(1968) 林木育種協会

* ほかのだれかと議論したり何かの情報を得ようとするときには、用語の意味を理解しておくことが欠かせません。そこで、用語の意味を確かめたいとき役に立ちそうな既刊の関連図書(一部近刊を含む)の例を挙げてみました。破線より上に挙げた図書は、1995年12月時点で購入可能なものを、破線より下に2段に組んで挙げた図書は、在庫切れ、あるいは絶版になった図書で、各々書名のアイウエオ順で挙げてあります。なお、植物図鑑、樹木図鑑、植生図鑑の類や林野庁編の「法規集」「必携」の類は除きました。

林業関係書誌の書誌

資料提供：奥野隆史氏
(筑波大学地球科学系教授)

- 新井健三(1967)：亜高山帯施業方法に関する文献紹介。長野営林局
- 荒木武夫(1967)：林業用除草剤関係文献目録。林業試験場
- 安藤愛次・有光一登(1961)：亜高山性樹種に関する文献。林業試験場調査室
- 飯田 格教授退官記念事業会(1986)：鑑賞植物の病害文献集。千葉大学園芸学部
- 伊藤一雄(1965・1966)：日本における樹病に関する文献。林業試験場研究報告、174, 181, 193
- 伊藤一雄(1966)：カラマツ先枯病に関する文献目録(1950-1965)。林業試験場研究報告、194
- 茨城県病害虫研究会編(1973)：文献目録II-森林病虫獸害部門一。
- 茨城県林業試験場(1982)：文献目録-森林病虫獸害部門一追録(1973-1980)(茨林試資料9)。
- 岩野三門(1969)：ぶなの文献とその抄録。日本ぶな材協会
- 遠藤安太郎(1935)：近世に於ける林業文献の概観。日本林学会誌、17-12
- 長田五郎(1960)：木材関係主要文献解題。経済と貿易、75
- 加藤幸雄(1966)：松くい虫に関する文献。林業薬剤協会
- 狩野鉄次郎(1941)：櫛及樟林造成に関する文献抄。大阪営林局
- 川口武雄(1978)：治山・森林防災国内文献目録。日本治山治水協会
- 関西地区林業試験研究機関連絡協議会(1977・1978)：吸汁性害虫文献目録。林業と薬剤、60-65
- 木原営林大和事業財団(1982)：キハダ・オウバクー主要な文献・資料の抄録集一。
- 木村竹松(1948)：防風、防潮林関係文献目録。青森営林局
- 京都帝国大学農学部(1928-1930)：林学関係図書目録(和洋書)。
- 草下正夫・山路木曾男(1964)：外国産樹種関係文献目録(第1集)。林業試験場造林部
- 倉田 悟(1966)：A bibliography of forest botany in Japan. 東京大学出版会
- 小泉 力(1982)：北方産針葉樹を対象とした風倒に伴う虫害関連文献目録(研究資料 No121)。林業試験場北海道支場
- 興林会編(1939)：本邦産主要樹種文献目録 第2輯 あかもつ、くろもつ、からもつ編。
- 森林經營研究所(1956)：すぎ・ひのきさし木に関する文献抄録。
- 森林研究所(1959)：林地肥培並に肥料木に関する文献抄録。
- 森林所有権研究会(東京大学東洋文化研究所福島研究室内)(1960)：権利関係を中心とした部落有林文献目録 昭和21年1月-34年12月。林野庁
- 杉本順一(1962)：竹筐類文献表。富士竹類植物園報告、6
- 全国林業改良普及協会(1991)：林業関係月刊誌の近年における新刊図書の紹介記事集。 「23-8
- 高木唯夫・熊崎 実(1970)：戦後林業経済研究主要文献目録-主として近代経済理論による研究を中心として-。林業経済、
- 高橋喜平(1970)：林業における雪害対策の研究-最近10か年の主な文献-。雪水、32-1・2
- 徳川林政史研究所編(1971)：日本林制史調査資料総目録。雄松堂書店
- 戸田良吉(1972)：林木育種関連日本文献抄 1-A, 1-B。農林出版
- 長野県林業指導所(1971)：カラマツに関する文献目録。
- 日本ぶな材協会(1958)：ぶなに関する文献集。農林出版 「版会
- 日本保安林研究所編(1978)：保安林研究の動向と文献目録。日本保安林研究所編：日本の森林とその社会的機能。桐林学園出
- 日本林業文献目録刊行会・林野庁林野資料館(1966-1970)：日本林業文献目録 1964-1967.
- 熱帶農業研究センター・林野庁林業試験場調査部(1976-1979)：熱帶林業関係文献分類目録 第1集-第5集。
- 農林省青森営林局編(1962)：ヒバに関する文献目録。
- 青森営林局技術開発委員会(1969)：林業技術研究集録目録 経営部門関係、事業部門関係。
- 農林省青森営林局計画課(1972)：ブナ林に関する文献集。
- 農林省青森営林局計画課(1974)：ヒバ林に関する文献集(追録)。
- 大阪営林局(1943)：造林撫育に関する文献抄録の目録。
- 熊本営林局(1941)：かし・くす文献目録。
- 林野庁長野営林局計画課(1967)：亜高山帯施業方法に関する参考文献目録。
- 北海道営林局(1979)：保護樹帯設定法に関する文献解題。
- 前橋営林局技術開発室(1977)：森林の寒害防止技術に関する文献。
- 農林省林業試験場(1925・1930)：林業林学に関する論文及著書分類目録 第1輯、第2輯。大日本山林会 「-Na14」。
- 農林省林業試験場(1952)：林学林業に関する文献目録 第4集。
- 農林省林業試験場(1964)：林業試験場研究報告等論文目録(研究報告No 1-No171, 集報No 1-No64, 林野土壤調査報告No 1
- 農林省林業試験場(1970)：林木育種関連日本文献抄。農林出版
- 農林省林業試験場(1973-)：ODCによる林業・林産関係国内文献分類目録 1972版～。日本林業技術協会→〔年刊〕 「学技術振興所
- 農林水産省林業試験場(1978)：林業試験場研究報告等論文目録。
- 農林水産省林業試験場編(1988)：ODCによる林業・林産関係国内文献分類目録 不定期刊行物 1979-1985年版。林業科
- 農林水産省林業試験場経営部・造林部(1984)：ササ類の研究に関する文献分類目録。
- 林業試験場調査室(1959)：カラマツに関する文献目録。
- 林業試験場調査室(1960)：サシキ、ツギキ増殖法の文献。

- 林野庁林業試験場調査部(1983)：熱帯林業関係文献分類目録 第6集。
- 林野庁林業試験場調査部(1987)：熱帯林業関係文献分類目録 第7集。
- 林野庁林業試験場調査部編(1988)：熱帯林業関係文献分類目録 第8集。
- 林業試験場土壤肥料研究室(1963)：健苗育成に関する文献集。
- 林業試験場図書館(1951—1964)：林学林業に関する文献分類目録 第1集～第6集。
- 農林省林業試験場関西支場(1965)：せき悪地に関する文献目録集。
- 農林省林業試験場関西支場(1967)：アカツリに関する文献目録。
- 林業試験場四国支場(1986)：複層林施業に関する文献目録。
- 林業試験場東北支場(1965)：積雪地帯の造林技術に関する文献目録 第1集。
- 林業試験場東北支場(1965)：林地肥培に関する文献。
- 林業試験場東北支場(1966)：森林保護関係文献目録 第1輯 (国立林試東北支場関係)。
- 農林省林業試験場東北支場(1977)：積雪地帯の造林技術に関する文献目録 第2集。
- 農林省林業試験場東北支場編(1988)：積雪地帯の林業に関する研究動向及び文献目録。
- 森林総合研究所東北支所編(1988)：ヒバに関する文献レビュー。
- 農林省林業試験場北海道支場(1955)：林業試験場北海道支場職員林学、林業に関する文献分類目録 第1集。
- 農林水産技術会議事務局(1957)：林木の育種に関する文献 (永年作物育種研究協議会資料 No.3)。
- 波多野文雄(1957)：スギ挿木に関する文献一覧表、熊本営林局。
- 浜田 稔・衣川堅二郎・上山昭則・維谷修治(1961)：マツタケ文献目録、マツタケ研究懇話会：マツタケ研究と増産。
- 福宿光一(1968)：最近の山林調査—山林振興会の調査報告・資料を中心に一。地理, 13—12 「事務局」
- 舟木敏夫(1981)：「トドマツ人工林複層化のための林内更新法」に関する文献目録、林業技術開発推進北海道ブロック協議会古越隆信(1971)：広葉樹の造林に関する文献目録、林業試験場造林部 「第一第3集」。
- 北方林業会(1977～1979)：林業技術者のための文献解題 造林編、経営編、伐出・林道・治山編 (北方林業文献抄録 第1集)
- 森 嶽夫・安藤嘉友・黒龍秀久・坂本一敏(1983)：林業経済論主要文献および論文、森 嶽夫編：林業経済論 (昭和後期農業問題論集23)、農山漁村文化協会
- 森 実・生田穎佑(1968)：入会権関係主要参考文献目録、法政大学教養部紀要, 12
- 安松京三・渡辺千尚編(1964)：日本害虫の天敵目録 第3篇 文献目録。
- 山梨県林業試験場(1958・1959・1961)：林業に関する文献目録 1～4。
- 山梨県林業試験場調査室(1960)：シタケに関する文献目録 1。
- 緑化懇話会編(1981)：緑化造園技術に関する文献目録一定期刊行誌より一。
- 林業経営研究所(1964)：外国林業労働関係文献集 (西ドイツ編 1)。
- 林業経営研究所(1964)：林業の生産性問題に関する文献解題。
- 林業経済編集部(1949)：林学文献目録一昭和15年以降一、林業経済, 2—2
- 林業発達史調査会(1953～1955)：林業技術史関係参考資料目録 第1集～第4集、別集、第5集の1, 2 (林業発達史資料 第10号～第13号、第23号、第38号、第39号)。
- 林業発達史調査会(1956)：図書資料目録 昭和31年1月現在。
- 林業発達史調査会(1957)：図書資料目録 追録の1 昭和31年3月～32年4月。
- 林道研究会編(1983)：林道研究文献目録。
- 林業薬剤協会編(1966～1968)：マツクイムシに関する文献 1～X、林業と薬剤, 19, 22～26
- 林政会(1944・1945)：本邦主要樹種文献目録第3輯上巻 ひのき、さわら、もみ、つが、ひば、かや、いぬがや、いちみ、まき、いぬまき編、第3輯下巻 かうやまき、しらべ及たうしらべ、あをもりとどまつ、たらひ及満州たらひ、てうせんまつ、ひめこまつ及ごえうまつ、ねずこ、とどまつ及えぞまつ編。
- 林野弘済会編(1984)：火入関係参考文献目録、林野弘済会編：火入許可業務必拂。
- 林野資料館(1967)：林業関係実態調査報告書 地域別・発行所別目録 (昭和22—41年) (林業文献シリーズ No.1)。
- 林野資料館(1974)：国内逐次刊行物記事索引 (大学農学部演習林報告記事索引) (林業文献シリーズ No.5)。
- 林野資料館(1976)：国内逐次刊行物記事索引 (各都道府県林業試験場研究報告) (林業文献シリーズ No.6)。
- 林野庁指導部研究普及課(1952)：森林の治山治水機能に関する研究抄録。
- 林野庁指導部研究普及課(1963)：林業技術文献目録集。
- 林野庁調査課(1957)：国有林制度関係文献目録。
- 林野庁林政部調査課(1966)：林業経済関係調査報告及び資料目録。
- 聯合会(1938)：本邦主要樹種文献目録 第1輯すぎ編。

*書誌の書誌って何?…個々の文献や雑誌が増加するにつれて目録や索引=書誌も増加。効率よく文献を探し出すためには、書誌を収集・整理した書誌が必要。 *ここに掲載したものは?…そのような問題意識の下、地理学研究のために書誌の書誌をまとめられつつある奥野先生の快諾を得て、林業項目を拝借したもの。ただし、雑誌総索引・総目次を除いた主題書誌に限定。 *主題書誌って何?…特定問題に限って文献・資料を収録したもの。書誌は形式上11種類に大別されるとか。 *配列は?…奥野先生の『地理学関係文献目録総覧』(1985、原書房)、同追録(1), (2), (3), (4)=いずれも筑波大学地球科学系の「人文地理学研究」(1986, 1988, 1991, 1995)から、著者名のアイウエオ順に配列。ただし、営林局、国立林試・林試支場は点線内にまとめました。

林学関連 学・研究会

(アンケートにより作成)

- 樹木病害研究会** 〒020-01 岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷 72 森林総合研究所 東北支所内 ☎ 0196-41-2150 F 0196-41-6747 ①“樹木病害研究会”=毎年4月(林学大会時)…毎年樹木病害研究に関連するテーマを決め、数人のスピーカーで講演／①約50人
- 森林計画学会 事務局** 〒321 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学農学部森林科学科内 ☎ 0286-49-5544 F 0286-49-5545 E-mail…naito@cc.utsunomiya-u.ac. ①『森林計画学会誌』=年2回、5,000円(2,000円)…森林資源計測技術、数学および統計的手法、情報処理法、森林の機能評価、森林の経営・管理手法、森林施業論。『Journal of Forest Planning』(森林計画学会英文誌)…年2回、講読料は前記に含まれる／①“森林計画学会シンポジウム”=4月(林学会大会時)…タイムリーなトピックスが中心。“森林計画学会夏季セミナー”=7月または8月…主催者の地域的トピックスが中心／①当学会の前身である林業統計研究会の時代から、統計的手法、数学的手法、コンピュータ、リモートセンシング等に興味を持つ会員が多かったが、最近では、経済学や森林管理行政に関心を持つ会員も増え、学会内部での共同研究は多重に企画され、活発である。会員も林業統計研究会創立世代から20代の第4世代までそろっており、理想的齢級配置が保続されている(?)／①約350人
- 森林昆虫談話会** 〒700 岡山市津島中1-1-1 岡山大学農学部緑地造成学研究室 吉川 賢 ☎ 086-251-8376 F 086-254-0714 ①“森林昆虫談話会”=林学会大会の研究集会…森林に生息する昆虫の生態と防除に関するシンポジウム等／①森林に生息する昆虫の生態・防除等に関するシンポジウムの開催と懇親会によって、情報交換と研究の発展を目的としています。集会の日程等は林学会誌のとじ込みを見ていたければと思います。
- 森林GISフォーラム** 〒106 東京都港区南麻布4-6-7 文部省統計数理研究所内 鄭 耀軍 ☎ 03-5421-8743 F 03-5421-8796 ①『ニュースレター』=年4回、2,000円…GISの応用事例紹介、GISソフトウェア情報、研究会、シンポジウムなど行事案内／①“GIS研究会”=年2~3回、主要都市において開催…GIS導入の手順、応用の可能性、企業のソフトウェア紹介と展示実演、GISの勉強会。“シンポジウム”=例年、東京において2月に開催…講演、関連技術情報、ソフトウェアの紹介、GISの導入／①1994年4月に発足。森林管理に携わる行政官・経営者・森林研究者と情報処理専門家の相互研究・交流の場。会員は、一般会員(個人=年2,000円)と賛助会員(民間企業)で構成。地理情報システムの利用に関する勉強、情報交換の機会／①約80人
- 森林水文ワークショップ** 〒113 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部林学科 太田猛彦(世話人代表) ☎ 03-3812-2111(内線)5234 F 03-5802-2930 ①『森林水文ワークショップ報告』=不定期…森林水文学および関連分野。ワークショップの話題提供、要旨および討議記録／①“森林水文ワークショップ”=4月林学会大会時(年1回)…森林水文に関する討議(毎回テーマを決めて、3~6人の話題提供と討論を行う)／①毎年、森林水文に関するトピックスを取り上げ、討議する。会員制ではなく参加自由。前回は“生物群集からみた河川管理のあり方”をテーマとしたところ、防災分野のほか広い領域の研究者が出席し、幅広い議論がなされた。今後とも境界領域を積極的に取り上げ、研究交流を進めていきたい／①約100人
- 森林立地学会** 〒305 茨城県稻敷郡茎崎町松の里1 森林総合研究所森林環境部内 ☎ 0298-73-3211(内線)358 F 0298-73-1542 ①『森林立地』=年2回、3,000円…森林土壤、森林気象、森林生物。②『森林立地』vol.XXX(1977~1988)。在庫あり、1冊1,000円(〒実費、会員に対しては〒学会負担)／①“シンポジウム”=林学会大会時…日々の話題について講演会を開催。“現地研究会”=主に林学会大会時…各地の特徴ある森林生態系や現象について、講演会を含む現地研究会を開催／①森林は土壤、気象、生物等さまざまな立地環境因子が絡み合い互いに影響を及ぼしながら成立している複雑な系です。森林を理解するためにはこれら諸因子の相互作用を多面的に解きあかすことが必要です。学問分野の細分化、分極化が進む中、森林立地学会は森林に学際的なメスを入れ総合的に理解することによって、森林の育成やさまざまな機能の維持・向上に貢献しようとするユニークな研究・技術者団体です。入会者を募ります／①約660人
- 森林利用研究会** 〒113 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部林学科 森林利用学研究室内 ☎ 03-3812-2111(内線)5205 F 03-5800-6994 ①『森林利用研究会誌』=年3回、5,000円(2,500円)…林業土木、林業機械、林業作業等、森林利用にかかる分野一般。②11巻1号(平成8年4月発行)に掲載予定／①“森林利用学会”=毎年秋…森林利用学に関する研究発表会。“森林利用研究会シンポジウム”=毎年4月…森林利用学全般に関するシンポジウム／①大学、研究機関に所属する研究者、国・地方行政官、林業関連会社、機械メーカー等幅広く会員を持っていますが、各都道府県の林業試験場や行政の方々の会員を、さらに増やしていきたいと考えています／①約290人
- 日本緑化学会** 〒156 東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学農学部林学科 治山・緑化工学研究室内 ☎ 03-5477-2275 F 03-3420-4244 ①『日本緑化学会誌』=年4回、4,000円(2,000円)…斜面(法面)緑化、都市緑化、環境林造成、乾燥地緑化、生態系保全緑化、積雪寒冷地緑化等に関すること。②『緑化工技術』15巻1号(H.元年)相当号から『日本緑化学会誌』と名称変更／①“日本緑化学会研究発表会”=例年5~6月に2日間…学会誌と同様の内様。“日本緑化学会公開シンポジウム”=例年10~11月(平成7年度は平成8年1月19日)…緑化技術を広く扱う話題／①約1,120人

* 凡例…①=定期刊行物の書名・刊行回数・年会費(カッコ内は学生)・主な掲載内容(研究分野)、②=総目次等の書名と収載期間、③=文献検索サービス等の概要、④=定期的な研究発表会・シンポジウム等の名称・開催時期・主な内容、⑤=PR、⑥=会員数。 * 配列…①林学主体のもの、②林野庁内の主要3研究会、③関連学会のグループを点線で区分。各々アイウエオ順に配列。 * アンケート…上記①については、昨春の日本林学会大会時に開催された研究集会の主要なものに依頼。上記③は、林学の分野別にそれぞれ複数の研究者に聞き取りを実施。重複回答のあったものに依頼。 * ここに掲げたもの…回答のあった学・研究会に限定。

日本林学会 〒102 東京都千代田区六番町7 日本林業技術協会別館内 ☎03-3261-2766 F=☎と共用 ⑩『日本林学会誌』=年4回、10,000円(5,000円)…林学全般を対象とする和文の学術論文。『Journal of Forest Research』=年4回…林学全般を対象とする英文の学術論文。『森林科学』=年3回…森林科学全般を対象とする情報誌。※会員には以上3誌が配布されます。会費は10,000円(5,000円)です。なお、会員以外の方で『森林科学』のみを定期購読される場合は3,500円です。『日本林学会論文集』=年1回…林学全般を対象とする。日本林学会大会の発表を収録している/⑩『日本林学会大会』=4月上旬…林学全般/⑩本会は国内において林学・森林科学に関する唯一の総合的な学会です。対象分野は社会科学から自然科学、基礎科学から応用科学までと多彩かつ広範囲にわたっています。本会は研究対象地域の国際化、外国人による原稿の増加に対応するため、英文、和文原稿が混在していた従来の『日本林学会誌』から英文原稿のみを独立させた英文学術誌『Journal of Forest Research』を1996年より刊行します。また、『森林科学』も1996年より従来のものより一新し、より読みやすく、親しみやすい情報誌とすることを目指しています。以上のように、本会は林学・森林科学全般に関する研究成果を公表する場を会員に提供するとともに、研究者には斬新な研究成果を、森林に関心を持つ一般の方々には興味深い話題を伝達することを目指しています/⑩約2,800人(購読会員300人)

林業経済学会 〒114 東京都北区田端2-7-26 フレンドリーハイツ201 ☎03-3828-6602 ⑩『林業経済研究』=年2回、6,000円(4,000円)…研究論文(秋季大会・春季大会・例会・自由論題),コメント,学会記事等/⑩『秋季大会』=11月…自由論題報告,シンポジウム。“春季大会”=4月…シンポジウム。“例会”=不定期(年1~2回)…例会報告,討論/⑩約350人

森林計画研究会 事務局 〒162 東京都新宿区市谷本村町3-26 ホワイトビル4階 ☎03-3269-3701 F 03-3268-5261 ⑩『森林計画研究会報』=年5回、2,000円…森林政策、森林経営、森林計画、森林施業、森林施業に関する研究論文・資料およびその海外情報等。⑩『森林計画研究会報』第350~351合併号=1号~349号(昭和20年~平成4年)/⑩『森林計画研究発表大会』=毎年2月初旬ごろ(2日間)…①森林政策,②森林経営,③森林計画,④森林施業,⑤森林調査の5部会で研究成果発表/⑩発会42周年を迎える伝統ある研究集団。最近3回の『会報』特集論文は、「森林と水を考える」(No.367),「森林施業と野生生物」(No.368),「景観づくりと森林計画」(No.369)。入会をお勧めします/⑩約3,700人

治山研究会 〒100 東京都千代田区霞が関1-2-1 林野庁治山課内 ☎03-3502-8111(内線)6292 F 03-3503-6499

⑩『治山』=年12回、2,400円…治山技術に関する講座、会員の技術向上に資する研究論文および現場に密着した試験・調査・設計・施工等。⑩総目次は3年ごと/⑩『治山研究発表会』=10月…指定テーマ(その年の課題テーマ),自由テーマ(治山計画・調査・地すべり対策等)/⑩治山研究会では『治山』等を通じ、会員に最新の治山技術や情報等をお知らせしています。治山事業関係者の方の幅広い参加をお待ちしています/⑩約7,500人

林道研究会 〒100 東京都千代田区霞が関1-2-1 林野庁基盤整備課内 ☎03-3502-8111(内線)6312 F 03-3502-6329

⑩『林道』=年12回、2,000円(600円)…林道調査研究、新工種・工法、現場からの声、随想、その他のコーナー。⑩『林道』総目次(1983)No.1~No.150/⑩『林道研究発表会』=10~11月…調査測量設計などの技術、施工技術、林道施設災害復旧技術、林道維持管理、効果状況調査/⑩①会報『林道』のキャッチフレーズは「新しい山村を創る林道」です。②1万名の会員を目指して、林学関係の大学等にPRしていく予定です/⑩約8,000人

人文地理学会 〒606 京都市左京区吉田河原町14 近畿地方発明センター合同ビル内 ☎075-751-7687 F 075-751-7687

⑩『人文地理』=年6回、9,500円…人文地理学。⑩『人文地理』22巻特別号(20周年記念特別号),1970,¥250,〒実費、1巻1号~20巻6号/⑩『大会』=11月…特別発表、一般発表。“例会・部会”=隔月…経済・都市地理、歴史地理、地理思想/⑩どなたでも入会できますので、人文地理に興味のある方はどうぞご入会ください/⑩約1,600人

日本育種学会 〒113 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内 ☎03-3812-2111(内線)5064 F 03-3815-5851

⑩『育種学雑誌(Breeding Science)』=年4回、8,000円(6,500円)…育種学、遺伝学/⑩『育種学会講演会』=春と秋…育種学に関連する研究発表。“育種学会シンポジウム”=秋…育種学に関連するテーマについてのシンポジウム/⑩約2,100人

日本応用動物昆虫学会 〒170 東京都豊島区駒込1-43-11 日本植物防疫協会ビル内 ☎03-3943-6021 F=☎と共用

⑩『日本応用動物昆虫学会誌』=年4回、4,000円…和文誌(P R欄参照)。『Applied Entomology and Zoology』=年4回、8,000円(日本応用動物昆虫学会誌とともに)…欧文誌(P R欄参照)/⑩『日本応用動物昆虫学会大会』=3月末~4月初…一般講演、ポスター発表、小集会/⑩主に次のような部門に分かれます。①分類学・進化学・生物地理学、②形態学・組織学、③発生学・遺伝学、④生態学、⑤行動学・行動生態学、⑥生活史、⑦生理学・生化学、⑧生理活性物質、⑨寄主植物選好性・耐虫性、⑩寄生・捕食関係・生物的防除、⑪飼育方法・栄養学、⑫昆虫病理学・微生物的防除、⑬毒物学・殺虫剤作用機構・抵抗性、⑭発生予察・被害解析、⑮害虫管理・総合防除、⑯自然・環境保護、⑰有用昆虫・昆虫利用、⑱線虫、⑲ダニ・クモ、⑳畜産・衛生・家屋害虫、㉑脊椎動物、㉒その他/⑩約2,000人

日本昆虫学会 〒113 東京都文京区本駒込5-16-9 日本学会事務センター 日本昆虫学会係 ☎03-5814-5801 F 03-5814-5820 ⑩『昆蟲』=年4回、8,000円…昆虫学に関する原著論文/⑩『日本昆虫学会大会』=年1回、3~4月または9~10月…昆虫学/⑩約1,300人

日本写真測量学会社 〒171 東京都豊島区南池袋2-8-17 第1豊南ビル502 ☎03-3984-7040 F 03-3984-7402

⑩『写真測量とリモートセンシング』=年6回、7,000円(5,000円)…写真測量の基礎理論および応用、リモートセンシングの基礎的手法および応用、G I Sの基礎理論と応用。⑩原著論文のみ、創立10(1972), 20(1982), 30(1992)年号に総目次あり/⑩F AXや電話による問合せに対応可/⑩『日本写真測量学会年次、秋季学術講演会』=5月、10月…写真測量・リモートセンシングおよびG I Sに関する研究成果の速報/⑩①オーソドックスな写真測量から最新のリモートセンシング、G I S、デジタル写真測量まで、広い分野をカバーする。②論文や報告のみならず、解説や情報ルーム等バラエティに富んだ情報を会員に提供している。③小特集または特集を随時企画し、読者にとって興味深い内容を提供するよう努力している/⑩約1,250人

日本植物学会社 〒113 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル内 ☎03-3814-5675 F 03-3814-5352 ⑩『Journal of Plant Research』=年4回、9,000円(4,500円)…学術論文。『生物科学ニュース』=年12回、前記会員には無償配布(た

- だし、ニュースのみ年間購読の場合は3,100円。学会事務センター扱い)…日本動物学会と共に編集、学術集会の案内・公募・その他の情報を掲載/『日本植物学会大会』=9~10月…植物学に関する全般的研究発表/約2,300人
- 日本植物病理学会 事務局 〒170 東京都豊島区駒込1-43-11 日本植物防疫協会内 ☎ 03-3943-6021 F=☎と共用
 ⑩『日本植物病理学会報』=年6回、8,000円…植物病理に関する分野。⑪『日本植物病理学会報総目次』第21巻(1956)~第50巻(1984)/⑫『大会』=4月上旬…植物病理に関する分野。“5地域の部会”=夏~秋…前記同。“植物感染生理談話会”=7月…病原微生物の植物感染生理に関する分野。“植物細菌病談話会”=秋…植物細菌病に関する分野/約1,870人
- 日本水文科学会 事務局 〒305 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学地球科学系内 ☎ 0298-53-2568 F=☎と共用
 ⑩『ハイドロロジー』=年4回、6,000円(4,000円)…流出、蒸発、地下水流动、湖水流動、土壤水等の水文現象にかかる研究成果/⑪『日本水文科学会年次学術大会』=毎年6月第2週土、日…学術研究成果の発表。“日本水文科学会シンポジウム”=前記同…公募テーマ(12月〆切)によるシンポジウム/約380人
- 日本雪氷学会社 〒102 東京都千代田区富士見2-15-5 ベルベデーレ九段207 ☎ 03-3261-2339 F 03-3262-1923
 ⑩『雪氷』=年6回、8,000円(5,000円)…雪氷や寒冷に関する学術的研究・調査論文のほか、建設・交通・電力・通信・農業・水産等の関連産業の技術向上、災害の防止から労働・医学・スポーツに至るまでの論文および情報。『BULLETIN OF GLACIER RESEARCH』=年1回、2,000円…(社)日本雪氷学会氷河情報センターが刊行する氷河に関する英文学術誌。氷河研究に関する研究論文を掲載/⑪『日本雪氷学会全国大会』=9~10月…研究発表会、公開シンポジウム、各種会合、各社展示、見学会/約1,145人
- 日本第四紀学会 〒113 東京都文京区本郷5-16-9 学会センターC 21 ☎ 03-5814-5801 F 03-5814-5820 ⑩『第四紀研究』=年5回、7,000円(5,000円)…論文、短報、資料、書評など。研究分野は、第四紀にかかる地質、地理、古生物、動物、植物、土壤、人類、考古、地物、地化、工学にわたる。『第四紀通信』=年6回(会費に含まれる)…会告、学会記事、会員異動、各種報告、国際会議、シンポジウム案内、博物館紹介、公募案内など/⑪『大会』=8月下旬…一般研究発表、シンポジウム(ポスター含む)、総会。“特別講演会”=1月下旬…講演会(複数)またはミニシンポ/⑫第四紀は氷河時代の到来とともに出現した人類の時代を対象にする約200万年間を指し、この時代を研究対象とする第四紀学は、人類の歴史とそれを取り巻く環境変遷を解明しようとする研究分野である。地表面の動態も明らかにしようとしているので、関心のある方は、ぜひご入会ください/約1,800人
- 日本地形学連合 〒611 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所内 ☎ 0774-32-6041 ただし、入会申込みは下記へ。
 〒565 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 千里LCビル4F 日本学会事務センター J G U 係 ☎ 06-873-2301
 ⑩『地形(Transaction, Japanese Geomorphological Union)』=年4回、7,000円(4,000円)…研究論文(地形学)、学会に関する諸情報/⑪『MORPHO』=パソコン通信、学会への郵便依頼による…京都大学大型計算機センター内に文献情報データベース「MORPHO」として登録。全国の大学から利用が可能/⑫『日本地形学連合全国大会』=春・秋に各1回…一般研究発表およびシンポジウムを開催する。巡査を実施することもある/⑬広く地形に関心を寄せられる科学者、技術者が從来の専門や所属学会にこだわることなく、自由に膝を交えて、研究討論を行い、地形に関する学術の進歩に貢献することを目的としている/約740人
- 日本動物学会社 〒113 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル内 ☎ 03-3814-5461 F 03-3814-5352 ⑩『ZOOLOGICAL SCIENCE』=年7回、9,800円(6,800円)。それぞれ支部会費800円を含む…動物学、生理、生態、代謝、内分泌等。系統分類/⑪『日本動物学会大会』=毎年秋…研究発表。“一般・高校生向けシンポジウム”=テーマ・開催時期は不定/⑫約2,800人
- 日本都市計画学会社 〒102 東京都千代田区一番町10 一番町ウエストビル6F ☎ 03-3261-5407 F 03-3261-1874
 ⑩『都市計画』=年6回、10,000円(5,000円)…都市計画学。『都市計画論文集』=年1回…都市計画学/⑪『学術研究論文発表会』=11月~12月…毎回100~120編程度の都市計画関係研究論文の発表およびワークショップ等。“月例懇話会”=奇数月(年6回)…毎回、さまざまな分野の専門講師にテーマを絞り、タイムリー性のある話題を提供していただく/約5,200人
- 日本土壤肥料学会社 〒113 東京都文京区本郷6-26-10-202 ☎ 03-3815-2085 F 03-3815-6018 ⑩『日本土壤肥料学雑誌』=年6回、10,000円(7,000円)…土壤学、肥料学、植物栄養学、国土资源の保全に関連する環境科学分野など。⑪『日本土壤肥料学雑誌総目次』1巻(1927)~50巻(1979)、51巻(1980)~60巻(1989)。⑫『Soil Science and Plant Nutrition』=年4回、6,000円…前記同。⑬『Soil Science and Plant Nutrition 総目次』vol. 1 (1955)~vol. 31 (1991)。⑭『日本土壤肥料学会年次大会講演要旨集』=年1回(頒布可)/⑮『日本土壤肥料学会年次大会』=毎年4月上旬…研究発表・シンポジウム。“支部(6支部)大会”=年1~3回…講演会を開催(特別講演会を含む)/⑯学会活動は次の24部会が基本単位となっています。①土壤物理、②土壤有機・無機化学、③土壤分析法、④土壤鉱物、⑤土壤生化学、⑥土壤生物学、⑦分子生物学、⑧共生、⑨土壤病害、⑩植物の無機栄養・代謝、⑪植物の栄養生態、⑫農産物の品質・成分、⑬土壤生成・分類、⑭土地分類利用・景域評価、⑮土壤保全、⑯水田土壤肥よく度、⑰畑地土壤肥よく度、⑱園地・施設土壤肥よく度、⑲草地土壤肥よく度、⑳肥料および施肥法、㉑土壤改良資材、㉒緑化技術、㉓地域環境、㉔地球環境/約2,400人
- 日本人间工学会 〒173 東京都板橋区大谷口上町30-1 日本大学医学部衛生学教室内 ☎ 03-3974-3559 F 03-3974-9131
 ⑩『人间工学』=年6回、8,500円(5,000円)…人間工学/⑪『文献複写』=FAX、電話、郵便による…文献複写は有料で行っています/⑫『日本人間工学会大会』=毎年5~7月ごろ…シンポジウム、ポスターセッション、一般講演/⑬約2,000人
- 日本リモートセンシング学会社 〒101 東京都千代田区神田小川町2-8-16 三恵ビル ☎ 03-3293-0514 F 03-3293-0519
 ⑩『日本リモートセンシング学会誌』=年4回、8,500円(4,000円)…学術論文(リモートセンシングに関する各種の研究、調査、試験結果の報告)/⑪『学術講演会』=5月、12月…リモートセンシングに関する学術研究の発表。

中央林業関係団体

(アンケートにより作成)
(F=FAX は局番省略)

森林開発公団 千代田区紀尾井町 3-29 福田ビル [〒102] ☎ 03(3222)1211 F 1455

①『森林開発公団業務案内』=無償…業務案内／②森林(もり)をつくる、林道(みち)をつくる、ゆとりをつくる森林開発公団。公団事業に関するお問合せは、総務部総務課まで。

農林漁業金融公庫 千代田区大手町 1-9-3 [〒100] ☎ 03(3270)2261 F 2350

①『公庫月報』=年12回、4,800円…大学教授等の論文、農林水産省による施業等の解説、公庫融資先の紹介。なお、林業特集は年1回。『長期金融』=年1~2回、1冊712円…大学教授等の論文掲載。林業特集を組んだのは、最近10年間で2回／②『融資先に対する情報提供』=郵便等による。「個別融資相談」=電話等による／③当公庫は、農林漁業者に対する長期・低利の資金を供給することを目的に、全額政府出資により設立された政府系金融機関です。林業関係では、造林・林道等の基盤整備や、木材の生産・加工・流通関係の施設整備、林家の経営安定のための資金等を融資しております(資金ご利用についてのお問合せは、お近くの森林組合または当公庫支店まで)。

農林漁業信用基金 林業管理室 千代田区内神田 1-1-12 コープビル 5F [〒101] ☎ 03(3294)4481 F 3140

①『林業基金』=年度末1回、無償…林野庁、県庁、金融機関業者等に対する論文等。『基金だより』=年度当初1回、無償…林野庁、県庁、金融機関業者等に対する連絡公報誌／②『緑のネット』=パソコン通信による。本誌28ページ参照。

国際協力事業団 新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル [〒163] ☎ 03(3346)5311 F 5032

国際熱帯木材機関(ITTO) 横浜市西区みなとみらい 1-1

パシフィコ横浜 横浜国際協力センター 5F [〒220] ☎ 045(223)1110 F 1111

海外林業コンサルタント協会社(JOFC) 文京区後楽 1-7-12 林友ビル 3F [〒112] ☎ 03(5689)3435 F 3439

①本協会は、海外の森林の造成・開発事業に対する協力体制の強化および林業技術者の資質の向上を図り、森林・林業にかかる国際協力の効果的な推進に資することを目的とし、海外の森林・林業に関する調査計画、技術開発、指導・助言、資料の収集・情報の提供、国およびその他機関が行う海外林業活動に対する協力等を行っている。調査活動については、毎年、調査案件に応じ、5種類程度の報告書を作成している。

関東森林花木類事業協同組合 足立区西新井 6-42-10 [〒123] ☎ 03(3890)8254 F (3854)2025

木原営林大和事業財団 千代田区神田錦町 2-5 鈴木第2ビル 5F [〒101] ☎ 03(3219)2810 F=共用

建設業・清酒製造業・林業退職金共済組合 港区芝公園 1-7-6 中退金ビル [〒105] ☎ 03(5400)4334 F (3432)5868

公有林野全国協議会 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 4F [〒100] ☎ 03(3581)2288 F 1410

国際緑化推進センター 文京区後楽 1-7-12 林友ビル内 [〒112] ☎ 03(5689)3450 F 3360

国土緑化推進機構社 千代田区平河町 2-7 砂防会館 2F [〒102] ☎ 03(3262)8451 F (3264)3974

①『国土緑化』=年4回、無償(ただし、配布のみ)…全国植樹祭・全国育樹祭のご案内、都道府県緑化推進委員会の活動状況等。年2回は森林基金特集号。『緑の少年団』=年1回、無償(ただし、配布のみ)…緑の少年団全国大会や全国緑の少年団活動発表大会等、緑の少年団の活動状況を紹介。

森公弘済会 千代田区紀尾井町 3-30 山本ビル 7F [〒102] ☎ 03(3239)1043 F 1049

森林火災対策協会 文京区後楽 1-7-12 林友ビル [〒112] ☎ 03(3816)2471 F (3818)7886

②『情報提供』…地方自治体等への消火剤、各種機材等の情報提供および販売。

森林都市づくり研究会 港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 9F [〒107] ☎ 03(3585)6065 F=共用

森林文化協会財 中央区築地 5-3-2 朝日新聞東京本社内 [〒104-11] ☎ 03(5540)7686 F 7662

①『森林文化研究』=年1回、3,000円…森と人間にかかる論文集。『グリーンパワー』=年12回、1冊350円…緑に関する総合誌。森、動物、植物、環境について取り上げている／②『朝日グリーンセミナー』=4月から12月まで毎月1回…午前中、専門家2人の講演を聞き、午後説明を聞きながら首都圏に残された自然の中を歩く。“朝日森林体験教室”=毎年7月下旬1回…「21世紀に残したい日本の自然百選地」の1か所を訪ね、自然のしくみを学ぶ。“シンポジウム”年3回…東京1回、地方で2回、「森林と人間」を基本テーマに日本の森をどうするかを討議する。“中国で植樹”=3月末から4月…北京郊外、万里の長城北側のハゲ山に毎年植樹。ボランティアを募集。

森林保険協会 文京区小石川 2-1-2 11 山京ビル [〒112] ☎ 03(3811)8615 F 8273

水源林造成推進連盟 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 4F [〒100] ☎ 03(3580)4014 F=共用

水利科学研究所財 文京区後楽 1-7-12 林友ビル 2F [〒112] ☎ 03(3816)3391 F 3392

①『水利科学』=年6回、5,640円(消費税、送料込み)…治山、治水および水利用、水循環全般。②『水利科学』既刊内容目次(1957年4月~1992年2月、希望者には無償配布)／③降水→森林(農地)→河川→海洋という水循環において生起する自然的、社会的諸課題を扱って、39年の蓄積がある。

全国環境緑化樹木事業協同組合 世田谷区玉川 3-13-5 第五朋友ビル 202 [〒158] ☎ 03(3709)6055 F 6056

全国公団造林協議会連合会 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 4F [〒100] ☎ 03(3580)4014 F=共用

①『会報』=原則として年3回、無償…当連合会の活動状況(会員に対して配布)。

全国国有林製品生産事業連絡協議会 文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F [〒112] ☎ 03(5802)3157 F=共用

⇒全国素材生産業協同組合連合会参照。

* 凡例…①=定期刊行物の書名・刊行回数・年間購読料(カッコ内は学生)・主な内容、②=総目次等の書名と収載期間、③=情報提供サービス等の概要、④=主に公募による定期的なコンテスト・研修会等の行事名・開催時期・主な内容、⑤=PR。 * 配列…アイウエオ順。ただし、当協会の記事は末尾に掲載。 * アンケート…「林野庁職員録」の附録・中央林業関係団体一覧に掲載されているすべての団体に依頼。 * ここに掲げたもの…すべての団体。財団は有回答分のみ表示。ただし、林学会は財法を、技研組は木材性能へ一括表示。

全国国有林造林業連絡協議会 文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F [〒112] ☎ 03(3813)3677 F=共用

全国山林種苗協同組合連合会 千代田区飯田橋 4-9-9 第7田中ビル 8F [〒102] ☎ 03(3262)3071 F 3074

⑩『緑化と苗木』=年4回、2,060円…育苗技術の普及、山行苗木、緑化木の需給情報。

全国食用きのこ種菌協会 中央区日本橋室町 3-1-10 田中ビル [〒103] ☎ 03(3241)3094 F=共用

⑪『(資料)きのこ種菌一覧』=年1回、関係方面に無償配布。ただし、1部希望の場合は、400~500円で頒布…協会会員の製造販売にかかるきのこ種菌の種類、形状等を詳細に記載/⑫『きのこセミナー』=隔年5~6月ごろ…きのこ栽培等の技術向上、栽培用資器材、病虫害防除等斯界の権威者数名の講演およびこれに対する討論を行う。“きのこ種菌培養基礎技術研修会”=毎年6月ごろ…きのこ種菌を培養する基礎的な技術の習得。“きのこ生産動向等に関する研修会”=毎年(時期は不定)…きのこの生産動向、消費性向等について、官公庁担当者、商社等の講師による研修。

全国森林組合連合会 千代田区内神田 1-1-12 コープビル 8F [〒101] ☎ 03(3294)9711 F (3293)4726

⑬『森林組合(雑誌)』=年12回、6,180円(税込)…森林組合・林業・山村問題・森林組合系統の情報、林業関係行政、経営指導記事等。『全森連時報(機関誌)』=年12回、1,236円(税込)…森林組合・林業・山村問題・森林組合系統の情報、林業関係行政、木材市況/⑭『森林組合簿記』『森林組合関係法令通達集』『森林組合合併の手引き』等の刊行物も発行しています。

全国森林整備協会 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 4F [〒100] ☎ 03(3581)6800 F=共用

⑮『全森協会報』=年6回、無償…森林整備関連予算制度の動向。総会、理事会、ブロック会議等について。森林(もり)づくり情報。⑯第100号(平成2年11月15日発行)に既刊号の内容を掲載(S 49.4.15~H 2.9.20)。

全国森林土木建設業協会社 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 2F [〒100] ☎ 03(3581)3336 F 3341

⑰『会報』=年6回、無償…協会活動の報告。“自然環境にやさしい森林土木工法”=年1回、各協会で一定量無償と実費…工法の評価・紹介/⑱『研修会(現場主任者)』=1月初旬…現場管理技術の付与。“研修会(若手経営者)”=1月中旬…経営管理技術の向上。“森林土木技術現地検討会”=10月…技術委員会委員による現地調査・検討会・現地に合った設計積算等の具現化。“陝西省労働事情調査団”=10月…労働委員会委員が将来の労働力確保のため現地調査/⑲『森林土木事業における労働災害事例集』なども集計・頒布。

全国森林病虫獣害防除協会 千代田区内神田 1-1-12 コープビル 8F [〒101] ☎ 03(3294)9719 F (3293)4726

⑳『森林防疫』=年12回、6,200円…森林に対する病虫獣被害の実態と防除対策に関する技術的普及書/㉑『森林防疫奨励賞』=7月(総会席上)…防疫誌掲載研究論文の中から優秀論文を表彰(国の研究機関の研究者は除く)。“防除活動優良事例コンクール”=7月(総会席上)…松くい虫等の防除活動において顕著な功績を上げている団体を表彰(都道府県よりの推せん団体)。

全国森林レクリエーション協会社 港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 9F [〒107] ☎ 03(3585)4217 F 4218

(全国森林インストラクター会、国有林利活用フォーラム)

㉒『森林レクリエーション』=年12回、会員無償。会員外1冊400円…山村・森林・林業と国民の余暇活動にかかわる情報/㉓『森林インストラクター資格試験のご案内』…森林インストラクター資格試験と養成講習会の紹介。“森林インストラクター登録者名簿”的提供…各都道府県、市町村へ送付/㉔『全国研修会(会員対象)』=10月ごろ(年1回)…国内森林レクリエーション事業現地研修。“海外研修会(会員対象)”=9月ごろ(年1回)…海外森林レクリエーション事情視察。“森林インストラクター養成講習”=8月(年1回)…森林インストラクター資格試験者を対象とする講習(東京、大阪会場で実施。8日間)。“森林インストラクター資格試験”=9月(年1回)…当協会が農林水産大臣の認定を受けて行う試験で、森林・林業・森林内の野外活動・安全及び教育の4科目からなる(東京、大阪、九州(福岡)会場で実施)/㉕『森林のレクリエーションの利用の展開等森林の総合利用の推進を通じ、山村地域の活性化、森林・林業の振興・発展に寄与。

全国森林インストラクター会 ㉖『森林インストラクター会報』=年6回、会員配布…森林インストラクター活動の情報提供/㉗『森林インストラクター名簿の登録・紹介、情報交換』=パソコンによる…農林漁業信用基金の「緑のネット」を通じたサービス。“森林インストラクター会会員名簿の提供(年1回)…各都道府県、市町村へ送付/㉘『森林インストラクター現地研修会(会員対象)』=春1回、秋1回…森林インストラクターの知識、技術向上のための現地研修/㉙『森林のレクリエーションの利用の展開等森林の総合利用の推進を通じ、山村地域の活性化、森林・林業の振興・発展に寄与。

国有林利活用フォーラム ㉚『News Letter(会員対象)』=随時、無償…国有林野の利活用等の情報提供と適正な利活用の啓発/㉛『News Letter の提供』…上記内容と同じ/㉜『研究・研修会』=年4回…国と土地利用等に関する勉強と国有林の利活用等の情報を啓発/㉝『国と土地利用等に関する勉強と国有林の利活用等の情報を啓発/㉞』の各種基本計画(経済計画、総合開発計画、国土利用計画、環境基本計画等)の理解や土地利用動向の勉強等と、国有林野の利活用の情報等のことならこのフォーラムに。

全国素材生産業協同組合連合会 文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F [〒112] ☎ 03(5802)3157 F=共用

㉟『全素協・全生協だより』=共同で年4回、無償…東材生産関係情報。『全素協通信』『全生協通信』=各々年12回、無償…前記に同じ。速報版/㉟『高性能林業機械オペレータ研修会』=8月~9月…運転訓練。

全国ツキ板連合会 大阪府南河内郡美原町木材通 1-5-15 関西銘木単板有内 [〒587] ☎ 0723(61)3134 F 0157

全国天然木化粧合板工業協同組合連合会 港区西新橋 2-13-7 ササキビル 2F [〒105] ☎ 03(3501)4021 F=共用

㉟『全天連だより(会報組合員用)』=年12回、無償…業務参考資料/㉟『情報提供』=FAX・電話・郵便等による…組合員名簿、統計資料等/㉟『全国優良ツキ板・銘木展示大会』=12月~2月…優良ツキ板およびツキ用銘木の展示および即売会。“全国ツキ板業者大会”=2年に1度…情報の交換、研修/㉟ツキ板は銘木を0.2~0.3mmにスライスした薄板のことで、これを合板の上に貼った製品を天然木化粧合板といい、建築内装、家具等に使われています。銘木の美しさを一般の人々に広く味わってもらうのに最適な製品です。また、ツキ板は資源を大変有効に利用した環境に優しい製品で、薄くスライスする加工技術は日本が最も優れています。

全国燃料協会 中央区銀座 8-12-13 豊川ビル 4F [〒104] ☎ 03(3541)5711 F 5715

全国農業協同組合連合会 千代田区大手町 1-8-3 [〒100] ☎ 03(3245)7175 F (3241)0668

全国北洋材協同組合連合会 中央区八重洲 1-5-4 共同ビル 6F [〒103] ☎ 03(3271)3960 F 8127

全国銘木連合会 江東区新木場 2-1-6 東京銘木協同組合 2F [〒136] ☎ 03(3521)0217 F=共用

全国木材市売買方組合連盟 江東区深川 2-5-11 木材会館 3F [〒135] ☎ 03(3643)8711 F 8727

全国木材協同組合連合会 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 6F [〒100] ☎ 03(3580)3215 F 3226

全国木材組合連合会 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 6F [〒100] ☎ 03(3580)3215 F 3226

全国木材チップ工業連合会 江東区深川 2-5-11 木材会館 5F [〒135] ☎ 03(3641)1236 F=共用

全国木材防虫 JAS 協議会 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル [〒100] ☎ 03(3580)3215 F 3226

全国木造住宅機械プレカット協会 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル [〒100] ☎ 03(3580)3215 F 3226

全国木炭協会 中央区銀座 8-12-13 豊川ビル 4F [〒104] ☎ 03(3541)5712 F 5715

全国木工機械工業会 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 201-2 [〒105] ☎ 03(3433)6511 F 6513

全国林業改良普及協会社 港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 7F [〒107] ☎ 03(3583)8461 F 8465

⑪『林業新知識』=年12回、2,970円…農林業経営に役立つ技術・販売情報から森林・山村に関する幅広い話題をレポート。カラーページもあり、親しみやすい絵で見る雑誌。⑫『全林協30年の活動』第1号(S 28.10月号)~352号(S 58.1月号)。⑬『現代林業』=年12回、4,500円…森林・林業・木材のこれからを考える総合雑誌として編集。林業経営のあり方や林政の動き、山村や森林を巡る話題まで幅広く取り上げている。⑭『全林協30年の活動』第1号(S 39.7月号)~201号(S 58.3月号)。⑮『林業普及ネット』=加入利用対象は、原則として都道府県の林業普及組織…①電子掲示板、②電子メール、③林業普及情報データベース。本誌29ページ参照/⑯『全国林業グルーピリーダー研修会』=毎年11月下旬~12月上旬…農山村における林業研究グループのリーダーを養成し、自主的なグループを育成助長しようとするもの。“全国林業経営推奨行事”=毎年11月21日ごろ…全国の優良林業経営者(複合経営を含む)を顕彰するもの。“全国林業婦人学習の集い”=毎年3月上旬…近年、林業の担い手としての役割が高まってきている婦人を集め、女性リーダーの育成とグループ活動の活性化に資することを目的としている。“全国レベル研究会”=毎年3月中旬…普及指導職員の指導力の向上並びに活動の高度化を図るために、研究発表を含めて開催するもの/⑰林業普及指導事業推進の支援。月刊誌、単行本、林業普及双書、各種パンフレットの刊行。VTRの企画、制作。森林関係の展示事業の企画、設計、施工。全都道府県に支部あり。会歴40年余。

全国林業構造改善協会 千代田区内神田 1-1-12 コープビル 8F [〒101] ☎ 03(3294)9719 F (3293)4726

⑪『林構情報』=年4回、2,400円…林業構造改善事業にかかる情報の提供(予算、事業内容ほか)。

全日本木材市場連盟社 文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F [〒112] ☎ 03(3818)2906 F 2907

⑪『全市連特報』=年12回、3,000円…当会の行事案内と実施状況報告、国の施策等の紹介、会員市場の紹介。

大規模林業園開発推進連盟 千代田区霞が関 3-3-1 尚友会館内 [〒100] ☎ 03(3501)0261 F 0707

大日本山林会社 港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 7F [〒107] ☎ 03(3587)2551 F 2553

⑪『山林』=年12回、1冊400円、年間費の場合は3,500円…当会の機関誌。林業関係者を対象に、活動報告、関係行政、業界動向を解説。⑫『山林総目録』(M.15.1 (創刊号)~S.63.12。有料5,000円、〒450)/⑬『大日本山林会現地研修会』=春または秋…先進的林業地視察/⑭本会の付属に「小林記念林業文献センター」があります。有料ですが、来館のうえのコピーサービスがあります。

特定森林地域協議会 千代田区平河町 1-7-15 柳下フラツツ内 [〒102] ☎ 03(5276)0536 F (3222)5024

南方造林協会社 中央区銀座 3-9-11 紙パルプ会館内 [〒104] ☎ 03(3248)4806 F 4827

⑪定期刊行ではないが、海外調査事業実施(年1回程度)後、報告書発刊。年1回程度。無償。パルプ原料造林事業調査等。

ニッセイ緑の財団 千代田区有楽町 1-1-1 [〒100] ☎ 03(3501)9203 F 5713

日本植木協会社 港区赤坂 6-4-22 三沖ビル 3F [〒107] ☎ 03(3586)7361 F 7577

⑪『緑化通信』=年12回、5,000円…業界の動向/⑫『全国緑化樹木生産経営コンクール』=8月~12月…植木の生産経営。“経営者研修会”=7月…植木の生産経営。“海外視察研修会”=8月…植木生産圃場視察。

日本きのこ研究所 群馬県桐生市平井町 8-1 [〒376] ☎ 0277(22)8165 F 5181

日本きのこセンター財 烏取県鳥取市富安 2-96 [〒680] ☎ 0857-22-6161 F 0857-29-1292

東京事務所 千代田区内神田 1-9-12 興亞第2ビル 8F [〒101] ☎ 03(3233)3206 F 3239

⑪『菌草(きんじん)』=年12回、4,320円(元、税込)…シタケを中心とする食用きのこ類の栽培技術。

日本合板検査会 港区西新橋 1-18-17 明産ビル 5F [〒105] ☎ 03(3591)7438 F 3834

日本合板工業組合連合会 港区西新橋 1-18-17 明産ビル 5F [〒105] ☎ 03(3591)9246 F 9240

日本合板商業組合 台東区台東 4-30-10 宮地ビル 3F [〒110] ☎ 03(3832)2976 F (3839)4158

日本さくらの会 千代田区平河町 2-3-19 麻町山晴ビル 2F [〒102] ☎ 03(3234)2034 F 2216

日本椎茸農業協同組合連合会 中央区日本橋室町 3-1-10 田中ビル 5F [〒103] ☎ 03(3270)6068 F (3242)2159

日本漆工協会 中央区八丁堀 3-18-7 黒江屋八丁堀ビル 6F [〒104] ☎ 03(3555)1103 F 1107

日本集成材工業協同組合 港区西新橋 2-22-4 高嶺第二ビル [〒105] ☎ 03(3434)6527 F 6547

⑪『集成材に関する諸事項』=FAX等/⑫『木造建築物研究会』=開催日決定のつどご案内…建築設計・施工者向け。

日本住宅・木材技術センター財 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 4F [〒100] ☎ 03(3595)4021 F (3581)5586

⑪『住宅と木材』=年12回、6,000円(送料含む)…B5版、38ページ。木造住宅および木材利用に関する情報を毎号特集(特集=16ページ)/⑫『木造住宅耐震診断講習会』=年間(都道府県)…木造住宅の耐震性に関する消費者等からの相談に対応でき、耐震診断を行い、耐震改修に的確な提案を行うことができる人材(有資格者)を育成する。“木を学ぶ会”=6月~12月(6回)…木質構造の基礎から応用まで実践的なカリキュラムにより、設計、施工、材料メーカー、流通に携る人材を育成する(1回当たり2日間)/⑬銘木標本館をご利用ください。故長谷川萬治氏(1891年~1976年)が昭和23年ごろから、精力的に収集されたケヤキほか各種の銘木を展示しております(約1,000点、約400m³)。場所=東京都江東区新砂3-3-1(地下鉄東西線南砂下車徒歩3分)、開館は、土・日・祭日を除く10時~16時です。

日本樹木医会 港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 日本緑化センター内 [〒107] ☎ 03(3585)3561 F (3582)7714

⑪『TREE DOCTOR』=年1回、1,500円…樹木医技術、内外の樹木医制度、診断事例、会員情報/⑫『樹木医講演会』=毎年秋~冬…樹木医技術、診断・治療事例、制度の普及。

日本精漆工業協同組合 台東区東上野 1-14-13 東ビル 400 [〒110] ☎ 03(3839)2647 F 2648

- ⑩『うるしレポート』=年6回、無償…漆(うるし)需要の開拓並びに宣伝・普及情報／⑩『生漆(きうるし)の需給・統計=FAX・電話・郵便による／⑩『漆(うるし)の美展』=11月13日(うるしの日)を中心30日間…「やさしく身につく漆のはなし展」「次代の漆界を担う漆工・美術展」の合同展／⑩11月13日を「うるしの日」と定め、漆の需要拡大・宣伝に努めています。そのメイン行事として、「漆祖虚空蔵菩薩祭」や「漆の美展」などを催しています。
- 日本製紙連合会 中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館内 [〒104] ☎ 03(3248)4806 F 4827
- ⑩『紙・パルプ』=年13回、6,388円…紙・パルプ産業関連諸事項。『パルプ材便覧』=年1回(5月ごろ)、1,800円…内外パルプ材資料集。
- 日本繊維板工業会 中央区八重洲1-5-15 田中八重洲ビル5F [〒103] ☎ 03(3271)6883 F 6884
- 日本造林協会 千代田区内神田1-1-12 コープビル8F [〒101] ☎ 03(3294)9719 F (3293)4726
- ⑩『造林時報』=年4回、1冊250円…造林事業担当者を対象に予算・事業の内容を掲載。技術者向けに、造林・育林・間伐技術の紹介・啓蒙に関する記事／⑩『造林事業全国シンポジウム』=秋…年1回、テーマを決めて全国より都道府県ほか関係者約500名を集めて開催(林野庁・地元[△]開催)県と共に。平成5年度のテーマは環境林、6年度は造林作業路、7年度は広葉樹人工林／⑩造林・間伐事業に関するパンフレット、法規集なども取り扱っております。
- 日本治山治水協会 千代田区永田町2-4-3 永田町ビル4F [〒100] ☎ 03(3581)2288 F 1410
- 日本特殊合板工業会 港区西新橋2-13-7 ササキビル2F [〒105] ☎ 03(3501)3684 …
- ⑩『特殊合板便覧』=年1回、2,500円…特殊合板のほか関連する諸統計(家具、住宅壁紙、繊維板等)輸入関税率表、防火材料、木質防火戸一覧、規格、製造工程等。それぞれ独立したデータとしては、年12回、『特殊合板』『繊維板』『パーティクルボード』『木製家具』等生産統計および輸入統計あり／⑩特殊合板および特殊合板を利用した防火材料や木質系防火戸の開発、実大燃焼テストの実施、各種展示会への展示によるPRの実施。
- 日本特用林産振興会 千代田区内神田1-3-5 広栄ビル3F [〒101] ☎ 03(3293)1197 F 1195
- ⑩『特産情報』=年12回、5,580円…特用林産物の生産・流通・消費に関する情報／⑩『きのこ料理コンクール全国大会』=2月…きのこのアイディア料理原稿を公募／⑩95年から10月15日をきのこの日と定め、地域地域での振興を図っている。特用林産に関する情報提供には相談のうえ応じられる場合もある。
- 日本南洋材協議会 中央区日本橋3-13-11 油脂工業会館7F [〒103] ☎ 03(3271)9624 F (3273)1926
- 日本の松の緑を守る会 千代田区永田町2-17-5 ローレル永田町407号 [〒100] ☎ 03(3593)1665 F =共用
- 日本複合床板工業会 江東区深川2-5-11 木材会館5F [〒135] ☎ 03(3643)2948 F 2990
- 日本フローリング工業会 江東区深川2-5-11 木材会館5F [〒135] ☎ 03(3643)2948 F 2990
- 日本木材協議会 中央区日本橋3-13-11 油脂工業会館7F [〒103] ☎ 03(3271)9624 F (3273)1926
- 日本木材原木協同組合連合会 江東区新木場3-6-6 [〒136] ☎ 03(3521)5528 F (3522) 1326
- 日本木材製材協同組合 江東区冬木23-4 株エム・ケイ内 [〒135] ☎ 03(3820)3515 F 3518
- ⑩『米製協ニュース』=年12回、無償…月1回の例会・部会および各地区米材丸太、製材品価格情報。
- 日本北洋材製材協議会 江東区深川2-7-4 林材新聞社内 [〒135] ☎ 03(3643)0435 F (3641)5794
- 日本木材加工技術協会社 港区芝公園1-2-16 第一模ビル4F [〒105] ☎ 03(3432)3053 F (3431)5075
- ⑩『木材工業』=年12回、14,400円…総説：規格、研究等解説、研究：研究発表、資料：研究発表、内外情報：報告、事例等、連載：木工デザイン等／⑩『木材接着士試験』=試験は原則として毎年1回行う。次回は平成8年2月21日…接着に関する基礎知識、接着剤に関する一般的知識、木材・木質材および木製品に関する一般的知識、接着に関する技術。“木材乾燥士試験”=試験は原則として隔年ごとに1回行う。次回は平成8年予定(時期未定)…木材・木質材料および木製品に関する一般的知識、乾燥に関する基礎的知識、乾燥装置および関連機器に関する一般的知識、水分管理に関する基礎的知識、乾燥に関する技術。“木材切削士試験”=試験は原則として隔年ごとに1回行う。平成7年11月30日に実施…木材切削に関する基礎的知識、木材および木質材料に関する一般的知識、木材加工機械・工具および関連機器に関する一般的知識、生産管理および安全管理に関する知識。“大断面集成材管理士試験”=試験は必要に応じ隨時行う。次回は未定…木材および接着に関する一般的知識、建築設計に関する一般的知識、集成材の設計に関する技術的知識、集成材の製造に関する技術。
- 日本木材信用協会 文京区後楽1-7-12 林友ビル6F [〒112] ☎ 03(3816)4805 F 5255
- 日本木材総合情報センター財 文京区後楽1-7-12 林友ビル2F [〒112] ☎ 03(3816)5595 F 5062
- ⑩『木材情報』=年12回、12,000円…木材についての国内・海外の基本的な問題とUP TO DATEな問題の解説。国内・海外の産地・消費地の需給動向等。⑩『木材情報総目次』(平3年6月～平7年11月)。⑩『WIDE』=年12回、5,880円…木材加工・流通および経営についての解説・展望等。⑩『WIDE 総目次』(昭63年11月～平7年11月)。⑩『山村クラフト』=年2回、980円…木工品クラフトの商品情報の解説。クラフト店、および工房の紹介。クラフト作品の紹介等／⑩『JAWICネットサービス』=木材利用情報、国産材供給情報、木材総合情報データベース、木材価格情報、木材需給情報。“木材総合情報システム”=一般情報(木材の特性、木質建材の種類と特性など)、リスト情報、数値情報。本誌23ページ参照／⑩『国産材供給システム優良事例コンクール』=1～2月…国産材の安定供給のため、緊急に取り組むべきテーマについて優良な事例を発掘し、その普及を図る。“ふるさと木製品全国展示会”=10～11月…各地で生産されている国産材を原・材料とした内装・外装材等の木製品を展示し、その普及を図る。“世界・木のクラフト展”=2年に1回、1週間程度…日本と世界の木のクラフトを集めめた展示会。日本の作品は公募形式で行っている。“木工品クラフト展”=1年に3～4回、2カ月程度…日本の各地域や個人クラフトマンの木工品を、テーマに合わせて展示紹介している／⑩贊助会員を募集…当センターでは木材関連企業、団体および住宅業界の意向・ニーズに沿った情報の充実を図り、業界の方々のお役に立つ情報活動を推進するため、贊助会員を募集しております(年会費10万円)。贊助会員は、当センターで収集するいろいろな情報のサービスを受けることができます。木材の動きに関心の高い企業、団体、機関の方々のご加入をお待ちしております。
- 日本木材防腐工業組合 港区赤坂1-9-13 三会堂ビル9F [〒107] ☎ 03(3584)0913 F 6810
- 日本木材保存協会社 港区虎ノ門4-2-5 第3松坂ビル5F [〒105] ☎ 03(3436)4486 F (3432)1971
- ⑩『木材保存』=年6回、9,000円…総説・解説、研究、資料、情報、講座／⑩『木材保存士資格検定講習・試験』=1月

下旬…木材の生物劣化、木材保存剤、木材保存処理技術、木造建築物、環境汚染防止。“木材保存講座”=10、11月…木材保存剤の安全性、欧州の薬剤認定登録制度、木材・木質材料の化学修飾事例、阪神大震災による木質住宅の被害調査から(タイムリーな内容を心がけている)/⑩「木材保存」は、一言でいえば木材を長持ちさせることです。これによって、貴重な木材資源を守り、ひいては森林を守ることになるのです。「木材保存」は、かけがえのない地球環境を守ることにもつながっております。(社)日本木材保存協会はこの「木材保存」をあらゆる角度から取り上げて、調査研究し、その成果を社会に広めるために活動しております。木材に関係のあるすべての分野の企業、研究者、工場技術者、実務者の皆様、こぞってのご入会をお待ちしております。

日本木材輸入協会 中央区日本橋 3-13-11 油脂工業会館 7F〔〒103〕 ☎ 03(3271)0926 F 0928

日本緑化センター財 港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 2F〔〒107〕 ☎ 03(3585)3561 F (3582)7714

⑩『グリーン・エージ』=年12回、9,600円…緑化行政はじめ研究論文、緑化技術や生産・需給情報、随想、ルポ、ローカルニュースなど/⑩『YOURS(緑化情報検索システム)』=グリーン・エージ掲載記事、緑化条例、緑化樹木在庫情報など。本誌26ページ参照。「緑の相談窓口」=緑化に関する諸々の相談に応じます/⑩“樹木医研修”=10月中・下旬…業務経験7年以上の応募者を対象に選抜試験を実施、業績審査と合わせて約80名の研修受講者を選抜し、約2週間の集中講義・実習を経て、筆記試験と面接のうえ、樹木医認定委員会で審査認定する。“樹木医講演会”=10月~3月…樹木の診断・治療技術などをテーマに、樹木医による講演や現場実習などを行っている。“都市環境緑化推進研究会”=10月下旬…都市緑化月間の行事の一環として開催。主に公園緑地担当者を対象に時宜に適したテーマを選び、基調講演、パネルディスカッション等を交えて行っている。“工場緑化推進全国大会”=9月下旬…緑化優良工場等の通産大臣、日本緑化センター会長表彰と緑化体験発表、基調講演などを行っている/⑩平成3年度から国庫補助事業として実施してきた樹木医認定制度は、全国で300名を超える樹木医の活躍が社会的にも認知されてきたことから、平成7年度から、民間団体の行う認定事業を、農林水産大臣が認定し、官報に告示することになった。

日本林業協会財 港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 7F〔〒107〕 ☎ 03(3586)8430 F 8434

⑩『日本林業』=年12回、4,000円…時の話題、林材界ニュース、各紙からのニュースダイジェスト、月間各界各地方の動き/⑩“林業団体懇談会”=2、5、8月を除き毎月1回開催…林野行政の時の重要課題について、行政、団体から話題を提供していただいて情報を交換。会員を対象とした情報交換の場/⑩林業白書、森林ハンドブック、森林・林業に関するPRパンフレットの出版を通じて林業の現状を啓蒙。重要課題については部会(金融税制、労働、水資源)並びに林業・木材産業内外対策協議会等を活用し、懸案事項の検討を進め、時宜に応じ、関係方面へ各種要望を行っている。

日本林業経営者協会財 港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 9F〔〒107〕 ☎ 03(3584)7657 F (3585)7857

⑩『林経協月報』=年12回、7,200円…林業経営、税制、金融、労働、行政、機械、木材市況/⑩“フォレストーク”=2月1日ごろ…森林・林業・木材等に関するパネルディスカッション。“施策研修会”=1月19日ごろ…税制、金融、林野庁予算。“研修セミナー”=11月15日ごろ…林業の税制、労働、機械等の研修。“海外、国内視察”=海外は2年に1回、国内は毎年…林業の視察/⑩法人、自立林家を中心に林業の発展のために活動している。青年部会・婦人部会は常に新しい問題を取り上げ、活発な活動を展開。

日本林業同友会東京事務所 港区赤坂 3-10-2 赤坂コマースビル 4F〔〒107〕 ☎ 03(3584)5439 F 6378

日本林業土木連合協会財 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 6F〔〒100〕 ☎ 03(3581)7704 F (3504)1687

⑩『林土連』=年3回、無償…協会活動、諸行事、関係予算、その他の情報/⑩林業土木(治山・林道)の施工等。

日本林道協会 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 4F〔〒100〕 ☎ 03(3581)2288 F 1410

日本林野測量協会財 千代田区六番町 7 日本林業技術協会別館 2F〔〒102〕 ☎ 03(3261)8138 F=⑩共用

⑩『林測協だより』=年4回、無償…林野測量協会の行事、部会(撮影、オルソ、開発)の動き、林政の動向、地方会員の紹介、その他/⑩森林空中写真撮影とその図化、地形図修正など林野庁の森林航測事業を当初から担ってきた日林協と航測各社の組織する団体です。発足時は任意団体(財團会)でしたが、昭和46年に社団法人に改組しました。会長は福田省一元林野府長官、会員数は、日林協、朝日航洋、アジア航測など全国で32団体です。

日本煉炭工業会 港区海岸 2-1-18 高丸ビル 4F〔〒105〕 ☎ 03(5442)2140 F 2630

農林水産航空協会財 千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 3F〔〒102〕 ☎ 03(3234)3380 F (5211)8025

⑩『農林水産航空事業受託試験成績書(林業編)』=年1回、報告会で配布…毎年度、会員、賛助会員からの受託試験の結果の報告。農業関係についても同様に発行している。『農林水産航空年報』=年1回、国、都道府県、会員、賛助会員、大学等に配布…毎年度の農林水産航空事業の実績。『農林水産航空事業技術指針』=年1回、国、都道府県、会員、賛助会員、実施団体等に配布…農林水産航空事業の計画策定や実施に当たっての指針/⑩“林業航空技術研修会”=隔年開催(ただし、農業については毎年開催)。国、都道府県、会員、賛助会員を対象…航空機を利用した林業関係の技術の普及。例:松くい虫防除、航空緑化など/⑩農林水産業における航空機による薬剤、肥料の散布等航空機を利用する事業の発展を図るために、農林水産航空事業に関する計画の樹立、調査研究、新技術の開発その他農林水産航空事業の振興に関する事業を行うことを目的に昭和37年に設立された社団法人です。

緑の地球防衛基金 千代田区神田駿河台 1-2 馬事畜産会館〔〒101〕 ☎ 03(3233)3376 F 1248

木材利用推進中央協議会 千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル〔〒100〕 ☎ 03(3580)0335 F 3226

木材性能向上技術研究組合(WMRA) 中央区八丁堀 3-5-8 京橋第二長岡ビル 7F〔〒104〕 ☎ 03(3552)6184 F 6186

⑩木材性能向上技術成果集を平成6年3月31日に発行しました。実費4,000円で頒布しています。

林学会財 千代田区六番町 7 日本林業技術協会別館 2F〔〒102〕 ☎ 03(3261)2766 F=⑩共用

⑩本会は林業に関する学術的研究を奨励し林業の改良発達を図ることを目的としています。このため次の事業を行っています。^①学術研究業績の表彰、^②林業に関する重要な事項の調査、^③学術講演会の開催、^④印刷物の刊行、^⑤日本林学会の事業に対し補助金の交付、^⑥その他本会の目的達成に必要な事項。

林業科学技術振興所財 千代田区六番町 7 日本林業技術協会別館 2F〔〒102〕 ☎ 03(3264)3005 F (3222)0797

⑩『森林総合研究所文献等受入速報』=年6回、6,180円…林野庁森林総合研究所で受け入れる和・洋の単行書、パンフレット等の目録を隔月に集録・発行している/⑩“林業科学技術振興賞”=毎年5月…研究奨励賞: 試験研究機関、大学等において、研究に従事し研究成果があり、完成のあかつきには、その振興発展に貢献する見込みのあるもの(受賞対象40歳

以下)。支援功労賞: 同上機関等で研究支援業務に従事し、試験研究に貢献したもの(50歳以上)/⑩林業、木材産業、環境緑化の領域における各種調査、コンサル業務や、土壤、雨水、木材成分、木酢液等の分析並びに種子発芽、昆虫、病害等の鑑定を行う。林業関係の新技術・新知識を盛り込んだ図書の刊行と移動炭化炉、木炭粉碎機、木酢液採取装置の製造販売を行う。以上が当所の業務概要です。

林業機械化協会社 港区赤坂1-9-13三会堂ビル9F〔〒107〕 ☎ 03(3586)0431 F(3582)3842

⑪『機械化林業』=年12回、4,800円…林業機械化に関すること/⑫“高性能林業機械メンテナンス研修”=7/31~8/4、8/28~9/1、9/18~9/22、10/16~10/20の4回…主としてオペレーターを対象にメンテナンスの基礎知識(油圧装置、電気・電子装置、運転・点検整備の心得、分解組立・調整)を付与。“林業機械展示・実演会”=10/1~2(育樹祭会場)…「高性能林業機械等展示会事業」として、国内で開発された機械、輸入業者が輸入した海外の機械を一堂に展示し、林業経営者、林業実務家に紹介し、併せて安全使用の指導と普及を推進する。出展者36社、出展機種320機種。

林業経済研究所財 北区田端2-7-26フレンドリハイツ201号〔〒114〕 ☎ 03(3828)6602 F=共用

⑬『林業経済』=年12回、7,200円/⑭“研究奨励事業”=4月20日〆切…①林業経済の調査研究論文審査、②助成者年1~2名、③奨励金1人20万円、④新進の研究者対象。

林業土木コンサルタンツ 港区赤坂1-9-13三会堂ビル2F〔〒107〕 ☎ 03(3582)2237 F(3587)4773

林業土木施設研究所 文京区後楽1-7-12林友ビル4F〔〒112〕 ☎ 03(3814)7611 F 7603

林業・木材製造業労働災害防止協会(略称: 林材業労災防止協会)

港区芝5-35-1産業安全会館6F〔〒108〕 ☎ 03(3452)4981 F 4984

⑮『林材安全』=年12回、4,800円…林業および木材製造業の労働災害に関する調査研究、災害事例、具体的な災害防止対策、行政通達等を掲載。“林材業労働災害防止年報”=年1回、1,500円…年間の労働災害発生状況、協会の事業活動、行政の動き等を掲載/⑯“全国林材業労働災害防止大会”=毎年9~11月…林材業関係者が一堂に会し、労災防止への功労者、功績者の表彰と特別講演。“機械作業安全管理者養成研修会”=毎年6~7月…高性能林業機械の機械作業安全管理者を養成。“林材業労働安全・衛生ポスター標準の公募”=7~11月…安全週間、労働衛生週間用ポスターに使用する標語を公募/⑰前記のほかに、林材業に関する労働安全衛生法に基づく各種講習、教育を随時行っています。指定教習機関講習: 木材加工用機械作業主任者、はい作業主任者、フォークリフト運転技能。安全衛生特別教育: 伐木等の業務、機械集材装置の運転の業務。能力向上教育等: 安全衛生推進者、木材加工用機械作業主任者、林業架線作業主任者、フォークリフト運転業務従事者、伐木等業務従事者。

林業薬剤協会 千代田区岩本町2-18-14藤井第一ビル8F〔〒101〕 ☎ 03(3851)5331 F 5332

林政総合調査研究所 文京区後楽1-7-12林友ビル4F〔〒112〕 ☎ 03(3813)8075 F 8077

林道安全協会 千代田区永田町2-4-3永田町ビル4F〔〒100〕 ☎ 03(3592)1933 F 1938

林木育種協会社 千代田区六番町7日本林業技術協会別館3F〔〒102〕 ☎ 03(3261)3433 F 9406

⑲『林木の育種』=年4回、研究会員4,500円・普通会員3,500円…林木育種に関する試験研究、事業、行政、国際協力等の論説、話題解説、情報の総合誌。“林木育種研究発表会講演集”『林木遺伝育種セミナー特別号』=各年1回、研究会員にのみ配布…各々の発表会、セミナーの論文、討論をまとめたもの/⑳“海外林業・育種情報検索サービス”…オックスフォードのCABインターナショナルCD-ROMを導入し、テスト中。会員への情報検索サービスを近く実施すべく検討中/㉑“林木育種研究談話会”=4月…林学会の分科会の1つで、その折り折りの主な林木育種の話題を提供し討論するもの(次回は第26回)。“林木育種賞”・“林木育種功労賞”的表彰および講演会”=5月…林木育種の試験研究に顕著な業績を上げ、また、長年にわたる功労者を表彰し、受賞者の講演を行う(次回は第39回)。“林木遺伝育種セミナー”=7月…林木の遺伝子保存、育種に関する現地検討会と室内セミナー(次回は第3回)。“林木育種研究発表会”=11月…林木育種の試験研究に関する発表会(次回は第26回)および特別講演会/㉒“海外林業・育種情報検索システム”は、世界の林木育種、林産加工から環境保存林にわたる研究アリストラクトを網羅。1939年から現在までの最新情報が年四半期ごとに更新し送られてくる(1995年9月現在で約40万件)。これを機会に若い方々の入会を期待いたします。

林野弘済会 文京区後楽1-7-12林友ビル6F〔〒112〕 ☎ 03(3816)2471 F(3818)7886

日本林業技術協会社 千代田区六番町7〔〒102〕 ☎ 03(3261)5281 F 5393

㉓『林業技術』=年12回、3,500円(2,500円)…会員向け機関誌。森林・林業および自然環境等にかかわる科学・技術知識、関連施策の動向等に関するさまざまな情報を提供。㉔『林業技術』総目次…創刊号(T 11.7)~500号(S 58.11)。㉕『森林航測』=年度3回、1,761円(税込、丁別)…空中写真を利用した航測技術、リモートセンシング、GIS等の普及・啓蒙誌。㉖『本誌100号』…1号(1956.10)~100号(1973.9)、『本誌131号』…101号(1973.11)~131号(1981.3)、『本誌160号』…132号(1981.8)~160号(1990.2)/㉗“林業技術賞”=5月の総会席上…技術が多分に実地に応用され、広く普及され、あるいは、多大の成果を認め、林業技術の向上に貢献したと認められる業績に対し贈呈(41回実施済)。“林業技術コンテスト”=5月下旬…林業技術者がそれぞれの職域で林業技術推進のため努力し、その結果得られた研究成果や貴重な体験等を発表(41回実施済)。“学生林業技術研究論文コンテスト”=5月の総会席上…林業技術の研究推進と若い林業技術者育成のため、大学学部学生を対象に募集。優秀と認められる方々を表彰(6回実施済)。“森林・林業写真コンクール”=3月末日締切…題材としては、林業技術、森林、農山村、緑化、森林レクリエーションなどを募集(42回実施済)。“空中写真セミナー”=秋(5日間)…空中写真を効果的に利用するうえで必要な実技指導や現地演習等、実務中心の研修(18回実施済)/㉘林業およびその関連技術に携わる人々の職能団体として発足した本会は、森林・林業に関する科学技術の振興・普及を通じて、文化と国民福祉の向上に寄与するという共通の理想の下に設立された公益法人です。現在、全国の各大学・研究機関・官公庁などに90支部を置き、海外会員を含め約1万3千名の会員を擁し、幅広い分野において積極的に活動しています。

森林総合研究所の 研究情報公開システム

森林総合研究所
研究情報科長



1. 研究ネットワークの現状

国内の主な学術用の研究ネットワークの現状についてまとめると表①のようになります。森林総合研究所のLANはMAFFIN経由でインターネットとも接続されています。

農林水産省の広域ネットワークであるMAFFINは筑波にある農林水産技術会議筑波事務所電算課がその管理・運営を行っています。このネットワークには本省をはじめ全国の30場・所が接続していますが、近年トラフィックが大幅に増加し、高速化の必要性が出てきました。そのため、平成7年度補正予算でこれら場・所のLAN高速化など強化が予定されています(図①参照)。

2. ヨンピュータ・システム

当所共用のコンピュータとしてワークステーションが2台(SUN 4/10, HP 9000)あります。これにカラープリンタ、デジタイザ、メソプロッタ等種々の周辺機器とルータ専用のWSが1台あります。アプリケーションとしてリレーショナルデータベースの「Informix」や日英翻訳システムの「ATLAS」、地理情報システムの「ARC/INFO」等が導入されていて、研究業務に活用されています。

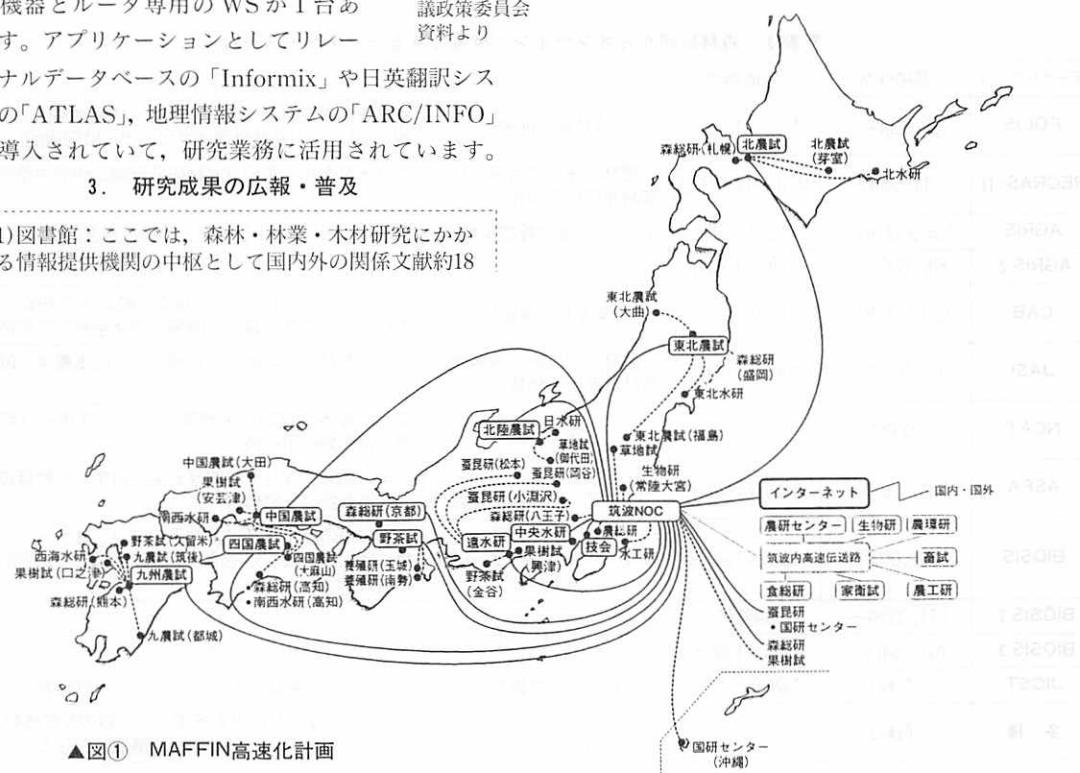
3. 研究成果の広報・普及

1)図書館：ここでは、森林・林業・木材研究にかかる情報提供機関の中枢として国内外の関係文献約18

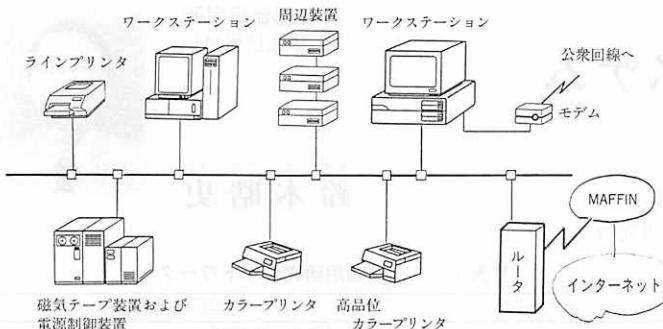
▼表① 主な学術用研究ネットワーク

ネットワーク		利 用 機 関 等
	省際研究情報ネットワーク (IMnet)	各省庁の研究機関、省庁ネットワーク等を接続するバックボーンネットワーク (科学技術庁(事務局))
インターネット	国際理学ネットワーク (TISN)	東大理学部を中心とする大学、国研等 (運営協議会)
	WIDE	慶應大学環境情報学部を中心とする大学、国研および企業の研究開発部門 (運営協議会)
	BITNETJP/JOIN	東京理科大学を中心とする大学、国研等 (日本BITNET協会)
省庁ネットワーク	学習情報ネットワーク (SINET)	学術情報センターを中心とする文部省所轄の大学・研究所(文部省学術情報センター)
	農林水産省研究ネットワーク (MAFFIN)	農林水産省国研等 (農林水産省)
	工業技術院ネットワーク (AIST NETWORK)	通商産業省国研等 (通商産業省工業技術院)
	地域研究情報ネットワーク	全国 7 地域(ネットワーク構築・運営を支援) (科学技術庁)

▲科学技術会
議政策委員会
資料より



▲図① MAFFIN高速化計画



▲図② 森林総研の共用コンピュータ・システム

万冊を所蔵しており、閲覧などのサービスを行っています。

2) 研究成果情報：成果発表会、刊行物、見学、展示などを通じて研究成果を幅広く公表しています。刊行物については、表②に示すように各種の冊子体・パンフレットにより成果の公開・普及に務めています。現在その配布数は、関係機関や学校、一般の来所者も含め、約3,000部に及んでいます。

3) データベース：毎年刊行されている「ODCによる林業・林産関係国内文献分類目録」(林業科学技術振興所発行)をデータベース化し、ネットワークを利用した検索サービスも行っています。

このデータベースは森林総合研究所の図書館に、1

▼表② 当所の刊行物一覧表

種類	発行回数	既刊の号数
年報	年1回	32号
研究報告	年6回	369号
研究成果選集	年1回	11号
所報	毎月	380号
研究の“森”から	毎月	42号

▲平成7年12月1日現在

年間に収集された林業・林産業に関する国内文献400誌から、研究上必要性の高いものを選出し、課題ごとにODC (Oxford Decimal Classification for Forestry) 方式による分類コードおよびキーワードを付与してコンピュータ入力したものです。

この膨大なデータは年々蓄積され、所内の研究者のみならず、所外からもオンラインで検索ができるようになっています(平成7年4月現在、蓄積件数96,000件以上)。

なお、参考までに当所からオンラインで検索できるデータベースのリストおよび概要を表③に示します。主として農林研究者を対象としたデータベースで、中には有料のものもあります。詳しくは当所資料課または各データベース保有者にお尋ねください。

▼表③ 森林総研からオンラインで検索できるデータベース一覧

データベース	蓄積件数	蓄積期間	データベースの保有者	内 容
FOLIS	96,000件～	1979～1994年	森林総合研究所	森林総合研究所が作成した林業・林産業関係の国内誌約400誌からの文献情報／オリジナルは図書館にある
RECRAS-II	11,549件	平4～平6年度	農林水産技術会議事務局 農林水産研究情報センター	農林水産関係の国公立試験研究機関の研究課題情報
AGRIS	1,679,058件～	1982年～現在	FAO(国連食糧農業機構)	世界(170の国および機関)の農林水産関係文献情報
AGRIS 2	630,000件～	1975～1981年	同 上	同 上
CAB	2,319,000件～	1981年～現在	英連邦農業総局	CAB International出版の50種以上の抄録誌に含まれる全記事を収録した農業・農学全般の文献情報
JASI	88,452件～	1981年～現在	農林水産技術会議事務局 農林水産研究情報センター	国内の農林水産関係の文献情報で、日本農学文献記事索引のデータベース化
NCAT	22,000件～		同 上	農林水産省の試験研究機関等にある逐次刊行物洋図書・資料類の所在情報のデータベース
ASFA	384,000件～	1981年～現在	FAOと ユネスコ国際海洋委員会	水産(海洋と湖沼)に関する生命科学、生物資源・海洋政策を含む文献情報
BIOSIS	3,636,000件～	1986～1992年	バイオサイエンス・イン フォメーション・サービス (USA)	アメリカのバイオサイエンス・インフォメーション・サービスが作成した生命科学全般にわたる総合的な文献情報
BIOSIS 2	541,000件～	1993年	同 上	同 上
BIOSIS 3	703,554件～	1994～1995年	同 上	同 上
JICST	(有料)	1975年～現在	日本科学技術情報センター	世界各国の科学技術全般の文献情報
多 種	(有料)		ナイト・リッダー・インフォ メーション	約450種に及ぶ世界各国・各分野の文献情報 (データベースによって蓄積は異なる)

4. インターネットによる情報提供

当所のネットワークを使った成果情報等の公開は、アメリカをはじめとする海外の先進機関から見るといまだ開発途上の段階といえるでしょう。

農水省では比較的早くから技術会議により研究場所のネットワーク化が推進されたおかげで、筑波の本所と関西支所では平成4年に、翌5年には全支所がネットワークに接続されました。

今では研究資料の問い合わせ、発表原稿の送受信から海外との連絡にと電子メールが日常的に利用されています。

ここ1,2年のインターネットの普及はめざましく、GopherやWWWサーバ上で官学民を問わず、全世界で自らの機関の宣伝にその技術と努力を競い合っている状況です。

当所においてもWWWによる情報発信の必要性を認め、少ない陣容での努力により、昨年4月の一般公開日に間に合わせることができました。所長の声と写真を載せたこのホームページに対して、1日のアクセス回数が900件もあり、ほっと安心したところでした。

1) 地球観測情報ネットワーク：日米包括経済協議による地球観測データの相互利用計画であるGOIN（地球観測情報ネットワーク）のデモンストレーションが昨年6月日米合同で行われました。

このため当所は、農林水産省唯一の参加機関として、そのテーマにふさわしいデータベースの構築を急ぐことになりました。「森林生態系保護地域における極相林監視」と題して前橋営林局管内に設定された、吾妻山周辺森林生態系保護地域を対象として、人工衛星画像、航空写真と長期間蓄積された森林調査データ等を用いて森林の季節変化・経年変化をビジュアルに表示できるシステムです。田中真紀子科学技術庁長官も出席されたこのデモの結果は新聞紙上にも取り上げられましたので、記憶されている方もいらっしゃるでしょう。

現在でも、その内容はWWWサーバ上に残っており、当所ホームページ等から見ることができます(<http://ss.ffpri.affrc.go.jp>, <http://www.goin.nasda.go.jp>)。

2) 林業・林産関係国内文献情報データベース：前述の「ODCによる……」のオンラインデータベースシス

テムに改良を加え、インターネット上で利用できるようにしたものがこのFOLISです。ここに入るには、FFPRIのホームページから入る方法と当所のサーバに直接アクセスする方法がありますが、当所のサーバにログイン名を持たない一般の方は前者をご利用ください。詳しくは企画調整部資料課までお問い合わせください。

3) 樹木年輪情報検索システム：ファクト(生)データを使った研究情報データベースとして、まだ試験的に運用中ですが、樹木年輪情報検索システムがあります。

これは長い年月の調査により蓄積してきた樹幹解析および関連資料を研究者相互で共有できる形態で公開・提供することを目的として開発されました。

長野営林局管内で伐採されたヒノキ、サワラ、ヒバなど針・広葉樹約1,000本の樹幹解析資料とその伐採林分の施業履歴等をデータベース化し、インターネットを利用して利用できるようにしました。

本システムは前述のFOLISと同様、FFPRIのホームページから入ることができます。マウスによる簡単な操作だけで年輪情報や林分情報に関するデータ検索・表示が可能となっています。

平成7年度指定研究でスタートした本システムは、来年度には高度なデータ検索機能も備えて正式な運用に入る予定です。乞うご期待。

おわりに

以上で森林総合研究所の研究情報公開システムの現状報告を終わります。当所には電子化されていない研究情報が山ほどあります。来年度からは精力的にデータベース作りに努力いたします。ご期待ください。当所のオンラインデータベースにアクセスするのに特に用意するものはありません。今のところ、利用料金もいりません。ただインターネットに接続可能な環境さえあればいいのです。個人で接続するには少々元手がかかるようですが…。また、公立機関には当所ODCサーバへのアクセス権（試用権？）を提供しています。研究情報室までお問い合わせください（E-Mail address：trsuzuki@ffpri.affrc.go.jp）。

問合先

〒305 茨城県稲敷郡塙崎町松の里1
森林総合研究所 企画調整部 研究情報科
☎ 0298-73-3211 FAX 0298-74-8507

*情報の情報ガイド雑記…インターネットと林業について、林野庁の松浦純生氏が『林政ニュース』38~40号にわかりやすく解説／データベースの検索専門技術者ニサーチャー。少々古いが三輪眞木子著『ニサーチャーの時代』(丸善、1986)が参考に／商用ネット、例えばNIFTY-Serveのネイチャー&バードフォーラム(FBIRD)や自然環境フォーラム(FENV)などは、自然愛好の方々がよく参照するフォーラムの模様／1冊の図書で海外の情報を把握する糸口を見つけるなら、河島正光監修・ジャパンタイムズ編『海外情報源ハンドブック』(ジャパンタイムズ、1988)などがコンパクトで便利…。

最新の農林水産技術情報を運ぶ “AFFTINET”&“AFFTIFAX”

(社)農林水産技術情報協会では、協会会員への情報提供サービスの一環として、パソコン通信網を活用したオンラインによる情報提供システム“AFFTINET”を運営しております。

平成3年の開設以来満5年を経て、AFFTINETに登載中の情報は、項目数で約10,000件、総情報量は約200,000行を数え、ご利用会員各位のご要望をお聞きしつつ、新鮮で有益な情報を迅速にお届けできるよう、情報内容の一層の改善・充実に努めてきました。

また、当協会の会員以外の企業・団体・個人などで、AFFTINETの利用を希望される方々にも門戸を開放するため、「AFFTINET会員」の制度を設け情報提供サービスを行っております。

平成7年には、AFFTINETの機能を補完する自動音声応答ファックス・システムを導入し、“AFFTIFAX”的愛称で画像を含む情報提供サービスを開始しました。

AFFTINETおよびAFFTIFAXのご利用により、急速に進展する技術開発研究の動きが把握でき、各位の事業展開に役立つものと確信し、農林水産技術に関心をお持ちの皆様のご活用をお待ち申し上げる次第です。

1. AFFTINET利用の資格要件

AFFTINETは、日本電気㈱が主宰するパソコン通信ネットワーク「PC-VAN」に専用のコーナー(CUG: Closed User Group)を構築し運用しております。このため、AFFTINETのご利用には次の要件を満たしていただく必要があります。

- ①情報協会の会員(正会員・賛助会員)、またはAFFTINET会員であること。
- ②日本電気㈱とPC-VAN会員契約を結び、「ユーザーID」を取得すること。
- ③情報協会にAFFTINET利用の申し込みを行い、CUGメンバーとして登録すること。

2. AFFTINETへの加入手続き

①日本電気㈱のPC-VAN事務局に「PC-VAN契約申し込み書」を提出し、会員登録を行ってください。パソコン通信によってPC-VANへの入会申し込みを行う「オンラインサインアップ方法」もあります。宛先は次のとおりです。

(社)農林水産技術情報協会
情報システム部長

久保七郎



〒108-01 東京都港区芝5-7-1 日本電気本社ビル内
PC-VAN事務局 ☎ 03-3454-6909
☆「PC-VAN」オンラインサインアップ専用アクセス
ポイント 0120-00-9896 (フリーダイアル)

PC-VAN会員には「一般会員」と「法人会員」の区分がある、契約条項や料金体系が異なり、後からの区分間変更はできません。

一般会員は、利用者の個人契約で、登録名義の契約者(申込者)に対して「ユーザーID」1件が付与され、利用料金は契約者指定の預金口座からの引き落として決済されます。

法人会員は、複数の登録利用者にユーザーID各1件が付与され、利用料金は1契約内の登録利用者分をまとめて請求書が発行され、銀行振り込みによる法人一括支払いとなります。

②PC-VAN事務局で申し込みを承諾したときは、「ユーザーID」および「仮パスワード」を付した会員証が送られてきて、以後、PC-VANの利用が可能になります。

③情報協会の「AFFTINET利用申込書」に、利用会員名・住所・電話番号、PC-VANユーザーID等、所定の事項を記入して提出していただければ、協会のAFFTINET会員としてCUGメンバーに登録し、折り返し電子メール等で会員に連絡します。

その段階から、会員はAFFTINETへアクセスできるようになります。

3. AFFTINETのユーザー環境

パソコン通信によりAFFTINETを利用するためには、「端末機」と、これを電話回線に接続するための「モデム」および「通信ソフト」が必要です。

端末機には現在市販のほとんどのパソコンやワープロが利用できます。したがって、電話回線の備わった所なら、国内外を問わず、どこでも利用でき、携帯用のパソコンを使って出張先から職場の保存情報を呼び出すことも可能です。

現在、「まいと～く」や「CCT-98 II」など、多くの通信用アプリケーション・ソフトが市販され、容易に交信操作ができるので、特に専任のオペレーターを置く必要はありません。

AFFTINETの情報メニュー

I 電子メール	
II 電子掲示板（コミュニケーション広場）	読み書き自由
III 情報提供	
1. 農林水産省の情報	主として技術の開発・普及等をめぐる施策・予算等の情報
2. 農林水産技術会議の情報	
2.1 行事案内	研究会・講演会・各種会議等の月・週間予定等
2.2 最近の動き	農林水産技術をめぐる最近の動向、プレス発表事項等
2.3 予 算	大蔵要求・政府案成立時点の試験研究予算等の情報
2.4 研究支援施策の情報	民間・都道府県等への支援施策の内容・予算の情報
2.5 刊行物・特許案内	各種施策解説資料・調査報告、研究報告、特許の概要
3. 農林水産省試験研究機関の情報	
3.1 行事案内	シンポジウム・セミナー・研究会・発表会等の内容・日程等
3.2 最近の動き	特殊機械・施設の整備、研究成果のプレス発表等の情報
3.3 刊行物案内	各機関が刊行する研究報告・図書・資料の目次等
4. 農林水産省の組織と人	
4.1 人事異動	本省課長以上、技術会議・研究機関の職員の人事異動
4.2 農林水産省の組織と人	本省組織（各局・部・課名）および課長以上の氏名
4.3 農林水産技術会議事務局の組織と人	技術会議組織（課・班・係名）、所掌および係長以上氏名
4.4 試験研究機関の組織と人	農水省研究機関の部・科・研究室および研究室長以上氏名
5. 公立試験研究機関の情報	
5.1 人事異動	都道府県試験研究機関の幹部の人事異動に係る情報
5.2 組織と人	同上の所在、組織・機構、研究単位責任者以上の氏名
5.3 最近の動き	各機関における各種行事・研究トピックス、主要研究成果等
5.4 刊行物案内	各機関が刊行する研究報告・資料等の掲載課題の概要等
6. 学会・研究会等開催案内	一般公開の趣旨で開催される学会・研究会・シンポジウム等
7. プロジェクト研究情報	技術会議事務局所管の特別研究・別枠研究等の課題・予算
8. 研究成果情報	専門・地域別の研究推進会議の審議を経た年次主要成果
9. バイテク情報	技術会議バイオテクノロジー課の提供によるバイテク関係主要情報
10. ソフトウェア情報	国公立試験研究機関等で開発されたコンピュータ・ソフトウェアの情報
11. 学会・民間・団体等の情報	農林水産関係の学会・民間企業・団体等の行事案内、動向
12. 情報協会からのお知らせ	
12.1 AFFTINET案内情報	AFFTINETの情報内容、利用手順、検索キーワード、留意事項等
12.2 AFFTIFAX案内情報	AFFTIFAXの情報内容、利用手順、留意事項等の情報
12.3 情報協会からのお知らせ	情報協会が実施する研究会・シンポジウム等の行事、業務案内
12.4 研究ジャーナルの目次一覧	協会刊行の月刊誌の創刊号から翌月発行分までの目次一覧

4. AFFTINET が提供する情報

協会では、ご利用会員のご意向をうかがいながら、農林水産技術にかかる広範・多岐な情報を、計画的に収集・入力し、別表のような情報メニューに整理し提供しております。

これらの情報にはキーワードを付けて、利用者が必要な情報に迅速に到達し、選択・入手できるようにしてあります。

なお、AFFTINET の提供情報は、できるだけ幅広く活用していただきたい趣旨から、会員が必要情報を抜き出して使うだけでなく、若干の加工・処理を施して（職場内 LAN 等の）別のネットワークのデータに転用することも制限しておりません。

5. AFFTINET 利用に必要な経費

AFFTINET は、農林水産技術情報協会が協会会員への多様な情報提供サービスの一つとして運営しているもので、NEC PC-VAN への会員管理料・情報ファイル使用料等は協会が負担し、会員の皆様には極力ご負担をかけない方針で臨んでおります。

このような趣旨から AFFTINET の利用料金は、次

のようにさせていただいております。

①情報協会の会員（正会員・賛助会員）は、「ユーザーID」1件までは無料。

②情報協会の会員で、2件以上の「ユーザーID」の利用を希望される場合には、2件目の「ユーザーID」から、1件当たり年額3,000円。

③国立試験研究機関の公用の「ユーザーID」については、「モニター会員」として無料。

④情報協会の会員以外で、AFFTINET の利用のみを希望される方には「AFFTINET 会員」の規定により、システム運営の諸経費として「ユーザーID」1件当たり年額20,000円。

⑤登録会員の情報使用料はすべて無料。

⑥当協会とは別に、NECへの毎月の「PC-VAN 利用料金」および「アクセス・ポイント」までの公衆回線使用料は利用時間に応じ会員のご負担となります。

なお、PC-VAN のアクセス・ポイントは全国の都市に配置されているため、中央・地方による通信料金負担額の差がほとんどなく、これも本システムの特長の一つになっています。

6. 官公署等の PC-VAN 加入手続き

PC-VAN の会員契約は、個人会員を基本とする趣

旨から、会費の支払いは銀行口座からの引き落とし、またはクレジットカードによる決済となっていたため、国・都道府県・市町村等の官公署や法人等では、会計処理上の不都合があり、これが AFFTINET に機関として加入していただく場合の障害になっていました。

NEC PC-VAN 事務局では、こうした問題に対処するため、「PC-VAN 会員規約」を改訂し、前述のように新たに法人会員の制度を設けました。

この制度によれば、料金の決済は請求書に基づく振り込み、もしくは銀行口座振替となり、機関加入に際しての不都合は解消するものと思われます。なお、法人会員月額基本料の定めは、料金支払いにかかる諸手続きの経費と聞いています。

加入機関の窓口となる担当者が個人名で、または組織名に通じる「ベンネーム」で加入し、銀行口座からの料金引き落としを指定される場合は、個人会員扱いとなり、月額基本料は不要です。

7. ファックス情報システム “AFFTIFAX”

パソコン通信による AFFTINET は、画像情報の提供や情報伝送速度に制約があるため、これらの機能を補完し、会員サービスの向上とユーザー層の大幅な拡大を図るため、平成 7 年に自動音声応答によるファックス・サービス・システムを導入し、“AFFTIFAX” の愛称の下に 24 時間無休で運用しております。

AFFTIFAX は、近年広く使われておりますファックス通信により、ユーザーがご希望の情報を任意に選択し、いつでも、どこからでも必要な情報を受信できるシステムです。市販のごく一般的なファクシミリにより、プッシュボタンの操作で情報にアクセスできま

す。AFFTINET との連携利用を前提にしたシステムですが、単独でもご利用いただけるようになっています。

AFFTIFAX の操作手順

- ①お手元のファックス電話により、協会の AFFTIFAX 専用番号を呼び出す。
- ②回線がつながると自動応答システムが作動し、音声で操作手順をご案内します。
- ③音声案内に従って希望の情報番号をプッシュボタンで入力し、スタートボタンを押して受話器を置く。
- ④しばらくすると、お手元のファクシミリに指定した情報が届きます。

AFFTIFAX の情報構成

AFFTIFAX で提供する情報は、7 桁のコード番号(3 桁のボックス番号 + 4 桁の情報番号)で分類し登載しております。

初めてアクセスされる場合は、音声案内に応じて「0 #」と入力すると、登載情報の総合目次が入手できますので、以後、ご希望の情報番号を選択・指定し呼び出してください。

AFFTIFAX の操作手順・情報構成等は、AFFTINET の案内情報欄に掲示しており、この案内情報および抄録を基に効率的にファクシミリが利用できます。なお、当協会の登録会員の場合、情報は無料で開放しておりますが、通話料金は利用者側のご負担となります。

問合先

〒103 東京都中央区日本橋兜町 15-6 製粉会館 5 階
(社)農林水産技術情報協会 情報システム部
☎ 03-3667-8931 FAX 03-3661-8933

財農林統計協会
情報事業部長



よし むら ひで すみ
吉村秀清

本格的データベースの “RAIS”

1. RAIS とは…

RAIS (ライス) は、正式には「農業農村情報システム」といい、平成 3 年 4 月に一般公開した農業・農村に関する専門の本格的データベースです。データベース・サービスの基本は、利用者が欲しいデータを容易に検索でき、また取り出したデータを自由に編集したり、加工できる便宜を利用者に提供することだと考え、この視点からシステムを構築し、情報を蓄積しています。

上記の基本コンセプトを具体的に説明しますと以下

のとおりです。

まず、システムの面では、専用回線を通じて磁気の形態で利用者は入手できるようシステムが組まれており、このことにより利用者があらためて印刷物から入力する無駄を省いたということです。

通常、商用データベースといわれるものの中には、画面で眺めるかプリンターで打ち出すことによって情

報を入手することになっているものがあります。また、統計情報は、リレーショナル型のデータベースとなつておらず、行単位に、列単位に、場合によっては一つの数値だけでも取り出して計算やソート（並べ替え）ができます。この点が、ファイル単位でしか扱えないパソコン通信と基本的に異なる点です。

さらに、RAIS 専用端末ソフトは、いわゆる統合型ソフトで、通信をはじめ検索、編集、計算、分類、グラフ作成、文字入力等の機能を持たせており、統計を自由に活用できるよう配慮されています。

操作面についても、ワープロ機能を除き、キーボードに触れることなく、マウスと呼ばれる入力装置で指定をすることで各種の業務を行うことができ、初心者でも操作しやすくなっています。

また、情報面ではできるだけ多くの生データを蓄積することとしております。

加工計算は利用者の使い方によってさまざまですが、データベースとしては持っておらず、生データを検索したら RAIS 専用端末ソフトの機能を使って、利用者に自由にやっていただくことにしています。

さらに、農林水産統計のデータが中心ですが、農林漁業を考えるうえでは周辺の関連するデータも必要ですので、例えば国勢調査、農林水産物の貿易統計、家計調査なども併せて蓄積しています。

このように RAIS の利用者は、いながらにして欲しい情報を直ちに入手でき、そして目的に応じた活用ができます。従来であれば、印刷物を取り寄せ、そこから入力し、さらに校正をして、それからようやく分析や編集という作業に取りかかることになります。その点、RAIS では、情報の入手、入力、校正という苦痛の伴う作業から解放し、情報をいかに活用するかにエネルギーを注いでいくことを念願して開発したものです。

2. RAIS の蓄積データは…

蓄積データは、大きくは二つの系列があり、一つは統計情報であり、もう一つは文書情報です。

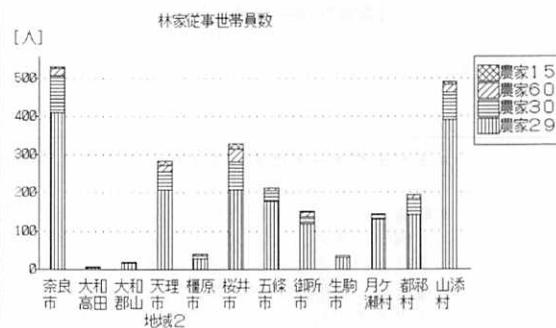
(1)統計情報：主要な農林水産統計はもとより、関連統計を含めて 46 本の統計と市町村の類型化に必要な

地域類型コードが 1 本、合計 47 本あります。このうち市町村別に表示されるものが 15 本、農業集落別のものが 1 本です。農業集落単位（全国で 13 万 6,000 集落）のデータは、これまで以上に精緻な地域振興計画や中山間対策が求められている状況下では、極めて有効なデータとして利用されています。蓄積統計は以下のとおりですが、統計名の後の * が付いているものが市町村別になっているものです。

生産農業所得統計*／農村物価賃金統計／作物統計
＊耕地及び作付面積統計*／農家経済調査／米及び
麦類生産費／畜産統計／畜産物生産費／国勢調査*／
家計調査(食料品の品目別)／消費者物価指数／農業センサス*／農業集落調査*／青果物卸売市場調査／農
家経済収支(月次)／食料需給表／野菜種子生産統計／
花き生産出荷統計／牛乳乳製品統計／果樹生産出荷統
計*／野菜生産出荷統計*／農林水産業生産指數／野
菜生産費／果実生産費／農業協同組合等統計／肥料要
覧／農薬要覧／園芸用ガラス等設置状況／飼料便覧／
食品産業動態総合調査／農業集落カード（農業集落単
位のデータ）／農地の移動と転用*／漁業センサス*／
林業センサス*／農家人口の将来予測*／貿易統計(農
林水産物)／総合農協統計／畜產物流通統計／農業動
態調査／FAO 生産統計／地域農業統計*／農山漁村地
域活性化要因調査*／漁業・養殖業生産統計／農業農
村環境整備状況調査／統計速報／地域類型コード*

また、統計情報の蓄積年次は、年報類は昭和 60 年度分から蓄積されており、今後 11 年次分まで積み上げていく予定です。隔年実施の統計類についてはさまざまです。例えば、農業センサスや国勢調査の場合は 1985 年と 1990 年の 2 年次分で、林業センサスの場合は 1990 年、漁業センサスの場合は第 8 次 (1988 年) の 1 年次分となっています。なお、農業センサスは 1990 年で農家定義など大幅に改訂がありましたが、1985 年のデータは 90 年の定義に合わせて組み替えたものを蓄積しているので、時系列比較が可能です。

林家従事世帯員数		林家従事世帯員数	農家29日以下	農家30~59日
1奈良市	大和・木津川	533	410	91
2大和高田市	大和・木津川	1	6	1
3木津川市	木津川	20	17	3
4天理市	木津川	289	203	46
5櫛原町	木津川	41	23	2
6吉野町	木津川	338	203	75
7五條市	吉野	215	173	36
8御所市	木津川	154	118	21
9生駒市	木津川	36	34	3
10河合町	木津川	146	132	11
11郡山村	木津川	197	143	44
12山添村	木津川	492	392	71
13平群町	木津川	18	16	2
14三郷町	木津川	1	3	0
15斑鳩町	木津川	1	0	0
16安堵町	木津川	12	6	0
17川西町	大和・木津川	1	1	0
18三宅町	大和・木津川	1	0	0
19田原本町	大和・木津川	1	0	0



▲検索統計の例（左）とグラフ作成の例（右）

林業そのものの統計といえば林業センサスだけになりますが、山村、中山間の統計という視点に立てば、国勢調査、耕地及び作付面積統計、農業センサス、農業集落カード、地域農業統計、農山漁村地域活性化要因調査などを利用できるものと思われます。

統計表を検索して、パソコンの画面に表示した例が前ページの図の左、それをグラフ化したのが図の右です。林業センサスから奈良県の林家の就業状況のデータを検索したものです。

(2)文書情報：文書情報は、統計速報、中央農政情報、農業関係一般情報、農業・農村現地情報の四つの柱から成っています。合計で約2,000ファイルありますが、統計速報、中央農政情報、農業関係一般情報は過去1年分、農業・農村現地情報は6～9カ月分が蓄積されています。なお、文書情報は公表されるたびに日々蓄積をしています。

【統計速報】

農林水産省が公表する約120種類、260本の速報類ですが、統計書の刊行を待たずして利用したい場合には便利なものです。なお、この中には統計調査の結果だけではなく、予測的な情報も含まれています。例えば、米の作柄予想、青果物等の生産出荷予想、予想収穫量、作付予定面積などです。また、経済統計や流通関係の年次統計では月別には公表されないことが多く、速報ではそこがカバーされています。

林業関係の統計速報としては、合板統計、木材価格、製材統計、素材需給量統計、製材基礎統計、木材チップ統計、林家の林業統計(林家経済調査結果)、所有山林形態別素材生産の概要、林業構造動態調査結果概要があります。

【中央農政情報】

農林水産省が記者発表したり、各種審議会に提出した資料が蓄積されています。原則としてなるべくダイジェストせずに蓄積することとしています。重要農業施策、予算関係、農林金融、農政日誌、行政指針、人事情報、MINI・LETTER(月2回発表、農林行政の重要な動向をコンパクトにまとめたもので、農林水産関係者必見の資料です)等です。なお、ここにはガット・ウルグアイ関連について整理したものもあります。

【農業関係一般情報】

ここには、雑誌記事や刊行物のリストを整理した農林水産関係文献情報、各国の農業動向や農産物需給

動向をまとめた海外農業情報(主にFAOかUSDAの公表資料です)、平成7年9月に公表された「主要木材の短期需給見通し」などもここに入っています。

【農業・農村現地情報】

日本各地での優良事例、先進的な取り組み、イベント等の情報を19のテーマに分類して整理したものです。林業関係は、「森林の育成と活用」の事例が9例、「木材の用途拡大の推進・特用林産物生産振興」の事例が35事例、「林業の担い手確保・新技術の開発・林業の振興」の事例が24事例あります。このほかにも「新規作物・地域特産品等への取り組み」が121事例、「生活環境の整備・美しいむらづくり」が31事例、都市との交流」が128事例、「環境保全型農業の推進・畜産環境対策」が50事例あり、参考になるものと思われます。

3. RAIS を利用するには…

RAIS を利用するためには、RAIS の会員になっていただく必要があります。利用契約は原則として年度単位ですが、年度の途中からでも加入は可能です。

●加入および利用料金：料金は、加入時に、加入料として16万円、専用端末ソフト代として22万円の合計38万円が必要です。利用料金は基本契約の場合には月間に4万5千円と接続料が1分当たり30円となっています。このほか、共同で加入したり、地域内にRAISの情報を再提供できる契約もありますのでお問い合わせください。

●利用者に準備していただくもの：RAIS を利用するには利用者のほうでパソコン等を準備していただく必要があります。それらを整理すると次のとおりです。

端末本体(パソコン、ディスプレー。OSはMS-DOS Ver.3.3以上。ただし、現段階ではWINDOWS版には対応しておりません)、マウス、ハードディスク(必須)、プリンター、モデム、電話回線。

なお、RAISのデータは、フロッピーディスク、磁気テープでも提供しております。

問合先

〒153 東京都目黒区下目黒3-9-13 目黒・炭やビル
勵農林統計協会 情報事業部
☎ 03-3492-2947 FAX 03-3492-2545

*まだまだネットはありますが…ここでは「WOODY NETひょうご」と「JECONET—生態学メーリングリスト」とを簡単に紹介します。

*前者は、兵庫県木材青年クラブが提供し、県内はもとより全国の材木業に携わる人々、異業種の方でも材木業に興味のある方なら大歓迎というもの。入会金、会費は一切無料。IDなしで“GUEST”でログインし、入会手続きができるオンラインサインアップあり。問合せはFAX 078-845-2166まで。

*後者は、生態学の異なる専門分野に属する研究者が、生態学のさまざまな主題について議論や情報交換をリアルタイムで行うために開設されたもの。入会を希望される方は、現在会員登録が進められていますので、次のアドレスまでお知らせください。jeconet-admin@affrc.go.jp

木材総合情報の普及を目指す 「JAWIC ネット」

1. はじめに

財日本木材総合情報センターでは、木材、とりわけ国産材の消費拡大に役立つ木材利用情報や木材需給の安定に役立つ価格・需給情報を収集、蓄積し、パソコン通信による情報提供を行っています。

これは、林野庁の補助事業である国産材利用情報ネットワーク整備事業として平成5年度に開始され、当センターと45地域センター(都府県庁または都府県の木材関係団体に端末パソコンを設置)を結ぶ情報ネットワークを形成しています。そして本ネットワークを通して本ネットワークを通称JAWICネット(JAPAN WOOD-PRODUCTS INFORMATION AND RESEARCH CENTER NETWORK SERVICEの略称)と呼んでいます。

本ネットは電子掲示板システムと木材流通情報システムの異なった2つのシステムで構成されていますので、それぞれのサービスメニューと情報内容、利用方法などについて紹介します。

2. JAWIC ネットのメニュー紹介と蓄積情報

(1)電子掲示板システム：当センターと利用者の双方から情報の受発信ができる双方向通信システムです。サービスメニューは木材利用情報、国産材供給情報および木材総合情報データベースに区分され、木材総合情報データベースを除き、各地域センターから所定の様式に基づき、随時、情報の登録および蓄積を行うことができます。

①木材利用情報

サブメニューは、優良木造建設事例(展示施設、学校教育施設、宿泊休養施設など用途別に9分類)、国産材利用の新商品情報(内装材、外構材)をはじめ、新技術開発事例、出版物等発行事例などを設定しています。平成7年11月末現在の蓄積件数は約600件となっています。図①は国産材利用の新商品情報に登録された山形県の「セラミック含浸木材PCウッド」の情報内容です。

②国産材供給情報

サブメニューにはプレカット工場リスト、大型国産材工場リスト、優良国産材产地事例が設定されています。特にリスト情報は単に会社名、住所、電話番号だけの所在情報ではなく、プレカット工場の場合には、生産能力、年間加工棟数、加工料金、樹種などの情報を、また大型国産材工場では素材の入荷量、製品の販売先、主力3品目の寸法、品等などの項目を加え、ある程度、取引情報としても役立つように工夫しています。蓄積件数は約400件となっています。

③木材総合情報データベース

当センターの「木のなんでも相談室」に昭和63年度

財日本木材総合情報センター
需要増進課副主幹



たけだはちろう
武田八郎

から整備している木材総合情報データベース(一般情報、リスト情報、数値情報)の約3万件のうち、一般情報の約1,900件が掲示板で検索、利用することができます。

メニューの項目は、木材の特性、木材の加工、木質建材の種類と特徴、木材の化学的利用、住宅の種類と木造住宅、木造住宅の構造・製作、住宅設備・開口部材等、木造住宅の建設、大型木造建築、家具・木製品等、外構材・産業用資材などで、木材利用に関してはほかに例のないデータベースとなっています。

(2)木材流通情報システム：木材価格、需給情報のデータベースで、これらのデータは当センターで収集・整理し、富士通FIPのFENICSセンターのホストコンピュータに定期的に入力、蓄積しています。

①価格情報データベース

全国の主要な木材市場(原木10市場、製品30市場)の市日ごとの価格データベースです。データは「コ

セラミック含浸木材「PCウッド」

(1) 商品の種類	水溶性セラミックスを含浸させた内・外装材
(2) 商品名	PCウッド
(3) 会社名	金山町森林組合テクノバル山形工場
(4) 住所	山形県新庄市大字泉田字住還東216
(5) 開発のきっかけ	1 木材の三大欠点である腐る、カビがはえる、燃えるを補う。 2 都会の真ん中に木の家をつくろう。 3 地球に優る優しい商品づくり。 4 水回り・健康をテーマにした商品づくり。 以上が開発の動機。
(6) 使用樹種	スギ
(7) 商品の特徴	1 環境劣化の少ない防腐・防カビ効力 2 紫外線劣化による木材の耐候性、変色が少ない 3 表面の耐汚染性に優れている 4 接水性がある 5 菓剤による毒害がない 6 自然の木肌感を持つ
(8) セールスポイント	1 防腐・防カビ木材 2 防腐・防カビ・寸法安定木材 3 難燃木材(難燃3級) 4 準不燃木材(難燃2級、平成7年5月18日最終テストパス)
(9) 参考価格	防腐・防カビ木材 板材(平板加工) 2420×75×13 (10枚、1.81m ²) 37,600円 防腐・防カビ・寸法安定木材 板材(平板加工) 2420×75×13 (10枚、1.81m ²) 47,000円 (94年5月20日現在)
(10) 主な用途	エクステリア、デッキ、バーベーグラ、浴室の壁、天井材
(11) 問い合わせ先	金山町森林組合テクノバル山形工場 山形県新庄市大字泉田字住還東216 TEL 0233-25-2448 FAX 0233-25-2334

▲図① 国産材利用の新商品情報の例

ードブック」を参照しながら、市場別、商品別、時系列の3種類の検索が可能であり、このことが大きな特徴になっています。

市場別情報は市場コードと年月を入力すると、対象市場の主な取扱商品について市日ごとの価格が表示されます。図②は市場コードが1322である㈱東京第一木材市場における1995年10月の検索画面です。

また商品別情報は商品コードと年月を入力すると、対象商品を取り扱っている市場の市日ごとの価格が表示されます。さらに時系列情報では市場コードと商品コードを入力すると、対象市場における当該商品の価格が過去1年分について表示されるため、価格動向を把握するのに有効です。

そのほか、合板価格（日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合調べ）や流通段階別の丸太、製品の平均価格（当センター調べ）などがデータベースに整備されています。

②需給情報データベース

主要外材の月別、地域別（または港別）の入荷、出荷、在庫量のデータベースです。データは日本木材輸入協会、日本木材協議会、日本南洋材協議会、全国北洋材協同組合連合会およびニュージーランド材輸入懇話会の5団体調べによるもので、団体別、時系列の2種類の検索を行うことができます。

団体別情報は、団体コードと年月を入力すると、対象団体の地域別の外材入荷、出荷、在庫量、在庫率が表示されます。また時系列情報は団体コードと地域コードを入力すると、当該地域における過去1年分の外材入荷、出荷、在庫量、在庫率が表示されます。図③は団体コードが12である日本木材協議会における地域コード99（全国計）の検索画面を示したもので

木材流通情報システムのおよその蓄積件数は、市売市場の価格データが16,000件、流通段階別の価格が6,000件、需給データが5,000件の合計27,000件で、データの更新は月初めに行い、12カ月分をローリング

***** 市場別商品価格情報 (1995.10) *****

市場コード： 1322 (株) 東京第一木材市場
入荷量 : 0000 元落率 : 000 %
買方数 : 市況動向 :

商品コード	名称	価格	差	価格	差	価格	差	価格	差
<-> 1 <-> 2 <-> 3 <-> 4									
201	ス1.8/0.9/9.0/トウカク	31000	2800	28900	-2100	28700	-200	30900	2200
224	ス3.0/10.5カク/トク/カントウ	46000	-2400	46600	600	47900	1300	46100	-1800
262	ス3.6/1.3/9.0/トク/トオ	48000	1200	47400	-600	49000	1600	50200	1200
273	ス3.6/3.0/10.5/トク/トク	48000	1300	46000	-2000	46500	500	46000	-500
277	ス3.6/4.0/4.5/トク/トオ	46000	0	46000	0	45000	-1000	46000	1000
340	ス4.0/9.0/カク/トク/カントウ	46000	-1600	46000	0	45000	-1000	45000	600
350	ス4.0/10.5カク/トク/カントウ	44800	-400	43000	-1800	45000	2000	43900	-1100
383	ス6.0/12.0カク/トク/シコク	72700	-1800	74000	1300	73200	-800	70500	-2700
405	ヒ3.0/10.5カク/トク/オワセ	98000	-2000	98000	0	98000	0	97000	-1000
482	ヒ4.0/10.5カク/トク/キヨシ	93200	1000	92000	-1200	92000	0	91200	-800
532	ヒ6.0/12.0カク/トク/シコク	145000	-5000	156000	11000	166000	10000	150000	-16000
600	ヒ7.3.6/3.0/4.0/トク/ト	42000	1000	42000	0	43000	1000	43000	0
711	ヒ7.4.0/4.0/4.5/トク	41000	1000	42000	1000	43000	1000	44000	1000
740	ヒ7.4.0/10.5カク/トク	51500	-500	52000	500	53000	1000	53000	0

注1) ス1.8/0.9/9.0/トウカクは長さ1.8m、厚さ0.9cm、幅9.0cmの東北産のスギ野地板を表しています。

注2) <-1-><-2-><-3-><-4->は月のそれぞれ第1週、第2週、第3週、第4週の市日を表しています

▲図② 市場別商品価格情報の検索画面

させています。

3. JAWIC ネットの利用方法について

(1)必要なハードウェアとソフトウェア：JAWIC ネットに接続するためには、パソコン（本体、ディスプレイ、キーボード）、モデム、一般加入の電話回線および通信用ソフトウェアが必要となります。モデムについては通信速度が2,400 bps, NMP 4以上に対応し、全二重タイプ、AT コマンドをサポートしたものです。

①電子掲示板システム

パソコン本体は日本電気のPC-98シリーズ（LT, H 98系、ハイレゾ機は除く）と富士通のFMRシリーズで、メモリは640 K byte以上を持ち、ハードディスクを内蔵したものが望ましいといえます。パソコンのOSはMS-DOS 3.3以上であれば問題はありませんが、DOS/V, Windowsには残念ながら対応しておりません。通信用ソフトは機種に応じたソフトを当センターから提供しています。

②木材流通情報システム

パソコン本体は、どこのメーカーの製品でもよく、通信機能を備えたワープロにも接続できます。通信用ソフトはパソコンの機種に合った市販の通信ソフトをご用意ください。いずれにしても木材流通情報システムは大手のパソコン通信ネットと接続できる環境にあれば、問題はありません。

(2)使用している通信回線：電子掲示板システムはNTTの通常の電話回線2回線と東京から遠隔地の利用者向けに通話料が安くなるNTTのパケット交換サービス網の専用回線1回線を用意しています。木材流通情報システムは富士通のFENICS回線網を使用していますので、都道府県内のアクセスポイントに接続すれば、おおむね市内通話料金で利用することができます。

(3) JAWIC ネットの加入手続き

き：まず都道府県庁の林産担当課または都道府県木連に加入の申し込みを行ってください。それを受けた当センターから加入希望者に「参加申込書」を送付しますので、所要の事項を記入のうえ返送していただければ、当センターで確認し、ID番号などを加入希望者に通知します。JAWIC ネットへの加入料や利用料金は当面は徴収しないこととしています。ただしパソコン等のハードウェアやソフトウェアの導入経費や電話回線の使用

***** 時系列需給情報 *****

団体コード：12 日本木材協議会木材製材
地域コード：99 合計

年月	入荷量	出荷量	在庫量	率(カ月)
1994/10	581017	612441	885727	1.5
1994/11	598073	596220	887580	1.4
1994/12	612169	591275	908474	1.5
1995/01	606763	629613	885624	1.5
1995/02	532662	603009	815277	1.4
1995/03	660975	621209	855043	1.4
1995/04	640752	565310	930485	1.6
1995/05	751676	613460	1068701	1.8
1995/06	652455	643940	1077216	1.8
1995/07	726677	652016	1151877	1.9
1995/08	655142	624207	1182812	1.9
1995/09	521000	554000	1150000	1.9

注) 単位はm³で、最新月は概算値、のちに確定値に更新します。

▲図③ 需給情報の検索画面

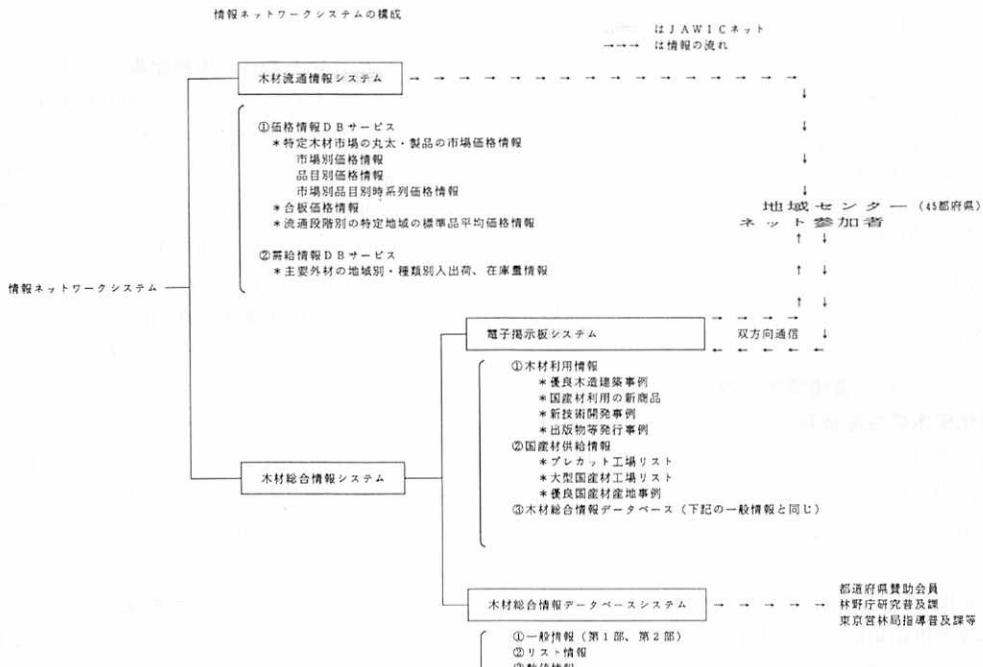
料は加入者の負担になります。

4. おわりに

JAWIC ネットは、各地域における木材利用や価格・需給の情報が収集でき、また各地域で開発された商品情報などを全国に向けて PR できる特徴を持っています。こうした本ネットの利用普及を進めていくうえで、情報蓄積量の拡大とともに、情報の付加価値向上が大きな課題となっています。当センターにおいても木材関連業界や消費者の情報ニーズを的確に把握しつつ、「価値ある情報」の収集、蓄積体制を強化し、本ネットを通じて「活発な情報交流」を図り、国産材の需要拡大に役立てたいと考えています。

問合先

〒112 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル2F
財日本木材総合情報センター 需要増進課
☎ 03-3816-5595 FAX 03-3816-5062



▲図④ 情報ネットワークシステムの構成

* 人間データベース？…略して人DB。なにやら太った人間のことを連想してしまいそうです。本号では情報の情報ガイドとして特集をお送りしていますが、情報を得るコツは、そのことをよく知っている人に尋ねることです。皆様の近くに、林道の神様、治山の神様と呼ばれる人がいると思いますが、その人こそ人DB。大いに頼りにすべきです。ところが、忙しくてかまってもらえないことがありますよね。手順さえ踏めばそんなことのないのが、いわゆるデータベースだと考えましょう。かつては読み書きソロバンといわれた時代があって、そのソロバンも習熟するまでには時間のかかるものでした。今や読み書きパソコンの時代です。習うより慣れろです。もっといろいろなことができますが、とりあえずパソコンはデータベースに尋ねるための道具と考え、本号の7つの論稿をお読みください。人DBと本DB、それに本誌を得れば情報倍増まちがいなし？

緑化情報ならおまかせ “YOURS”—緑化情報検索システム

財日本緑化センター
緑化技術部主任研究員



たき くに お 邦夫

はじめに

当センターでは、緑化事業の円滑な推進を支援するため、緑化樹木の在庫情報、地方自治体の緑化条例、および当センターの機関誌グリーン・エージを蓄積・検索する、緑化情報検索システム(YOURS)の開発を進めています。

1. YOURSの概要

当システムは、全国の利用者のパソコンと公衆回線網を経由し、緑化諸情報を自動的に提供するシステムです。

多種にわたる情報を、文字情報は利用者のパソコンへ、また、文書のイメージ情報は利用者のFAXへ、要求によって自動的に送信します。そのために、当センター内に、次の機器とソフトを設置しています。

①各地のパソコンから検索を可能とするホストワークステーション「H 3050」。このワークステーションは、文字情報の要求を受けた場合に、まず利用者のパソコンに文字情報を提供します。さらに、その中で必要とするイメージ情報の要求を受けた場合、自動的に次の光ファイルシステムへ自動送信の指示を出します。

②イメージ情報を管理し、利用者からの指示でFAX自動送信する、光ディスクファイルシステム「ヒットファイルWn」。

③センター内でも検索できるよう、パソコン「PC-9821 Ap」で構成されています。

2. 蓄積情報の内容

1) 緑化樹木の在庫情報：当センターでは、「緑化樹木の供給可能量調査」を毎年実施しています。供給可能量とは、当年秋から翌年春にかけて公共・民間の造園化工事に出荷可能な、一定の商品規格に達した樹木およびグランドカバープランツの数量をいいます。

平成7年度は、延べ631種、約1億6千8百万本の緑化樹木等が供給可能です(表①、図①)。

光ファイルに樹種別規格別数量の集計表を蓄積し、現状では、利用者からの電話による問い合わせに対し、光ファイル上でその樹種を検索し、FAX自動送信により利用者へ集計表を送信します(表②)。

現在、樹種別集計表は電話による要求を受けて、光ファイルを検索する手作業が介入していますが、いずれ、利用者がパソコンからイメージ情報の送信を直接指示できる、本来の仕組みに組み込む予定です。この樹種別在庫情報と同様に、主要樹種のダイジェスト版を別途作成し、主要な公共機関へFAX自動送信により

情報を提供しています。

2) 緑化条例：地方自治体の緑化に関する条例、要綱を検索できるもので、現在およそ3,500件を蓄積しています。

その内訳は、条例640件(18.3%)、要綱960件(27.4%)、要領230件(6.6%)、規則・基準・細則850件(24.3%)、協定50件(1.4%)、その他770件(22.0%)などです。自治体別には、都道府県340件(9.7%)、市区2,540件(72.6%)、町村620件(17.7%)などであります。

3) グリーン・エージ掲載記事：グリーン・エージの創刊号(1974年1月号)から1995年9月号までの全掲載記事、およそ4,900件を蓄積しています。

この全件を、キーワード「緑化」によって検索してみると、968件が該当します。その内容として「緑化」の言葉を含むキーワード検索を行うと、図②のようなベスト10の結果が得られます。

4) その他の緑化情報：都道府県が発行する緑化関係の調査・計画資料について、イメージ情報として表紙および目次部分を蓄積しています。

そのほかに、緑化資材についてはカタログ、緑化施設については施設平面図、また、海外の緑化関連機関については、機関誌の表紙・目次、ニュースレター、植物リスト、施設平面図などを、イメージ情報として順次蓄積しています。

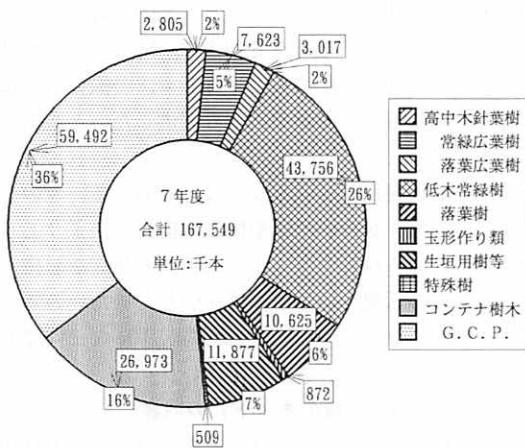
3. 検索方法

「文献名」項目に、緑化条例であれば「○○条例」「○○要綱」、グリーン・エージであれば、掲載記事名に含まれる任意のキーワードをフリーカラム検索(*印でキーワードを挟む)することにより、どの位置にあってもその言葉を含むすべての条例ないし記事名を検索します。図③は、フリーカラム検索の実際例です。

ワークステーションから送信されてきた文字情報は、利用者のパソコン上に一覧表として表示され、印刷できます。任意の文献名について「S:詳細設定」を選定すると、詳細情報を表示します(図④)。

▼表① 樹種群別調査樹種

内 訳	延樹種数	延規格数
高中木針葉樹	38	228
ノ 常緑広葉樹	49	375
ノ 落葉広葉樹	91	845
低 木常緑樹	43	253
ノ 落葉樹	32	148
玉形作り類	12	58
小規格木・生垣用・砂防用樹	40	200
特殊樹	25	73
(露地栽培樹木小計)	(330)	(2,180)
コンテナ栽培樹木	144	1,059
ノ グランドカバープランツ	157	157
合 計	631	3,396

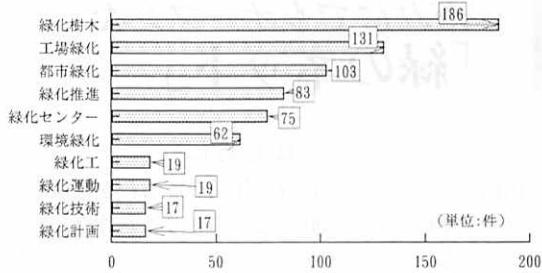


▲図① 樹種群別の供給可能量

▼表② サツキの集計表

樹種名	W0.1-	W0.2-	W0.3-	W0.4-	W0.5-	W0.6-	合計
北海道				3,000	1,500	100	3,600
宮城				250	50		310
福島	45,000		100,000	10,000			155,000
新潟			150,000	50,000			200,000
群馬			1,617	300	515	38	2,504
埼玉	70,000	57,000	40,500	1,100			170,500
東京	15,000	21,510	5,980				44,490
神奈川			50,000	35,000			85,000
岐阜	10,000	25,000	23,000	21,500			89,500
静岡			15,000	5,000			20,000
愛知	10,000	10,000					20,000
三重	50,000	4,000	7,000	7,000,000	1,500,000	500,000	13,550,000
大分	5,000	120,010	35,540				160,550
鹿児	30,000	20,000					50,000
奈良	15,500	4,000					19,500
和歌山	10,000						10,000
鳥取			15,000	18,000			34,000
岡山			8,000	3,000			11,000
山口			5,000	1,200			6,700
香川	31,000	40,000	9,000				80,000
愛媛	3,000		20,000	10,000			30,000
高知			5,000				5,000
福井	450,000	450,000	177,000	7,000			1,134,000
長崎	60,000	35,000	20,000	2,000	1,000		118,000
熊本			20,000	50,000			70,000
大分			28,100	1,900	900	150	31,950
宮崎			40,000	22,300	14,000		76,300
鹿児島	300,000	280,000	310,000	100,000	15,000	2,000	1,007,000
合計	375,000	1,584,800	1,697,377	7,619,210	1,747,379	503,788	17,787,374

「光枚数」の数字は、光ファイルに蓄積しているイメージ情報の枚数を意味しています。そこで、任意の文献名について「F:FAX設定」「G:FAX送信」を選択すると、利用者のFAXに光ファイル側からイメージ情報が送られてきます。緑化条例の場合など、自治体を特定して検索したいときには、「発行機関」に自治



▲図② 「緑化」キーワードベスト10

処理の種類: 検索結果
利 用 者 名: 某会社 A
検索状態: 検索条件入力中
進行状況:

01 緑化文献
1: 文 獻 名 2: 登 次 3: 著 作 者 4: 発 行 機 関 5: 発 行 年 月 6: 版 次 7: 施 工 情 報 8: 地 域 コ ード 9: 10:

メッセージゾーンで検索条件を入力して下さい。
↑(上下キー)で検索条件を入力して下さい。
改行キーを押すと送信・フォント条件設定画面に移ります。

▲図③ <検索条件入力画面>

緑化文献情報

文 獻 名: 花いっぽい運動公共花壇設置実施要領
登 次:
著 作 者: 大阪市
発行機関:
発行年月: 1978年04月
所 在 地: 都市 B
光 枚 数: 0005
地 域 コ ード: 21202
キ ャ ピ チ オ ネ: CABE10
管 理番 号: 01038065
[P:印刷開始]

メッセージゾーン
改行キー(または、↓)を押すと次画面に、↑なら、前画面に、移ります。
ESCキーで、画面を終了します。

▲図④ <詳細表示画面>

体名を検索条件として入力することができます。あるいは、グリーン・エージュの掲載記事は、執筆者を特定したい場合、「著作者」に名前を入力することで検索が可能です。

4. 利用方法

当センターでは、主として公共機関を対象にYOURSの利用を想定しています。利用者は、通信機能と検索機能の合体したソフトをパソコン(PC 98シリーズ)にインストールし、モデムを準備すれば検索が可能になります。

なお、利用の詳細については直接お問い合わせください。

問合先
〒107 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル2階
財日本緑化センター 緑化技術部 担当:瀧
☎ 03-3585-3561 FAX 03-3582-7714

だれにでもオープンな 「緑のネット」

1. はじめに

国内のパソコン出荷台数が年間500万台を突破し、パソコンが職場から家庭へと浸透してきた昨今、パソコンを新しいコミュニケーションのツールとして活用する「パソコン通信」の利用もまた、飛躍的に増加しています。

財団法人ニューメディア開発協会の調査によると、平成7年6月現在、全国で2,617局のパソコンネットが運営されているとのことです。

そこで、当基金林業部門でも、平成7年6月1日より森林・林業関連情報の提供と会員の皆様方との交流の場として、パソコン通信、「緑のネット」を始めました。この「緑のネット」をご利用される場合は、電話料金だけで、入会金や会費は一切無料です。

現在このネットの回線数は1回線ですが、電子メール、電子会議室、電子掲示板など、主だった機能はすべて備えています。接続の方法は下記のとおりで操作は簡単です。

「緑のネット」の接続方法

1. 回線番号 03-3813-5106
2. 通信速度 2400-9600 bps
3. 転送制御手順 無手順
4. 通信方式 全二重
5. 同期方式 非同期
6. データビット長 8ビット
7. ストップビット長 1ビット
8. パリティチェック なし
9. 漢字コード シフトJIS
10. 受信改行コード CR+LF
11. 送信改行コード CR
12. バイナリ転送方式 XMODEM, YMODEM, Quick-VAN

また、接続条件は一般的な商用ネット（ニフティーサーブ等）に準じています。したがって、皆様方がお持ちのパソコンの一般的な通信プログラムの設定を、大幅に変更せずに簡単に接続することができます。

なお、11月現在「緑のネット」の会員数は約200名となっています。

2. 「緑のネット」の特徴など

緑に関連した情報であればどんなことでもよろしいのですが、だれにでもオープンなネットであることが特徴です。また、会員になる方に特別な資格、要件等

農林漁業信用基金
「緑のネット」運営委員長
業務推進課長



しま だ しょう えつ
嶋田昭悦

はありません。「緑」に関連した話題に興味をお持ちの方でしたら、どなたでも歓迎します。

現在、会員になっていただいている方は、主として林業・木材に関連した方ですが、将来的には一般の会員も募っていきたいと考えています。そのためには「林業・木材」に関連した情報だけとせず、一般の方々にも魅力のある幅広い話題や情報も提供したいと心掛けています。

当ネットは発足して間もないこともあって、今のところ会員の方々からの話題や情報の提供があまりありませんが、あらゆるジャンル、あらゆる趣味をお持ちの皆様からの話題や情報の提供をいただきたいのです。写真やプログラム、データ、会員募集、PRなど何でも結構ですので、ぜひお寄せください。

3. 「緑のネット」の内容

現在蓄積されている情報は、一般向け情報と木材関連業者向け情報、もう一つは林野庁からの情報と、この三つに大別されます。

では、それぞれの内容の概要についてご紹介します。

(1)一般向け情報：各地の四季折々の花の情報を画像つきで紹介するコーナーや、木材や緑に関連した図書を紹介するコーナーがあります。

花の情報は毎月2回ほど入れ替えし、図書の情報では新刊図書等を紹介することにしています。また、会員の皆様の読後の感想を紹介するコーナーもありますので、「こんな珍しい図書がありますよ」などの情報がありましたら、当ネットまでお寄せください。

このほかに、緑や森林に関連したイベント情報、林野庁関連の研究機関などの技術研究情報もあります。

(2)木材関連業者向け情報：全国森林組合連合会のご協力により全国6地域の木材価格の情報、新設住宅着工統計、全国各地の国産材原木価格の推移など各種情報を取りそろえています。今後はこれら情報の充実に努め、いろいろな角度から分析し、お役に立つような情報づくりを考えています。

このほかに、耳よりな新製品の情報や経営に関連した情報などがあります。

(3)林野庁からの情報：林野庁林政課広報室や業務一・二課などのご協力をいただいて、緑のオーナー情報や植樹祭など公式行事の案内のはかに、森林インストラクター、樹木医、林業技士などの情報を入れています。また、最近になって都道府県庁や各営林署からの情報もいただいている。

4. おわりに

当ネットは発足後、日も浅いため、情報の質・量ともに未完成で試行錯誤を続けています。今後とも関係各位のご協力を仰ぎながら、内容の充実に努める所存ですので、皆様からのご教示・ご意見をお願いする次第です。

将来、この小さな「緑のネット」が森林・林業および木材関係者の情報発信基地となり、また、さらに一般の方々との交流の場となることを期待しながら、情報づくりに取り組んでいます。

普及活動を支援する 「林業普及ネット」

はじめに

「林業普及ネット」は、全国の林業普及組織をパソコン通信方式によって結び、互いに情報を入手したり発信したりすることができるネットワークシステムです。

このパソコン通信方式によるシステムは、林野庁からの助成・指導の下で、平成4年8月から(社)全国林業改良普及協会において運用を行っています。

今日における林業普及指導事業の対象範囲は、森林・林業の重点の変化や拡大に伴って、大変広がってきています。日常の林業普及活動を効果的に進めていくためには、これまでの知識や経験に加え、多様な情報の入手源を確保して、新しい情報を取り込んでいくことが必須となります。そうした意味で、この林業普及ネットも有力な情報源の一つになるといえましょう。

1. 運用の趣旨

都道府県の林業普及指導職員が行うさまざまな普及活動を情報面から支援するため、これら職員等が必要とする情報をパソコンから直接検索して入手したり、中央情報の迅速な入手や地方相互間の情報交流を促進しようとするものです。

2. 加入利用の対象と加入状況

林業普及ネットの加入利用は、当面は、原則として

なお、当ネットのメインメニュー等は次のとおりです。ぜひ一度アクセスしてみてください。

メインメニュー

- [1] 緑の広場 [2] 耳より情報 [3] ネットの紹介
- [4] 基金からの便り [5] トピックス [6] 経営情報
- [P] プログラムコーナー [M] 電子メール [U] 端末環境変更 [E] 終了 [?] ショートカットキー一覧

ショートカットメニュー

- [112] 緑の喫茶室 [114] 森の教室 [131] 森林クリエーション [132] 花情報 [242] 木材価格情報
- [113] 林政の窓口 [134] 緑のオーナー [245] 林野土地売払情報 [246] 土地売払現地案内図

英数字の前に；をつけて選択してください

問合先

〒112 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル5F
農林漁業信用基金 緑のネット事務局
☎ 03-3813-5371 FAX 03-3812-8842

(社)全国林業改良普及協会
林業普及情報センター所長



ふる まさ とし まさ
古牧 敏正

都道府県の本庁・出先機関・試験指導機関において林業普及指導業務を担当する組織を対象としています。

現在の加入利用会員数は、北海道から沖縄県までの127会員（39都道府県）となっており、本庁・出先機関・試験指導機関で林業普及指導業務を担当する組織が全部加入済みの県も7県となっています。

3. サービスマニュー

林業普及ネットのサービスメニューの種類とそれぞれの主な内容は、次のとおりです。

(1)電子掲示板

①普及活動等に関連して、関係機関からの通知・連絡・PR事項の入手、質問に対する関連情報の入手、利用会員相互間の自由な意見交換や情報発信をするためのシステムで、林野庁からのお知らせ、全林協からのお知らせ、都道府県からのお知らせ、普及情報Q&Aコーナー、パソコンと通信Q&Aコーナー、利用者の広場などのサブメニューがあります。

②バイナリ専用掲示板は、黒線入りの文書・データやプログラム類など、通常のテキスト形式以外の情報を、その書式のまま書き込むための掲示板です。

(2)電子メール

(3)林業普及情報データベース

センター側の光ファイリング装置に格納している林業普及情報を、利用会員が直接検索・指定して入手するためのシステムです。

このシステムの活用により、新しい技術の適用や地域づくり・イベントなどの企画に当たって類似の現地事例情報を収集したり、観察地選定のための情報を収集するなど、林業普及活動を進めていくうえで必要となる情報収集について、幅広い活用が可能となります。

4. データベースの蓄積情報と検索入手

これまで収集・蓄積の対象としてきた情報は、次のとおりです。これらの情報は、都道府県の林業普及指導職員等の協力をも得て収集し、整理のうえ光ファイリング装置に蓄積しています。

蓄積件数は、現在4,600件（全林協関係発行誌の記事2,580件、都道府県関係の一般向け林業広報誌等の記事2,020件）となっており、今後も年に500～600件のペースで蓄積していく予定です。

(1) 収集情報の種類

①森林および林業・林産業関係の技術・経営・村おこし・グループ活動・普及活動等の現地事例情報。

②森林および林業・林産業関係の技術の解説、新商品・新技术・新研究の紹介情報。

③その他普及活動の推進に役立つと見込まれる各種情報。

(2) 情報の主な収集源

①現地における各種林業活動の事例を豊富に掲載している「林業新知識」や「現代林業」（いずれも（社）全国林業改良普及協会が毎月発行）の主な記事（1986年以降分）。

②活発な活動を行っている各地の林業研究グループの活動事例を紹介している「林研グループ活動事例集」（全国林業研究グループ連絡協議会が毎年発行）の記事（1990年以降分）。

③都道府県またはその関係団体が発行している林業関係の「一般広報誌／試験研究広報誌／普及活動等広報誌」に掲載の記事（1989年以降分）。

(3) 情報蓄積の形態

蓄積情報は、1件ごとに本体情報と管理情報から構成されています。

①管理情報：蓄積する情報それぞれの標題・出典・情報提供者・キーワード・抄録等の付属情報で、キーボード入力情報です。この情報は利用会員側のパソコンで出力可能です。この管理情報は次の8つの分類項目に区分して蓄積しています（カッコ内の数字は現在の蓄積件数）。01…山づくりと丸太生産（約1,180件）、02…木材の利用（870）、03…専用林産物の生産・加工・流通（590）、04…森林の多様な利用（390）、05…経営活動と地域の活性化（900）、06…担い手とその育成（230）、07…海外の森林と林業・林産業（80）、08…その他の情報（360）。なお、キーワードはフリー・キーワード方式によっており、蓄積する情報1件ごとに、都道府県・市町村名／植物・動物・微生物名／その他当該情報の内容を特徴づける語など、10個以内で付けすることにしています。

②本体情報：本体情報は、雑誌等の記事そのもので

あり、スキャナ入力情報です。情報1件当たりの分量は平均でA4判2枚程度です。これは利用会員側のパソコンでは出力できませんが、手近のファクシミリに出力することができます。

なお、林業関係の公的機関に所属している以外の方の署名入り記事は、著作権制度との関係から管理情報の収録のみにとどめ、本体情報は収録しておりません。

(4) 蓄積情報の検索入手

管理情報を対象として、探索しようとする情報が収録されていると見込まれる分類項目を選び、通常は任意のフリーキーワード（半角のカタカナ10文字以内）で検索し、必要に応じてこれを繰り返し探索しようとすると情報を絞り込みます。

検索結果は、利用会員側のパソコンにより管理情報を、ファクシミリにより本体情報を入手することができます。

5. ネットワークの構成

林業普及ネットの構成は、全林協内にホスト機（ワークステーションと共に接続されている光ファイリング装置）を置き、NTTの通常の電話回線（公衆回線）またはパソコン通信で一般的に使われるTri-P（トライピー）回線を介して利用会員側のパソコンと結ぶ、ごく一般的なパソコン通信の方式となっています。

6. 通信回線と通信条件

林業普及ネットに接続できる通信回線は、現在のところNTTの通常の直通電話回線2回線とTri-P専用回線2回線となっています。

このうちTri-P回線は、株インテックが運営提供しているパソコン通信用の回線で、東京から中・遠距離に所在する利用会員が、通常の電話回線による市外通話料金に比べてより低廉な通信料金でパソコン通信に利用できるようにするものです。この回線へのアクセスポイントは、現在、国内各地の94都市に配置されています。

また、林業普及ネットを利用するための通信条件は、パソコン通信でごく一般的に使われる全二重無手順という方式によっており、対応通信速度は2400bps（300～2400bpsに対応）となっています。

7. 利用に必要な機器とソフト

林業普及ネットを利用するうえで必要な機器とソフトは、一般的のパソコン通信に使われる市販のものを用います。

もし既存のパソコンや電話回線が利用できるならば、あとはモデムと通信ソフトを用意すれば通信が可能となりますので、5万円程度の投資ですみます。

こうした林業普及ネットの利用環境が整えば、他の大手の商用ネットをはじめとする各種のパソコン通信

ネットも利用することが可能となり、さらに情報源の多様化・高度化を図ることができます。

8. 加入手続きとID番号等

林業普及ネットは主に都道府県の林業普及指導事業を支援する性格のものでありますので、原則としてゲスト利用（一般公開）の取扱いはしておりません。

加入手続きは、都道府県側から所要事項を記載した「林業普及ネット利用申込書」を主催者側に送ってもらい、主催者側でその記載内容を確認のうえ登録業務を行いID番号等を申込者に通知する方式によっています。

林業普及ネットに接続する際には、センター側から通知されたこのID番号（識別番号）とパスワード（暗証番号）で利用会員側での変更が可能）を提示して、あらかじめ登録された会員であることを証明する必要があります。

なお電子メールの利用に当たって相手先を特定するには、このID番号を用います。

9. 加入利用料金

現在は林野庁の補助事業の中で運用しており、利用に必要な機器・ソフトの購入費や通信回線の開設・使用料などの利用側で負担する経費のほかは、当面は不要の扱いとしています。

10. 利用時間

林業普及ネットは、原則として次の利用停止期間を除き24時間利用できます。

利用停止期間

①金曜日・祝休日前日の17時から月曜日・祝休日翌日の10時までの間。②年末年始とゴールデンウィークの期間（その都度予告）。③林業普及ネットの運用に必要な保守・改良作業等の間。④林業普及情報データベースの入力作業に要する期間。⑤天災不可抗力等により林業普及ネットの運営管理が不可能となる期間。

おわりに

最近では、新聞やTVで“マルチメディア”“インターネット”“Windows 95”などの言葉を聞かない日はありません。新しい情報流通の仕組みがこれからの社会を規定し変革をもたらす時代へと移行しつつある中で、森林・林業分野においても、こうした時代の進展に取り残されないような対応が求められているのではないかでしょうか。

問合先

〒107 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階
(社)全国林業改良普及協会 林業普及情報センター
☎ 03-3583-8461 FAX 03-3583-8465

一般の利用も可能なユニーク図書館

●森林総合研究所図書館

☎ 0298-73-3211 (内線238=資料係) 〒305 茨城県稲敷郡茎崎町松の里1 森林総合研究所企画調整部資料課／交通=JR常磐線牛久駅からタクシー約15分／特色=森林・林業・林産業に関する世界的規模の研究情報の集積機関として世界的にも高い評価／開館=平日の9：00～12：00, 13：00～16：30／外部利用者は閲覧のみ可。貸出不可。レファレンス可／複写=同館複写室内林業科学技術振興所(内線241)で可(有料)／森林総合研究所内に食堂あり。

●国立国会図書館支部林野庁図書館

☎ 03-3501-0964 (直通) 〒100 東京都千代田区霞が関1-2-1 合同庁舎第1号館7階 ドアNo714／交通=地下鉄丸ノ内・日比谷・千代田線霞ヶ関駅下車徒歩2分／特色=日本林制史資料(旧藩時代～明治4年), 林政史資料・林業発達史資料(明治4年～昭和29年), ほか森林・林業にかかる資料／利用時間=9：30～12：00, 13：15～17：00／休館=土・日・祝日, 每月第3火曜日, 12.28～1.4／簡単なレファレンス可／複写=資料相談室(南別館1階)で可(有料)／地下に食堂あり。

●国立国会図書館支部上野図書館

☎ 03-3821-3786 〒110 東京都台東区上野公園12-49／利用できる人=満20歳以上の方／交通=JR山の手線 上野駅から徒歩10分, 京成電鉄博物館動物園駅から徒歩1分／特色=大正12年以降の国内のほとんどの博士論文(約30万人分)を所蔵／開館時間=9：00～16：30／休館=土・日・祝日(日曜の場合翌日), 毎月の末日(土・日曜の場合前日), 12.27～1.4／簡単な所蔵調査程度の問い合わせ可／複写=可(開館日の13：30～16：00)／地下に食堂あり。

●国立国会図書館支部農林水産省図書館

☎ 03-3502-8111 (内線3038, 閲覧・レファレンス) 〒100 東京都千代田区霞が関1-2-1 合同庁舎第1号館1階／学生はゼミ教授の紹介状が必要／交通=地下鉄丸ノ内・日比谷・千代田線霞ヶ関駅下車徒歩2分／特色=林業分野を含め農・水分野を中心に広範囲な図書類を所蔵／開館時間=9：45～11：45, 13：15～16：45／休館=土・日・祝日, 振替休日, 12.28～1.4, 每月1日(休日の場合翌日), 臨時／簡単なレファレンス可／複写=財農林弘済会資料相談室を紹介(有料で可)／地下に食堂あり。

*臨時休館もあるので、利用前に確認しましょう。*身分を証明するもの(運転免許証、学生証等)を持参したほうがよいでしょう。*利用方法などは係の人によく聞いて、ルールを守って利用しましょう。*特に複写は、著作権法を守るよう心がけてください。全文複写の際には、あらかじめ著作権者の許諾書を得ておくようにしましょう。ひょっとしたら、それならばと著作権者から一冊もらえるという幸運があるかもしれませんよ！



置につけることができるそうです。

実は、この九十九歳翁のよう、長生きしている方々で、朝茶の習慣を身につけている方は少なくありません。

朝の空腹時に濃い茶はよくないでしょうが、穏やかな薄茶でしたら眠気さましによく、食欲も出ますし、さらに腸を刺激して通じをよくします。

散歩と茶の効用

現在の日本は、いつてみれば“長寿列島”みたいなものですから、長寿村は各地にあり、海辺の場合は海の近くを散歩し、内陸部の場合は畠などの野良道などを軽く歩き、それからお茶を一服して、朝ごはんとなるのです。

もちろん、起きがけに朝茶をちょうどいいし

てから散歩する場

合もあります。朝

茶は、まさに“長生きの妙薬”みたいなもので、そのような習慣を身に

ついている“長生きさん”たちは、おじいちゃんでもおばあさんでも、例外なしといっていいくらいに、実

によく笑うのです。
健康状態がよいから、心のゆとりが生まれ、それが

明るい笑いを呼ぶのでしょうか。

田舎の道は自然に恵まれ、起伏があり、そこを一步一歩風景を楽しみながら歩く。まさに、一步進むごとに四秒長生きするという、アメリカの博士の御説どおりの生活で、一日がスタートするのです。

しかも、その前後にお茶を飲みます。

お茶の渋味のもとはカテキンという成分で体の老化を防ぐ働きがあります。老化というのは、体細胞が酸化することですが、その酸化を防ぐ力が強いのがカテキン。発ガン物質の働きを封じ込めたり、高血圧や動脈硬化といった成人病の予防効果がきわめて高いのです。

お茶には、また、眠気をさまして疲労を回復する成分としてよく知られているカフェインも含まれていますが、この成分は強心作用でも有名です。カフェインには、心臓の機能を盛んにして利尿作用を促進する働きがあることもわかっています。

さらに、風邪の予防などにも役に立つビタミンCや若返りのビタミンとか、不老長生のビタミンとも呼ばれるビタミンEも豊富に含まれています。

日本人の長寿食 22 「朝茶」と物見遊山

永山久夫
(食文化史研究家)

朝茶を楽しんで長生き

お茶を飲む風習が普及するのは、江戸時代に入つてからですが、元禄八年（一六九五）に刊行された『本朝食鑑』という、食べものや飲みものの中に含まれている薬効や食効などを詳細に記した書物の中に、「ちかごろ、江戸の俗習に、常に朝食の前に、まず煎茶を数杯飲むが、これを朝茶と称し、婦女がもつともよく好んでいる」とあり、当時、朝茶がたいへんに流行していたことがわかります。

さて、寺社めぐりや郊外の花見、川遊びなどに出かけて行つたものです。

「階段を一段昇ると、四秒寿命が延びる」と発表したのは、アメリカのデビットヘリントン博士ですが、さらに、徒步や階段上りをして、週に二〇〇〇カロリーを消費できる人は、じつとしている人に比べ、死亡率が三分の一から四分の一は低いそうです。

健康を保つための運動にはいろいろありますが、だれにでも簡単にできて、持続性も高いのは歩くこと。

歩くことによつて骨が丈夫になり、筋肉も発達します。さらに、心臓の機能もよくなり、血行もスムーズになりますから、自然に健康体となり、長生きにも役に立つことになります。

江戸時代、江戸の人たちはよく物見遊山（ものみゆさん）と

いって、寺社めぐりや郊外の花見、川遊びなどに出かけて行つたものです。

一日をかけて、のんびりと物見をするわけですが、現在のようく車など走つていませんから、排気ガスもなく、酸素も新鮮で空気の質もよく、体細胞の若返りに大いに役に立つたのは間違ひありません。

寺社や郊外の人の集まる場所には、たいがい茶屋があり、美しい娘さんがいてダンゴや餅、お茶などを求めに応じて売つてくれます。

朝茶」というと、ぜひとも紹介したい、素晴らしい男性がいます。島根県の方で、今年十九歳になりますが、たいへんに元氣で、朝起きると、まず朝茶を三杯飲み、それから外出して近くをひと回りしてから家に帰り、朝食にかかります。お体が柔軟で、足を前に伸ばして畳の上に坐り、前こごみになつて額を

きます。実は、そのお茶こそたいへんな長寿ドリンクなのです。

その石段を上ること自体が、血行をよくし、心臓や骨を丈夫にする「長寿法」なのですが、境内には茶店があつて、お茶を飲むことがで

きた。戦後五十年、日本の国では門松よりもクリスマスツリーが目立っている。

子どもの遊びも変った。コマを回している男の子を見かけない。昔は正月を前後して思い出したようにコマ遊びが始まつた。兄も宝物にしていたコマがいくつかあつた。どこでもコマを回す。机の上、タタミ、道でも掌でも回している。夢中になつてゐる。コマ回しだけは天才のような子もいた。これは冬の遊びだつたのか。コマは

「やまようひ」
何の木で作られていたのだろう。
女の子は羽子板を買つてもらつて、楽しみがあつた。体の大きさに合わせて買う。部屋の飾りに買うこともあつた。黒くて丸いムクロジの木種に、青、黄、赤の鳥の羽をつけた羽根。その羽根を空中高くほり上げると、

クルクル舞いながら落ちてくる。それを受けた羽子板でつく。何ともいえない乾いた音が冷たい冬の空氣の中に響きわたる。桐とムクロジの種との出合いの音も記憶している。音といえば「こっぽり」。これも桐。赤いうるし塗り、金で松竹梅の絵があしらわれていた。鈴がついていた。私は晴着を着せてもら



「やまようひ」
「ねんりん」

つて、化粧をしてもらい「こっぽり」を履いて目的もなく表に出たり入つたりする。コップボリコッボリ、チリリンチリリン可愛い音だつた。表の道は木煉瓦で舗装されていたから石の上を歩くよりも優しい音がした。木と木が醸し出す妙なる音というのか。

床の間には大きな鏡餅が三方の上に載つて

いる。これは正月の威儀を示すものだ。白木に青いシダの葉がよく似合う。餅の上に白コブを垂らし串柿とダイ

「なぜ串柿とダイダイなのか」と

真剣に考えたのは四十歳過ぎてから。「大人になつたらわかる」と母

が言つていたがいろいろの人に聞いたり、本を読まなければわからぬこともある。

「柿」世界中柿は「カキ」で通じる。原産は

日本と中国。日本では千年以上の栽培の歴史がある。山柿の渋いのでも干せば渋が甘味に変ることを知つた先人はその喜びを伝え広めた。柿はたくさん実をつける。干柿にする

と保存性と携帯性が同時に生まれる。冬の日を繰り返し、もう一度まず正月の木々から問

お供えするのは人間にとつてありがたいからだろう。串に柿十個。両端にふたつずつ、それをナワに連ねる。両端二個二個中は六個。これを「ニコニコナカムツマジク」と言葉を作つた。笑つて暮らそう。仲良く暮らそう。日本初のドライフルーツ干柿。

「欅」これも正月に飾る意味がある。「ダイダイ」につながる。きっと名前が後につけたのだろう。木を見るとよくわかる。去年の実が残つて今年の実が育つてゐる。食酢としての必要性よりも日本人は子孫繁栄の思いのほうが強い。めでたい。めでたい。

ユズリハを鏡餅に添える風習も同じだ。名前もダイダイと同じように木を観察していった人が感激して名付けたのだろう。「若葉が伸びてから古い葉が落ちる」から。ユズリハの狭く長い楕円の葉は紅色の葉柄を持つてゐる。

この「紅」を添えることもめでたさのうち。元気に過ごすために、子孫繁栄のためにどんなことでも見逃さない。みんな「めでたさ」に結んでゐる。木のぬくもりがあつて、私の「美しい正月」があつた。「なぜ」「どうして」

い直してみよう。先人の知恵を学ぶために。

先人の知恵に学ぶ

正月の木々

梅田恵以子
(隨筆家)



筆者紹介 (うめだ えいこ)
一九三一年四月十一日生まれ。
著書

一九五三年 歌集「21歳」
一九七四年 「紀のみちすがら」
一九七八年 「紀の散歩みち」
一九八九年 ふるさと賛歌 紀州路百曲
一九九二年 紀州木の国「木々歩記」(上)
一九九四年 紀州木の国「木々歩記」(下)
他 現在 和歌山市在住。
さし絵:柳野節雄氏。

毎年同じかたちの盆栽が玄関に置かれて正月がきた。松も梅も小さいながら堂々としている。土を少し盛り上げて山と川をつくり、白い砂は川の流れを表現しているのだろう。

筆、あるときは福寿草があしらわれていた。物ごころつくから私の正月にこんな「松竹梅」があった。そして、この木々は日本のでたいしるしだと教えられた。

「松はどうしてめでたいの」「常磐木だから」「松はこうして何」「木の葉が一年中青々としていること」「子どもには理解できなかつた。

「トキワギつて何」「木の葉が一年中青々としていること」子どもには理解できなかつた。

「竹は——」「竹はね、すぐ大きくなるから」とかぐや姫の話をしてくれた。「梅は——」「寒い中でも負けないで花が咲くから」しつこく

聞くと大人になつたらわかると叱られた。

本当に大人になつたら自然に少しずつわかれ戦前小学校で習つた正月の歌だ。元旦早々

「松竹たてて門毎に祝う今日こそめでたけれ」戦前小学校で習つた正月の歌だ。元旦早々

つた。年が改まることは、新しい気持ちで新しい目的に向かうことなのだ。一年の計は元旦にあり——。その新年の出発が勢いがあるように「木々」に思いを託した。

門松をたてる。床の間に若松。「破竹の勢い」とは勢いのはげしいさま。竹の成長の早さは

かぐや姫が竹の中に生まれて三月ばかりで成人したことによっている。雄々しさ、たけだけしさだけでなく、耐えることを教える梅の花

が和やかさを添える。

子供もらは「松竹ひつくりかえして大きわぎ」と替え歌ではやしたてた。粗相がないよう気をつけて正月を過ごそうとしている親への反発もあつたのだろう。

私が「正月」として思い出しているのは、物ごころつくから十歳(昭和十六年)までのこと。その数年が複合されているのだろう。太平洋戦争が始まつて急に正月という雰囲気は消えた。

松竹梅は図案化されて晴着に描かれ、食器の図柄に、人の名前や美術工芸にと、日本のすみずみまでこのめでたさを受け継いできていた。戦災で家を焼かれ、敗戦をむかえて暫くは「松竹梅」のめでたさどころではなかつた。そんな隙間にアメリカ文化が入り込んで、日本でクリスマスが流行。餅よりケーキの時代が

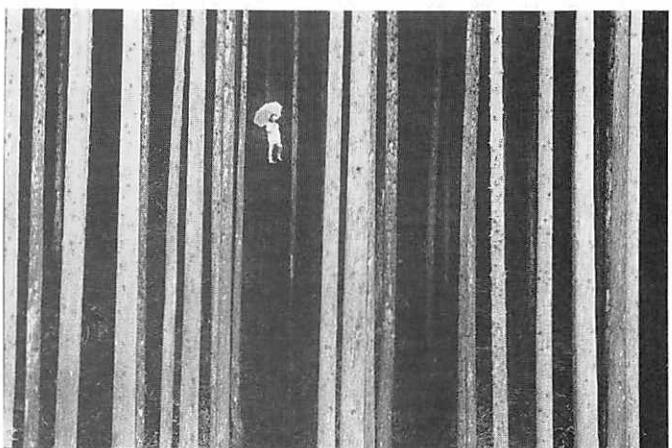
◎ 第 42 回(平成 7 年度)森林・林業写真コンクール ◎

優秀作品(白黒写真の部)紹介

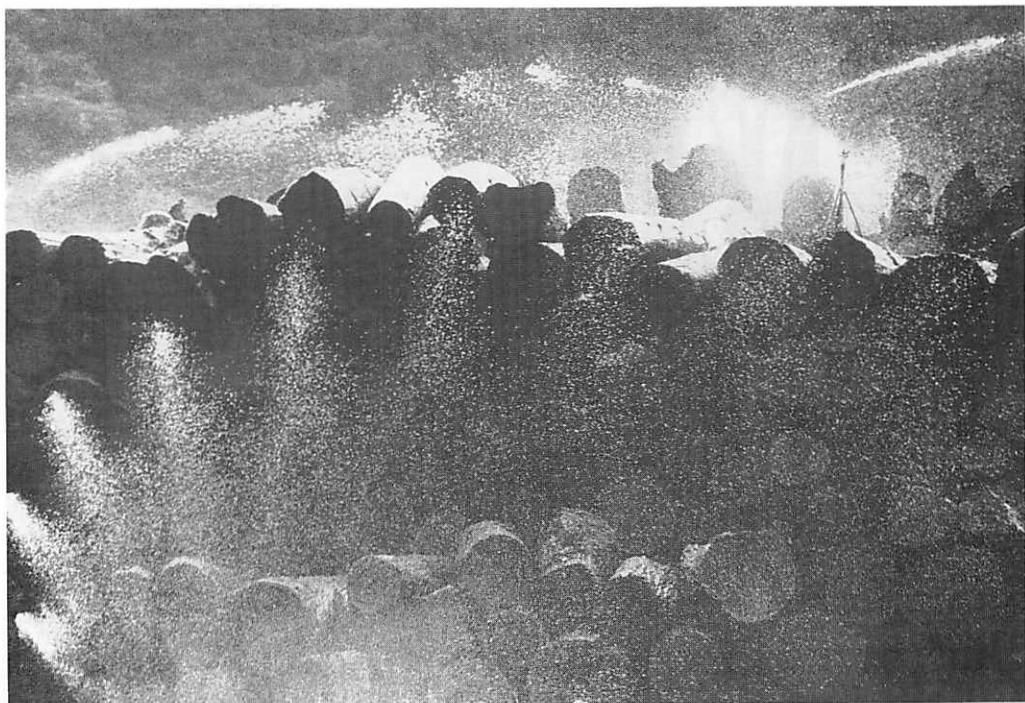
主催・日本林業技術協会／後援・林野庁



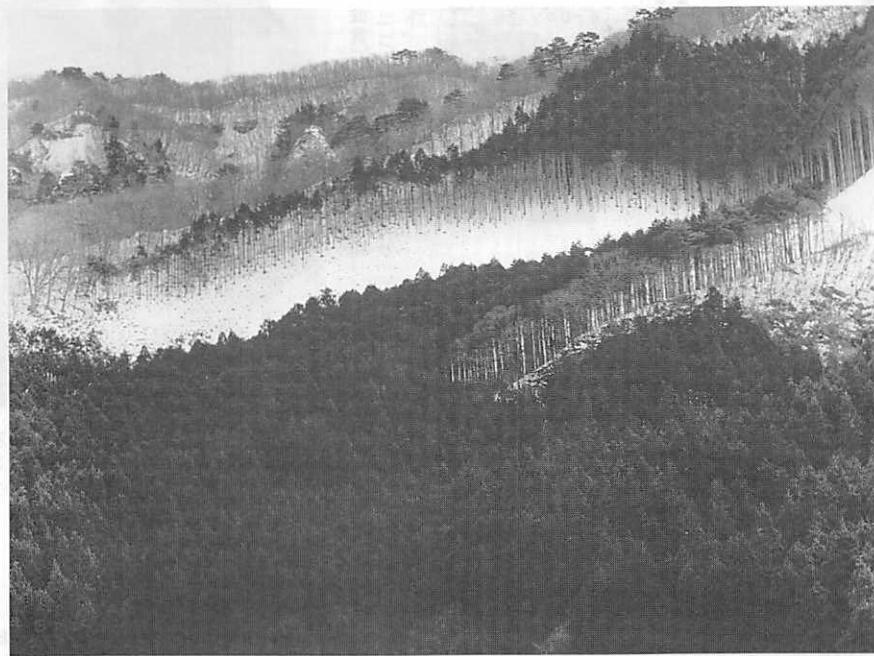
特選(農林水産大臣賞)「わたしもお手伝い」山口武広
 ▲ 1/60、神奈川県茅ヶ崎市にて
 (神奈川県茅ヶ崎市) オリンパス OM 10、F 5.6、
 60mm、神奈川県大山にて



三席(日本林業技術協会賞)「雨の杉」東洋一(兵庫県明石市)ニ
 ヨン F 4, 70~210ミリレンズ, F
 11, 1/60, 兵庫県加美町にて



▲ 一席（林野庁長官賞）「木と水の美」山下亨二（北海道名寄市）キャノン New F-1, ズーム, F 4, オート, 北海道上川郡朝日町にて



▲ 二席（日本林業技術協会賞）「森林雪景色」椎名亮介（福島県白河市）ハッセル 500 C/M, 150 ミリレンズ, F 11, 1/60, 福島県西郷村にて



二席（日本林業技術協会賞）「出荷を待つ」柳澤基恵（長野県南安曇郡三郷村）ニコンF4、ズーム、F16、オート、長野県波田町にて



三席（日本林業技術協会賞）「市場の準備」近藤和雄（岡山県玉野市）ニコンF4S、35~70ミリレンズ、F8、オート、鳥取県智頭町にて



三席（日本林業技術協会賞）「枝打ちおわり帰路」中村ひとみ（長崎県佐世保市）ニコンF、24ミリレンズ、F5.6、1/30、佐賀県太良町にて



▲ 佳作「コミニズク」佐々木亮太郎（秋田県由利郡岩城町）ニコンF E、300ミリレンズ、F5.6、山形県鳥海山麓にて



▲ 三席（日本林業技術協会賞）「森の仲間」川口善也（岐阜県多治見市） キヤノンEOS 5, 100~200ミリレンズ, F 8, 1/250, 北海道旭川市にて



▲ 佳作「臼作り」高遠二郎（長野県南安曇郡豊科町） キヤノンEOS 10, 35~135ミリレンズ, F 11, 1/250, 長野県堀金村にて



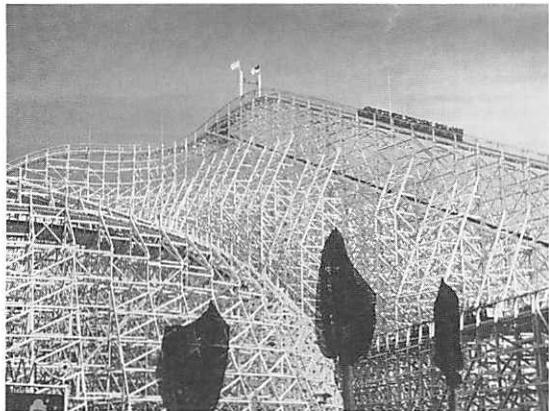
▲ 三席（日本林業技術協会賞）「銘木市」金泉隆行（北海道苫小牧市）ニコンFA, 25~50ミリレンズ, F 16, オート, 苫小牧港工業団地にて



▲ 佳作「ブナ原生林のこずえ」成田 真（青森市新城平岡）アサヒペンタックス, 35ミリレンズ, F 5.6, 1/125, 青森県八甲田山中にて



▲ 佳作「降雪の合掌集落」山岡千賀子（香川県綾歌郡宇多津町）オリンパスOM 30, ズーム, F 8, オート, 富山県平村にて



▲ 佳作「木製ジェットコースター驚異」大脇鈴司（岐阜県加茂郡八百津町）ニコンF A, 25~50ミリレンズ, F 8, 1/250, 三重県長島温泉遊園地にて

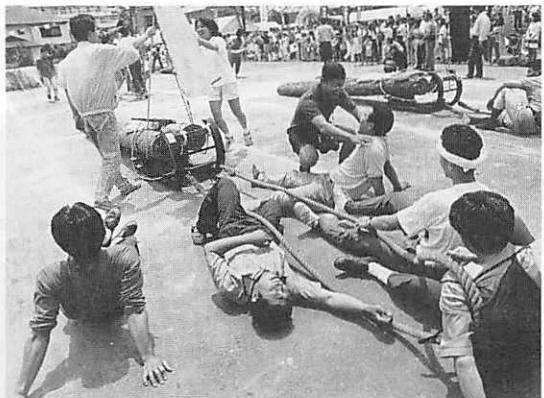


▲ 佳作「ジョギング」村松悦郎（静岡県藤枝市）ライカM 6, 50ミリレンズ, F 8, 1/250, 藤枝市若王子（蓮華寺池公園）にて

▼ 佳作「家族A」梶本恭孝（大阪府茨木市）ペンタックスZ 20, ズーム, オート, 長野県八ヶ岳にて



▲ 佳作「冬の北山杉」山本田鶴子（三重県桑名市）コンタックスG 1, 90ミリレンズ, F 8, オート



▲ 佳作「苦闘のゴール」佐藤才次郎（東京都墨田区）ニコンF 3, F 8, オート, 江東区ウッディランド東京にて



▲ 佳作「積出作業」川代修一郎（岩手県盛岡市）ニコンF 2, 35ミリレンズ, F 8, 1/125, 岩手県岩手郡玉山村にて

林業関係行事一覧

1月

区分	行事名	期間	主催団体/会場/行事内容等
石川	海と渚のシンポジウム 「山から川から海から始める自然保護」	1.20 13:30~16:30	街海と渚環境美化推進機構/石川県金沢市エルフ金沢2Fホール/近年、環境美化について関心が高まり、全国各地で「自然保護」運動が行われているが、海のみならず、全地球的環境の中における水の循環との密接な関連という観点から「山から川から海から」と実施する環境美化運動の大切さについて石川県の事例を検討し、今後の運動の推進の一助とする。テーマ…「リクエストは環境美化」。
中央	セミナー「ニッセイ緑の探険隊」	1.23 18:15~20:00	財團ニッセイ緑の財團/日本生命日比谷ビル7階 国際ホール/当セミナーは“緑”的素晴らしさを紹介することによって、その偉大さ、大切さを感じ、人間と自然の共生関係を正しく理解してもらうことをねらいとしている。講師…柳生 博氏、講演テーマ…「緑の地球大紀行」—森と暮らす、森に学ぶ～ハケ岳山麓に展開される自然と人間のドラマ～、参加人員(予定)…最大500名。

2月

区分	行事名	期間	主催団体/会場/行事内容等
中央	第1回「森林と市民を結ぶ 全国の集い」	2.16~18	(社)国土緑化推進機構(☎ 03-3262-8457)・森林と市民を結ぶ全国の集い全国実行委員会/国立オリンピック記念青少年総合センター/近年、森林や緑化に対する関心は高まり、機会があれば活動に参加したい人たちが急増している。そこで、森林に興味を持っている人や森林関係者を集め、今後の日本の森林のあり方について意見交換を行う。参加費…一般5,000円、学生2,500円(資料代等を含む)、交通費および宿泊費・食費(2泊5食7,240円)は自己負担。

12月号訂正:p.20 左段10行目…齊藤鬼紀夫→兎紀夫、同12行目…(順不動)→(順不同)。以上訂正をお詫び申し上げます。

『林業ノート』巻末資料「度量衡換算および木材材積単位」の中に次のような間違いがありましたので、訂正をお詫びいたします。

(編集部)

誤 正

- ・(長さ) 1 km……0.6134 mile ⇒ 0.6213 mile
- ・(容積) 1 合……0.6174 バイント ⇒ 0.3174 バイント(英)
- ・(〃) 1 升……64.827 in³
 ⇒ 1 升(内法)=4.9 寸平方、深さ 2.7 寸
 =(容積 64827 立方分)
 =110.08 in³

誤 正

- ・(容積) 1 石……6.4827 立方尺
 ⇒ 1 尺×1 尺×10 尺=10 立方尺
 =0.2783 m³
- ・(面積) 1 cm²……1.550 in² ⇒ 0.1550 in²
- ・(〃) 1 a……0.0217 acre ⇒ 0.0247 acre
- ・(重量) 1 分……37.50 mg ⇒ 375 mg

21世紀を迎える子どもたちへのメッセージ!

最新第5版 私たちの森林 平成8年1月刊行! A5判・108ページ 定価1,000円(消費税込み)

構成>第1章 世界の心配事 失われていく森林/熱帯で起きていること/温帶・亜寒帯で起きていること/森林を失うと/子孫に何を残すか 第2章 森林てどんなもの 木のいろいろ/森林ができるまで/森林の中では/気候と森林/日本の森林 第3章 森林はどんな働きをしているか くらしを守る/くらしを豊かにする 第4章 木の秘密 木の育ち方/木の中のようす 第5章 木を使うくらし 木の性質と使い道/住まいと木材/木材の新しい使い方/大切な資源 第6章 森林を育てる 植えて育てる/自然の力をかりて/木材になるまで/いつも緑の森林を 第7章 みんなの森林 <執筆者>森林総合研究所=河原輝彦・鷲見博史・坪田宏

発売中! 森林航測 第176号

年度3回発行 570円(税別、3号分購読の場合は手込)

●森林画像データベースへの取り組み(2編)●光測定機器を用いない林内光量測定の試み●必要な空中写真の探し方、他

かか め ばら ちく 健貝ハ木

ネズ公は知恵も繁殖も

毎年のことではありますが、まずは新年明けましておめでとうございます。今年は十二支のトップ子。方角では北、時刻では真夜中を表す。そしてネズ公。どうもあまりいいイメージでない。だが物語の世界ではこのネズ公、けっこう知恵もあり愛嬌もある役を演じているし、現実にも持ち前の知恵と抜群の繁殖力で世界中のいたるところでその存在を誇示している彼等。今年は彼等にちなんで森林も林業も木材産業もその持てる知恵を大いに駆使し、旺盛?な繁殖力を発揮してネズミ算的繁栄到来。と初夢を見ることにした次第。で、その夢なるもの、いささか根拠があつてのこと、昨年末に見聞した林業地がそれである。

山形県小国町と金山町、典型的な山間林業地であり、林業が地域経済牽引の役を果たしている。しかし、指向する林業が全く異なるところが面白い。

小国町は山形県南西部に位置し、福島、新潟県と接する人口11千人余。総面積73,700haの95%をブナなどの広葉樹の森が占めていることから、この広大なブナ林の空間と林業を最大の資源と位置づけた町政が、いま町に息を吹き返らせ過疎高齢から脱却へ、若者を町に林業に定着させつつある。「白い森」と呼ぶこのブナを主体とした広葉樹林は、圧倒的な四季の景観の中に静かな憩いと荒々しいまでのスポーツ空間を提供してくれ、春の若葉、秋の実りの実は至福の

味覚を天与し、四季にわたって変わらない温度と流量の清水が山すその作物を潤し、岩魚をはぐくんでくれる。土地の人々はこの宝を優しく利用するために、森林に遠慮し、相談しながらそっと施設を作つて自然を求める人々に提供することを思つて実施しているのである。役所言葉ではこれを森林空間利用というそうだ。現地では、いま1つのアイデアが2つになり、4つに膨らみ、ネズミ算のごとくの広がりをみせている。小国林業ここにありと万丈の気を吐いての町の助役さんの説明をただ感じ入つて聞いた次第。そして1人当たりの町民所得240万円と聞いたあるジャーナリスト氏の、アリヤウソ、隠れ所得を入れると倍はあるぞ。との独り言が妙に心に残っている豊かな林業の町である。

金山町、山形県最北部に位置し、秋田県と接する人口7.7千人余り、総面積164haの63%が山林で、その45%が民有林。昔からスギの植林を親から子へ継ぎ、樹齢二百

本の紹介



監修 岸本定吉・杉浦銀治・鶴見武道

エコロジー 炭やき指南

発行:創森社
〒162 東京都新宿区下宮比町2-28
-612 ☎ 03 (5228) 2270
1995年9月27日発行
A5判、128頁 定価1,500円

本の紹介



監修 林野庁

改訂新版

間伐の手引 図解編

発行:(社)日本林業技術協会
〒102 東京都千代田区六番町7
☎ 03 (3261) 6969
1995年10月改訂新版発行
B5判、20頁 定価720円

■「エコロジー炭やき指南」

最近、炭が再認識され、山村での伝統的炭やきも、各地の村おこしや伝統技術見直し運動の中で再評価されているが、特に市民による小規模な炭やき運動が、水や大気の浄化など暮らしの環境改善や木質ゴミのリサイクルなどのエコロジー運動に関連して活発になっている。

本書は炭やき運動のベテランた

ちによる、素人の炭やきの手引書で、写真やイラストを多用して、手順が細かに記述されており、ドラム缶やきや、伏やき・穴やきなどの方法から、松の実や枝・葉などの鑑賞炭や竹炭・割箸炭の作り方、野原や町中の空地、庭先でのやき方までの実際的な解説書である。

アウトドアのレジャーやホビィの感覚で、楽しみながら炭やきを覚えるとともに、現代の暮らしの

中で炭を生かす意義を理解できる本書は、炭やき運動だけでなく、エコロジー運動などに关心を持つ方々に役立つと思われる。

* * *

■「間伐の手引 図解編」

わが国の1000万haを超える人工林も、その多くが間伐をお必要とする林齡があり、間伐促進が今後の林業経営の重要課題となつている。

年を超す杉の巨木が緑深い金山杉の美林を形づくり、その名声は知る人ぞ知る銘木産地である。

こうした歴史背景と資産を受けての金山町は、木材産業に町づくりの命運を託している。その中心となっている金山町森林組合は、スギ材を利用しての先端加工木材の開発と実用化を進め、LVL材、防腐・防虫材、PCウッドによる寸法安定・難燃材の開発など、より付加価値の高い製品を開発することによって、新しい木材産業のあり方を実証している。森林組合長は、林業の町では林業をやる者がエリート、東大卒も採用するし平均年齢27歳。林構事業補助などは利用しないで事業の自由な発想とその実行にこそ価値があると。ごもっともである。

多少とも関心持たれた御仁はお居蘇ぎましに雪の山形に足を運ぶのもまた一興では。

本書は林野庁監修の下で昭和56年より初版、改訂版と版を重ねて、林家や森林組合指導者などを対象とした間伐講習用として広く利用されてきた。小冊子ではあるが現場に密着した間伐の実際について、間伐の手順と方法から、伐採・搬出、利用・販売まで、すべてカラーのイラスト、写真などを中心に、わかりやすく解説し、間伐全体を理解させる構成となっている。

今回の改訂新版では、最近の林業事情を反映させて、特に間伐木の伐採・搬出、利用・販売について新たに解説している。この手引書が、健全で活力ある森林づくりのための間伐の推進に役立つことを期待したい。

(日本林業技術協会／蜂屋欣二)

林政捨遺抄

ぎふ森林文化センター



ぎふ森林文化センター一階、エントランスホールと階段

岐阜県庁の近くにある岐阜森林文化センターを訪れた。鉄筋コンクリート3階建、1,851 m²の立派な建物で平成6年1月末日に完成した。昭和50年ごろから出ていた「岐阜県の林業を象徴する殿堂」を建てようとの構想が実ったもので、建物の中には県関係の林材団体がずらりと顔をそろえて入っている。2階には森林組合連合会、3階には山林協会、緑化推進委員会、木材協同組合連合会、林業経営者協会、森林開発公團岐阜出張所、獵友会、林業構造改善協議会、種苗協同組合、木材厚生年金基金の10団体がそれで、林材業に関するどんな相談事でも引き受けるというネットワークを組んでいる。

お互いの団体が知恵を出し合うのは1階の「森の広場」である。ここは木の香り、ぬくもりでいっぱいの休憩ロビーで、約70 m²の広さを持っている。情報交換の場という意味で、「情場」と名付けられている(名付け親は知事)。情場サロンは上記各団体の事業案内やその他の資料を常時備える一方で、森林・木材

に関する書籍、雑誌、写真、ビデオなどのライブラリーとしても活用されている。センターが建てられている地域は準防火地域で、廊下、階段の内装不燃化、居室の内装の不燃化等、木を使う上で建築基準法上の内装制限規定がある。それをクリアしながらできるだけ木造部分を多くすることに苦心が払われた。材料の木もできるだけ県産材を使うこととしている。壁板を「東濃ヒノキ」や「長良スギ」の小幅板で巡らしたホールはそんな苦心の末の産物である。岐阜県が誇る東濃ヒノキや長良スギをふんだんに使ったホールの中を歩きながら、このセンターを中心に戸内各地の森林や木材に関する情報が密に飛び交う日のことを思った。

岐阜県の21世紀の姿を描いた第5次岐阜県総合計画のキーワードに「情報化」がある。森林文化センターはその受発信基地の一つである。センターに集積されているノウハウが大いに活用されることを祈念したい。

(筒井迪夫)

森川 靖の 5時からセミナー 1

雨男は遺伝するか

私が雨男を自覚したのは、学生時代に八ヶ岳の清里高原で行われた生態学実習である。連日の雨の中で層別刈り取りが行われ、層ごとの生重測定では、試料の雨水がじゃまで思うようにはかどらなかった。先生は怒り出し、本気で「森川に単位をやらん」と言い出した。

大学を卒業するまで、友人や自分の下宿の引っ越し、野外調査などはおよそ雨模様、これだけ雨男の私が大学院の研究テーマに樹木の水収支を選んだことを後悔している。

国の林業試験場に就職後、JICAの短期専門家として、フィリピンの造林プロに参加した。雨期にし

ても雨量はマニラの新記録、マニラ～事業地間の国道は土砂崩れで不通となり、危うく帰国を逸することもあった。その後、乾期の3月に訪れたことがあったが、飛行機を降りたとたんにお迎えの雨がパラリときた。しかし、このことは内緒にし続けた。その後盛んとなつた造林プロジェクトの多くが乾燥地造林であったからである。

アメリカのシアトルにあるワシントン大学に1年滞在した。乾燥気候が森林の成長に及ぼす影響を調べるために、カスケード山脈の太平洋側と内陸側にそれぞれ試験地を設定した。しかし、その年のシアトルの雨量が新記録であったように、内陸側も結構雨が降り、試

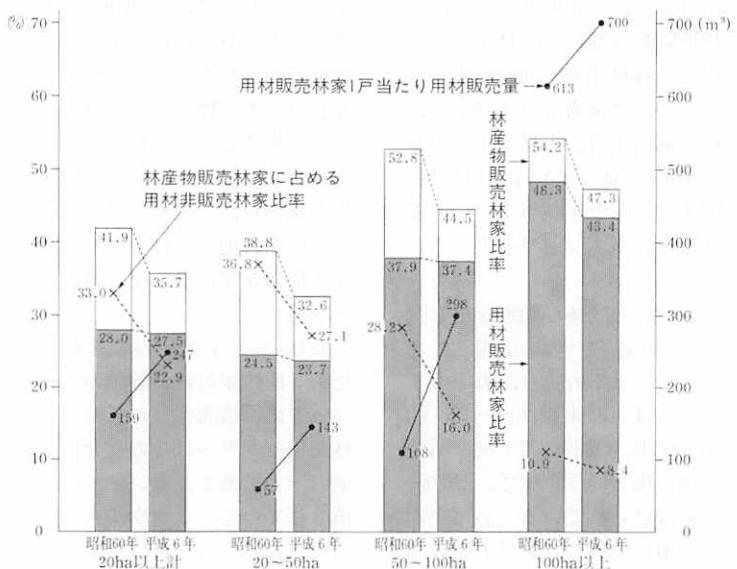
験地間の差は出せなかった。

滞在中の5月のある夜、酔いざましに外に出た。なにやらシンシンと降ってくるが、肩や腕にたまるばかり。セントヘレンズ火山の降灰であった。帰国のとき、私の送別会の広告が学部掲示板に張り出された。絵には、後方でセントヘレンズ火山の爆発、前方で私が傘を差しながら蒸散を測定している姿だった。ちなみに送別会の贈り物は、ど派手な雨傘であった。

森林総合研究所に在職中も、調査というと雨が続き、ついに若手の研究者は私の日程を聞いてから出張計画を立てるようになった。これ以上迷惑をかけてはいけない。転職の必要性を痛感した。

本題に戻ろう。雨男は遺伝する。私は男の子3人を持つが、うち2人は速足や運動会が雨模様であった。女の子を欲しがっていた私を知る友人知人は、もう一人チャレンジを、というが実行しなかった。

統計にみる日本の林業



資料：農林水産省「林業動態調査」

林家における 林産物販売状況

農林水産省「林業動態調査」により、昭和60年と平成6年の保有山林規模20ha以上の林家の林産物販売状況を比較すると、この10年間における林家の販売活動の変化が明らかとなる。

20ha以上の林家のうち、林産物を販売した林家の割合は、昭和60年の41.9%から平成6年には35.7%まで低下した。保有山林規模別では、規模が大きい林家ほど林産物販売林家の割合が高くなっているものの、いずれの階層でもその割合は低下している。

また、用材を販売した林家の割合も全階層において低下したが、林産物販売林家の割合の低下に比べ、その低下の割合は小さくなっ

また男だったら、ばかりではない。4人目は必ず雨男、うまくいっても雨女である。雨遺伝子は、現在の子供が2対1になっているように、優勢のようである。メンデルの法則に従えば、表現型は3対1に分離する。子供4人、人口増加に加担たくないし、世の中にこれ以上迷惑をかけてはいけない。ちなみに、若手研究者が結婚して女の子ができると私に報告しなくなった。女の子を持つと、ひがんで飛ばされる、とのうわさが流れ始めていた。やはり転職の潮時であった。

残念なことに、転職は遺伝発現を変えない。本年、日光で行った私の最初の生態学実習は雨であった。学生に責任はない。参加学生すべてに単位を与えるをえない。学生にとっておいしい選択科目となった。

(早稲田大学人間科学部)

ている。これは、用材以外の特用林産物等のみを販売した林家の割合の減少が大きいことを意味している。20ha以上の林家合計でみれば、用材以外の林産物だけを販売した林家の割合は、昭和60年の33.0%から平成6年には22.9%にまで低下している。なお、用材以外の林産物だけを販売した林家の割合は、保有山林規模が大きい階層ほど小さくなっている。

用材を販売した林家1戸当たりの用材販売量をみると、いずれの階層においても増加しており、20~50ha、50~100haの階層では10年間に約3倍となった。これは木材価格が低下する状況の中で、用材販売に収入を依存している林家が、収入を確保するために販売量を増加させていることを意味している。

こだま

七草粥

わが国には、正月7日に七草粥を食べる習慣がある。宇多天皇に、野原で摘み取った7種類の菜を、正月7日の朝粥に入れて献じたのが始まりのようである。元は、米・麦・小麦・粟・黍(きび)・大豆・小豆を正月15日に食べていたのが、いつの時代にか若菜に変わったようだ。

わが国には、正月はおせち料理で酒を飲み、餅を食べる習慣があった。人々は胃腸の疲れを案じ、養生のためや正月料理の後でさっぱりとした食事を求めて、春の七草を入れた粥を正月7日の朝に食べるようになった、と伝えられている。

道徳、生活様式や食文化などは長い歴史の過程でいろいろと選択され、その結果、必要なものは今日まで受け継がれている。七草粥もその一つであろう。しかし、七草粥と称しても七草が簡単に手に入る時代ではないので、一般には青菜を1,2種類、粥に入れて代用している家庭が多いようだ。

地球上に生息する植物は約30万種といわれ、そのうち約1万種が食用植物と数えられているが、現在は野生種は減少し、栽培種は増加しているのではないかだろうか。

国連環境計画は、「地球生物多様性評価報告書」に地球上の生物を1300~1400万種と推定し、1994年の時点で絶滅のおそれがある希少生物は動物が5,400

種、植物が4,000種と推定している(朝日新聞・平成7年11月15日)。しかも、これらはバイオ技術による生態系の破壊だけでなく、絶滅の原因の98%は間接的なものを含め人が関与しているようだ。バイオ産業は農業分野で着々と実用化され、現在では8000億円産業といわれている。

わが国の農家は、以前は自家使用作物の種苗は自分で採取し養苗も行つたが、今日では農家が作る野菜の95%以上は種苗会社が販売する種子に依存している。野菜の香り、色、形や果肉の柔らかさ、甘味など、いろいろと消費者の要望に合わせたものを作るためらしい。

経済追求の産業、生活を重視するあまりに、自己の足元が崩壊しかねない。生命の維持にかかる食料生産だけに、安全性を第一に慎重に取り組んでほしいものである。

このような経済、社会的背景の中で、地域産物を資源とした村おこしが各地に見られるようになったが、ぜひとも継続することを望む。

今日、環境は地球規模で刻々と変化し、病んでいる。病んでいる地球や人類を早急にいやすために効果的な七草粥を作らなければ、活力ある快適な環境はできないだろう。(木通)

(この欄は編集委員が担当しています)

謹賀新年 平成8年元旦

社団法人 日本林業技術協会

理事長	三澤 肇	専務理事	小泉 孟	常務理事	照井 靖男			
理事	筒井 雄一 角館 盛也 原田 洋 甘利 敬 中野 直 渡辺 恒 茂木 博	江藤 素彦 左達 一雄 横田 道雄 飯田 千太 野村 靖 小野寺 宗昭 渡辺 宏	築塩 真彦 古宮 英喜 太田 原喜 田尾 秀宏 木田 鑑	地崎 猛彦 宮下 真喜 田代 夫治 木下 青柳 木田 易	忠實 下喜 眞喜 田代 彦一郎 柴青 夫治 青柳 治 中易	能宣 田代 難田 下喜 田代 真喜 田代 青柳 田代 易	勢波 中山 昭義 柴孝 平山 孝朋 司夫 朋紘	夫士 昭一 昭平 司夫 昭一 一
監事	紙野 伸二	湯本 和司						
顧問	鈴木 郁久 福森 友久	小林 富士雄 糸輪 満夫	松井 光俊	坂口 勝美				

協会のうごき

○平成7年度第3回理事会

12/22、本会議室において開催し、理事23名、監事1名、顧問5名、参与3名、計32名が出席した。議題：本会会務運営について。

○海外出張

(1) 11/28～12/24、鈴木航測部長、久道課長、アテフ主任研究員、12/2～24、野村航測検査部次長、太田課長代理、堀技師をネバーリ国西部山間部流域管理計画調査のため同国に派遣した。

(2) 12/10～23、渡辺理事、正木調査第二部長、和田課長代理を熱帯林災害復旧技術確立調査のためフィリピン国に派遣した。

○林業技士養成講習スクーリング研修

12/4～9、本会において、森林評価部門の研修を立正大学経済学部長福岡克也氏ほか7名を講師として実施した。

○調査研究部関係業務

12/15、於本会、平成7年度東京圈北西部グリーンフロント地域整備計画調査第1回委員会を開催。

○番町クラブ12月例会

12/19、本会において、ビデオ上映(①木を使って健康的な生活を! ②山岳写真ヒマラヤの山々)および会員による懇親会を行った。

○人事異動 (12月31日付け)
定年退職 編集部主事 片山尚子

職員一同

編集部雑記

さざえのつぶやき 書くのは嫌いだが、コツツで年賀状を読むのはいいものだ。葉書はA判、B判のどちらでもないが短信をしたためにビックリの大きさだ。ところで、公文書が欧米諸国に倣いA4判に統一されたあたりで、そこらじゅうにバカデッカイ印字と余白だらけのコピーが出回っている。一語ずつ区切られる欧文と違って、我々の文字には読みやすい行の長さ、行数があるからA4は日本語に向かない。文化背景を無視して何が国際協調だ。だいいち資源のムダ使いではないか。年の初めからニクマレ口で気がひけるが今年もこれでいく。(喝三度)

名人笠碁 お酒の成分が空気中にも漂っているような、年末年始のゆるゆるした時のじしまに響く音。碁盤に碁石がゆったりと打ち続けられていく風情。いいものです。これがプロ、それも川端康成の『名人』に描かれている碁ともなると、その得体の

星々 冬は星たちが一番美しく見える時節。そこで新年早々ではありますが星座表を片手に夜空の散歩とまいりましょう。本号の刊行日となる1月10日午後10時ころ真南に位置するのはオリオン星座ですが、巡って半年後7月10日の昼間の空(午前10時)にも同位置にあるんですね。この世の中見るものすべてが現時点の姿かと思いきや、星の世界は別、今輝いている星々やハッブル宇宙望遠鏡がとらえた星の誕生などは光年単位の過去の姿ということになります。さてわが地球、生命の宿る唯一の天体として彼方の星々に語りたいものであります。(平成の玉手箱)

知れない物凄さに圧倒されてしまします。そうかといって、待った、待てねえ、なんだケチ、なんだへボ、えーい面倒だ止めちまえ、ガシャーン…なんという、嘶の『笠碁』に出てくるような碁は、なおさらご勘弁願いたいもので。(山遊亭朝明)

林業技術

第646号 平成8年1月10日 発行

編集発行人 三澤 肇 印刷所 株式会社 太平社

発行所 社団法人 日本林業技術協会 ◎

〒102 東京都千代田区六番町7 TEL. 03 (3261) 5281(代)
振替 00130-8-60448番 FAX. 03 (3261) 5393(代)

RINGYŌ GIJUTSU published by
JAPAN FOREST TECHNICAL ASSOCIATION
TOKYO JAPAN

[普通会員 3,500円・学生会員 2,500円・終身会員(個人) 30,000円]

御慶

社団法人 日本林業技術協会

支 部 支 部 長 支 部 幹 事

都道府県支部

宏子賢喜司郎二樹治夫	生弘宏三	光也治
康文雅忠悅昭茂榮結	康和證	賴美智賢
坂戸須福平工仙芝藤閑	安網久井	津開金
郎彦雄郎保守芳隆光治	弘彦見晴	詔雄人
清安孝克貞伸正宣完	之勝一久	敵清
川澤部島坪岡模儀崎	上橋所	子上渡
中二磯大大橋相本宮郡	田大地林	金井船
道川見広館森田橋京野	屋阪知本	厅林所林團
海	古	野研究公
北旭北帶函青秋前東長	名大高熊	林森總森開
己平裕文孝一明己男悟	規覺榮敬雄生邦男薰	大学支部
克光雄鴻安典克俊	秀和久英雅昭	大大大大大大大大
谷川谷部田田戸賀田水	辺沼森子橋木本田島瀬	道手形宮京農波農本川
渢中熊阿吉柴水芳金清	渡貝小增高元坂島神松	潟州岡屋阜重都府
渢中熊阿吉柴水芳金清	古沖岩杉松田竹眞前馬	立取根媛知州崎島球
渢中熊阿吉柴水芳金清	松錦東沖木斎野神青閑	北岩山宇東東筑東日玉
渢中熊阿吉柴水芳金清	藏貞小江柳田真	新信静名岐三京京鳥島
渢中熊阿吉柴水芳金清	元野尾木藤子藤力山松	愛高九宮鹿琉
阪中田佐内金佐等杉大引石和高関中山高青茂	田橋田野村根畑柳木地野井	兒
阪中田佐内金佐等杉大引石和高関中山高青茂	森田辺木本石部村原原垣野谷好村村	奈
道森手城田形島城木馬	口尾洗田武山地	歌
道森手城田形島城木馬	賀崎本分崎島繩	
北青岩宮秋山福茨柄群	子永志子宏里一恵和夫彦秀武一也貴宏雄	
埼千東神新富石福山長岐靜愛三滋京大兵奈和鳥島岡広山德香愛高福	枝里和仁紀興千榮環義達俊泰	
佐長熊大宮鹿沖	純展重邦練	

支 部 支 部 長 支 部 幹 事

當林(支)局等支部	宏子賢喜司郎二樹治夫	生弘宏三	光
海	康文雅忠悅昭茂采結	康和證	賴美智賢
北旭北帶函春秋前東長	井塚合鷗野藤波田原谷	藤倉田手	元子
名大高熊	坂戸須福平工仙芝藤閔	安網久井	津開金
古	郎彦雄郎保守芳隆光治	弘彦見晴	詔雄人
道川見広館森田橋京野	清安孝克貞伸正宣完	之勝一久	敵清
屋阪知本	川澤部島坪岡模儀崎	上橋所頭	子上渡
野研究公	中二磯大大橋相本宮郡	田天地林	金井船
林森総森開	林所林團	合發	

大学支部

穂学工江夫彦徹子永志子宏里一恵和夫彦秀武一也貴宏雄
高リ衣秀浩枝里和仁紀興千榮環義達俊泰純展重邦練
野旗田井井松村一本坂中藤本田藤木山本藤上斐田里
菅白神柳酒峰中脇杉山原逢竹伊山吉伊八長山後溝甲枚安
寛二夫人司郎白久士治栄聰雄也二郎明弘三史司誠生寛佐也
良教義洋洋高銀宣靖弘睦良浩拙俊幹隆隆幸盛重弘
井本橋原林野田田波宮嵐原嶋木田本原原口本本田塚
石橋高笠小上天中難真近菅小只富林山梶小井藤山今飯林林
北岩山宇東東筑東日玉新信静名岐三京京鳥島愛高九宮鹿琉
道手形宮工業都京農波農本川潟州岡屋古阜重都府取根媛知州崎島球
兒

日本林業調査会

〒162 東京都新宿区市谷本村町3-26 ホワイトビル内
電話(03)3269-3911 振替(東京)6-98120番 FAX(03)3268-5261

志賀 和人著

A5判四二〇頁 三、八〇〇円(丁380)

民有林の生産構造と森林組合 —諸外国の林業共同組織と森林組合の展開過程—

国際的視点から
課題を示す

山村地域政策と結びついた森林をめぐる新たな社会経済システム構築への課題を、諸外国の山岳地域政策、森林政策の展開過程の解明を通じて、実証的に描き出した力作！

奥住 侑司編著

A5判二二〇頁 二、五〇〇円(丁340)

日本の大都市近郊林

歴史と展望

都市近郊林の保全と計画について、最新の手法を提示。都市と森林との共生へ、森林計画研究者が中心になつて展望を試みた最新刊！

霞が関発 林政のニューメディア 好評発売中!!

隔週刊 林政ニュース

各号B5判20頁 年間購読料一四、四〇〇円(月一、二〇〇円、消費税・送料込み)

最新の林政ニュースを追跡、わかりやすく解説する「ニュース・ラッシュ」、政策・予算の背景、人事異動評等を問答形式で掘り下げる「緑風対談」、都道府県・市町村の最新動向を伝える「地方のトピックニュース」などを満載！

林業と野生鳥獣との共存に向けて

由井／石井共著 三、八〇〇円(丁340)

森林・林業・木材辞典

編集協力林野庁 二、五〇〇円(丁310)

『現代語訳』

樹木百話

上村勝爾著 二、〇〇〇円(丁340)

ディビス 上巻四、五〇〇円(丁340)
ジョンソン著 下巻四、三〇〇円(丁340)

森林経営学上・下

森林・林業と中 山間地域問題

北川泉編著 三、〇〇〇円(丁340)

山づくり・むらづく り・人づくり 最前線

地域林業振興研編 二、五〇〇円(丁380)

**Not Just User Friendly.
Computer Friendly.**

Super PLANIX β

面積・線長・座標を 測る

あらゆる図形の座標・面積・線長（周囲長）・辺長を
圧倒的なコストパフォーマンスで簡単に同時に測定できる外部出力付の
タマヤ スーパープラニクス β



写真はスーパープラニクスβの標準タイプ

使いやすさとコストを 追及して新発売！

スーパープラニクスβ(ベータ)

← 外部出力付 →

標準タイプ………¥160.000

プリンタタイプ…¥192.000

検査済み±0.1%の高精度

スーパープラニクスβは、工場出荷時に厳格な検査を施していますので、わずらわしい誤差修正などの作業なしでご購入されたときからすぐ±0.1%の高精度でご使用になれます。

コンピュタフレンドリイなオプションツール

16桁小型プリンタ、RS-232Cインターフェイスケーブル、
ワイヤレスモデム、キーボードインターフェイス、各種専用
プログラムなどの充実したスーパープラニクスαのオプショ
ンツール群がそのまま外部出力のために使用できます。

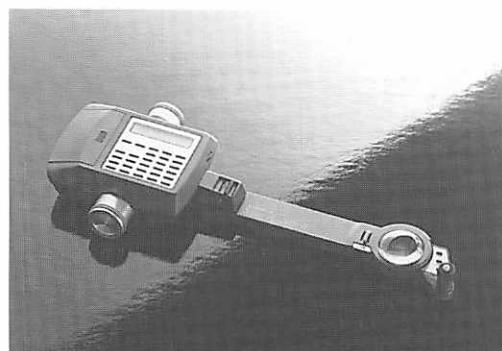
測定操作が楽な直線補間機能とオートクローズ機能

豊富な機能をもつスーパープラニクス の最高峰 スーパープラニクスα(アルファ)

スーパープラニクスαは、座標、辺長、線長、
面積、半径、図心、三斜（底辺、高さ、面積）、
角度（2辺長、狭角）の豊富な測定機能や、コ
ンピュータの端末デジタイザを実現する外部出
力を備えた図形測定のスーパーディバイスです。

標準タイプ………¥198.000

プリンタタイプ…¥230.000



TAMAYA

タマヤ計測システム 株式会社

〒104 東京都中央区銀座 4-4-4 アートビル TEL.03-3561-8711 FAX.03-3561-8719

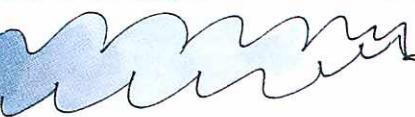
測定ツールの新しい幕開け

スーパープラニクスにβ(ベータ)登場。

●書店で買える…

100不思議シリーズ+1

プラスワン



熱帯林の 100不思議

- (社)日本林業技術協会 編集
- 森林総合研究所、熱帯農業研究センター、大学ほか76名による執筆
- 四/六判217ページ
- 定価1,200円
(本体1,165円)



緑・森林の 100不思議

- (社)日本林業技術協会 編集
- 森林総合研究所、熱帯農業研究センター、大学ほか91名による執筆
- 四/六判219ページ
- 定価1,200円
(本体1,165円)



森林の 100不思議

- (社)日本林業技術協会 編集
- 森林総合研究所所員82名による執筆
- 四/六判217ページ
- 定価1,010円
(本体981円)



新刊

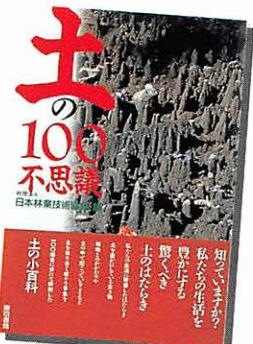
木の 100不思議

- (社)日本林業技術協会 編集
- 森林総合研究所、都道府県試験研究機関、大学ほか83名による執筆
- 四/六判217ページ
- 定価1,200円
(本体1,165円)



土の 100不思議

- (社)日本林業技術協会 編集
- 森林総合研究所、農業環境技術研究所、農業研究センターほか85名による執筆
- 四/六判217ページ
- 定価1,030円
(本体1,000円)



森の虫の 100不思議

- (社)日本林業技術協会 編集
- 森林総合研究所、都道府県林業研究機関、農業環境技術研究所、大学ほか73名による執筆
- 四/六判217ページ
- 定価1,200円
(本体1,165円)



森の動物の 100不思議

- (社)日本林業技術協会 編集
- 森林総合研究所、養殖研究所、大学ほか79名による執筆
- 四/六判217ページ
- 定価1,200円
(本体1,165円)



森と水の サイエンス

- (社)日本林業技術協会 企画
- 中野秀章・有光一登・森川 靖3氏による執筆
- 四/六判176ページ
- 定価1,030円
(本体1,000円)



●発行 東京書籍株式会社

〒114 東京都北区堀船2-17-1
(03)5390-7531 / FAX(03)5390-7538

平成八年一月十日 行
昭和二十六年九月四日 第三種郵便物認可 (毎月一回十日発行)

林業技術 第六四六号

(定価四四五円(会員の購読料は会費に含まれています)送料八五円)